

**子ども・子育て支援事業計画策定のための
アンケート調査
報告書**

**平成 31 年 3 月
尾道市**

目 次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	
1	属性	2
2	家庭の状況	
(1)	暮らしの状況	5
(2)	主な教育者	6
(3)	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	7
3	両親の就労状況	
(1)	母親の就労状況	10
(2)	父親の就労状況	13
(3)	共働きの状況	15
4	教育・保育事業の利用	
(1)	教育・保育事業の利用状況	16
(2)	教育・保育事業の利用希望	23
5	病気の際の対応	
(1)	病気等により幼稚園・保育所等を利用できなかった経験	30
(2)	病児・病後児保育施設の利用希望	32
6	不定期の保育事業	
(1)	不定期に利用したサービス	33
(2)	不定期に子どもを預ける事業の利用希望	35
(3)	家族以外に泊りがけで子どもを預けた経験	36
7	幼児教育・保育の無償化	
(1)	幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労・通学状況の変更希望	37
(2)	就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設	38
8	放課後の過ごし方	
(1)	放課後の過ごし方	40
(2)	放課後児童クラブの利用状況	42
(3)	放課後児童クラブに対する要望	44
(4)	放課後児童クラブを利用していない理由	45
(5)	今後の放課後児童クラブの利用希望	46
9	育児休業	
(1)	育児休業取得状況	48

10	仕事と子育ての両立	
	(1) 出産前後の離職状況	52
	(2) 両親の育児への関わり方	54
	(3) 仕事と生活の両立の状況	56
11	子育て支援センター	
	(1) 子育て支援センター等の利用状況	58
	(2) 今後の子育て支援センターの利用希望	63
12	子育て全般	
	(1) 子育てに関する不安や負担の程度	65
	(2) 子育ての悩み	69
	(3) 虐待経験	76
	(4) 子育てに関する情報の入手状況	84
	(5) 子育て支援サービスの認知度	89
	(6) 「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況	91
	(7) 相談先の有無	95
	(8) 公的相談機関等の認知度・利用のしやすさ	98
	(9) 健康づくり支援の満足度	103
	(10) 出産や子育てにかかる費用の負担の程度	108
	(11) 子どもの成長にとって良好な情報環境の整備状況	113
	(12) 子どもの遊び場について	114
	(13) 地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度	117
	(14) 子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか	119
	(15) 近所付き合いの程度	120
	(16) 同年齢の子どもをもつ親同士の付き合いの有無	122
	(17) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方	123
	(18) 尾道市の子育てのしやすさの評価	125
	(19) 充実を期待する子育て支援の内容	131

I 調査の概要

1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについての要望等を把握し、尾道市子ども・子育て支援事業計画の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法

- (1) 調査地域 尾道市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、0歳から小学校6年生までの児童がいる家庭の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配付、督促状1回発送
- (4) 調査対象 就学前児童 2,000世帯・小学生 2,000世帯
- (5) 調査時期 平成30年11月27日～平成30年12月17日（平成31年2月15日回収分まで含む）

3 回収結果

	配布数(票)	有効回収数(票)	有効回答率(%)
就学前児童	2,000票	1,081票	54.1%
小学生	2,000票	1,038票	51.9%

4 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 年齢・地域別分析の精度を高めるため、人口比率の小さい年齢・地域別の抽出率を高くして対象者の抽出を行った。そのため、年齢・地域別回答数の母集団に占める割合の差を調整するために、母集団数に対する回答数の割合より算出した係数を乗じ、母集団の年齢・地域比率に補正した規正標本数をもって集計を行っている。

II 調査結果

1 属性

* 規正標本数とは、母集団の年齢・地域比率に補正し、集計した数値であり、小数点第 1 位を四捨五入している

(1) 年齢・学年

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
0歳	290	216	20.0%
1歳	164	192	17.8%
2歳	125	133	12.3%
3歳	168	181	16.7%
4歳	175	189	17.5%
5歳	139	150	13.9%
無回答	20	20	1.8%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
1年生	198	179	17.2%
2年生	217	198	19.1%
3年生	145	130	12.5%
4年生	176	191	18.4%
5年生	154	173	16.7%
6年生	137	155	15.0%
無回答	11	11	1.1%

(2) 居住地域

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
尾道地域	444	672	62.2%
御調地域	87	46	4.3%
向島地域	210	170	15.7%
因島地域	216	116	10.7%
生口島地域	95	48	4.5%
無回答	29	29	2.7%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
尾道地域	468	627	60.4%
御調地域	103	45	4.3%
向島地域	123	158	15.2%
因島地域	202	123	11.8%
生口島地域	108	52	5.0%
無回答	34	34	3.3%

(3)-1 世帯構成

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
二世帯世帯 (子どもと親)	850	878	81.2%
三世帯世帯 (子どもと親と祖父母)	180	156	14.5%
その他の世帯	30	26	2.4%
無回答	21	22	2.0%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
二世帯世帯 (子どもと親)	781	796	76.7%
三世帯世帯 (子どもと親と祖父母)	222	202	19.5%
その他の世帯	23	28	2.7%
無回答	12	12	1.1%

(3)-2 世帯構成（ひとり親世帯の有無）

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
両親世帯	989	985	91.1%
母子世帯	59	60	5.6%
父子世帯	3	3	0.3%
その他の世帯	1	1	0.1%
無回答	29	31	2.9%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
両親世帯	918	910	87.7%
母子世帯	85	91	8.8%
父子世帯	11	12	1.2%
その他の世帯	2	3	0.3%
無回答	22	21	2.0%

(4) 両親の状況

<母親>

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,057	1,055	97.6%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	-	-	-
その他 （死別・未婚・離婚等）	5	6	0.6%
無回答	19	20	1.8%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,009	1,008	97.1%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	2	2	0.2%
その他 （死別・未婚・離婚等）	13	15	1.5%
無回答	14	13	1.3%

<父親>

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	966	962	88.9%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	27	28	2.6%
その他 （死別・未婚・離婚等）	63	65	6.0%
無回答	25	26	2.4%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	893	882	85.0%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	39	43	4.1%
その他 （死別・未婚・離婚等）	88	95	9.2%
無回答	18	18	1.7%

(5) きょうだいの人数

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
1人	316	315	29.1%
2人	459	464	42.9%
3人以上	286	283	26.2%
無回答	20	20	1.8%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
1人	139	135	13.0%
2人	501	516	49.7%
3人以上	383	372	35.8%
無回答	15	15	1.4%

(6) 末子の年齢

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
0歳	206	167	22.4%
1歳	144	168	22.5%
2歳	104	112	14.9%
3歳	79	85	11.3%
4歳	84	83	11.1%
5歳	67	71	9.6%
無回答	61	61	8.2%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
5歳以下	301	295	33.2%
6歳	90	84	9.4%
7歳	113	120	13.6%
8歳	78	76	8.5%
9歳	68	67	7.5%
10歳	81	85	9.6%
11歳以上	78	86	9.7%
無回答	75	75	8.4%

(7) 調査票回答者

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
母親	1,000	1,003	92.7%
父親	61	60	5.5%
その他	4	3	0.3%
無回答	18	18	1.7%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
母親	942	950	91.5%
父親	74	66	6.3%
その他	10	11	1.1%
無回答	12	12	1.1%

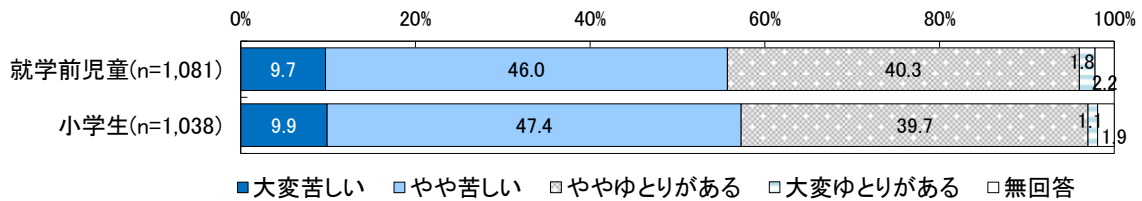
2 家庭の状況

(1) 暮らしの状況

問6 就学前児童・小学生

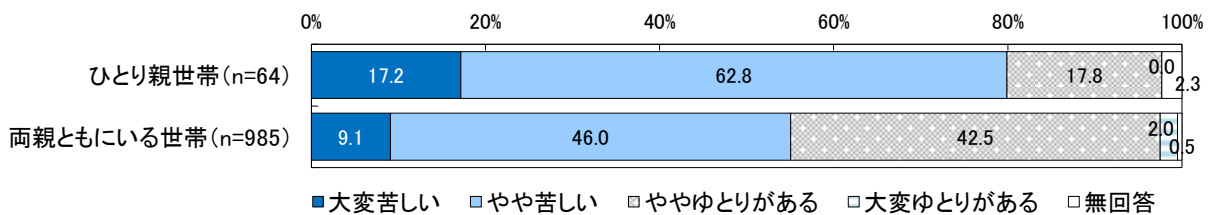
現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。【○は1つ】

【暮らしの状況】

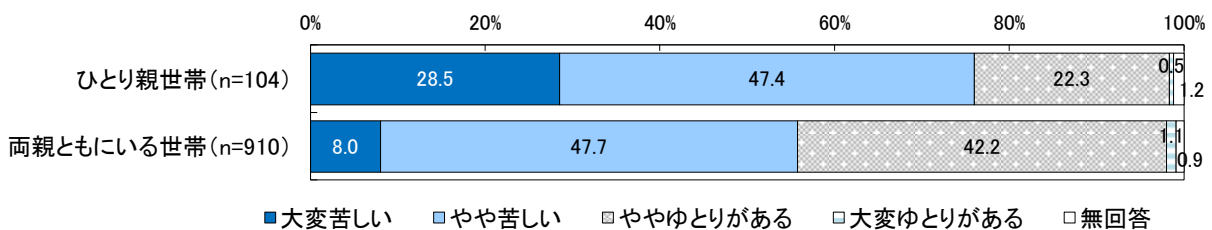


暮らしの状況について、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）と回答した割合が就学前児童で55.7%、小学生で57.3%となっている。

【暮らしの状況（就学前児童・世帯状況別）】



【暮らしの状況（小学生・世帯状況別）】



世帯状況別にみると、『苦しい』と回答した割合は、就学前児童、小学生ともにひとり親世帯で高くなっている。

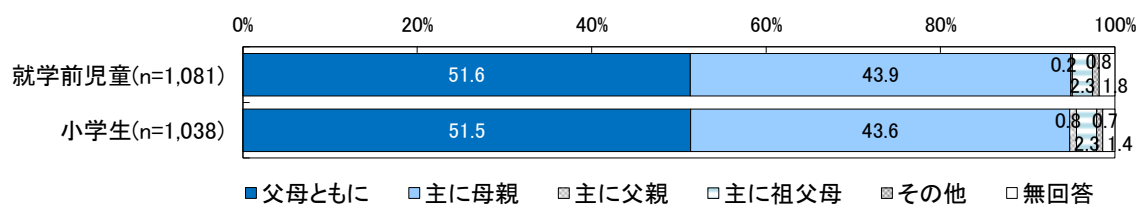
また、ひとり親世帯で「大変苦しい」と回答した割合は、小学生が就学前児童よりも高くなっている。

(2) 主な教育者

問8 就学前児童・小学生

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で回答してください。【〇は1つ】

【主な教育者】



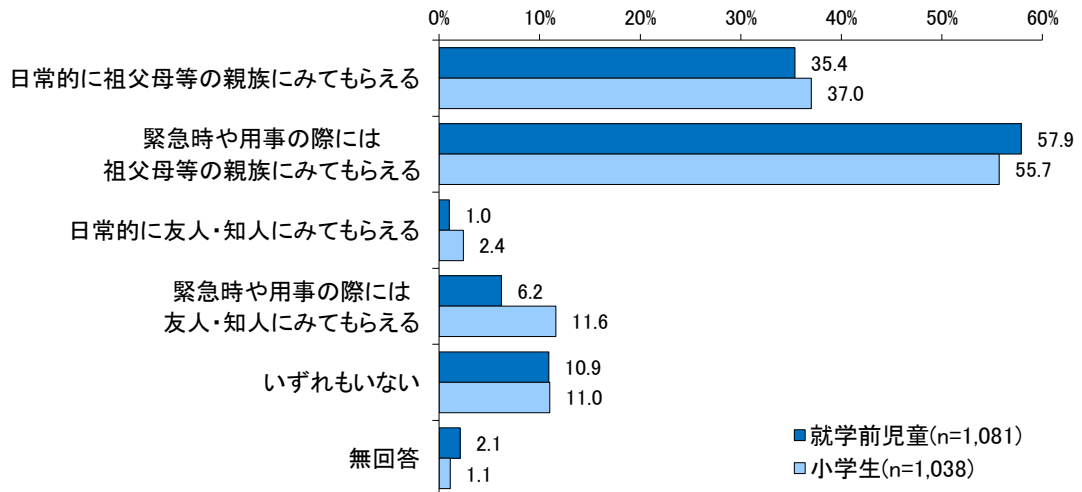
主な教育者について、「父母ともに」と回答した割合が就学前児童で51.6%、小学生で51.5%となっている。

(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 就学前児童・小学生

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】



子どもをみてもらえる親族の有無について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で35.4%、小学生で37.0%、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で57.9%、小学生で55.7%となっている。

また、子どもをみてもらえる友人の有無について、「日常的に友人・知人にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で1.0%、小学生で2.4%、「緊急時や用事の際には友人・知人にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で6.2%、小学生で11.6%となっている。

一方、「いずれもない」と回答した割合が就学前児童で10.9%、小学生で11.0%となっている。

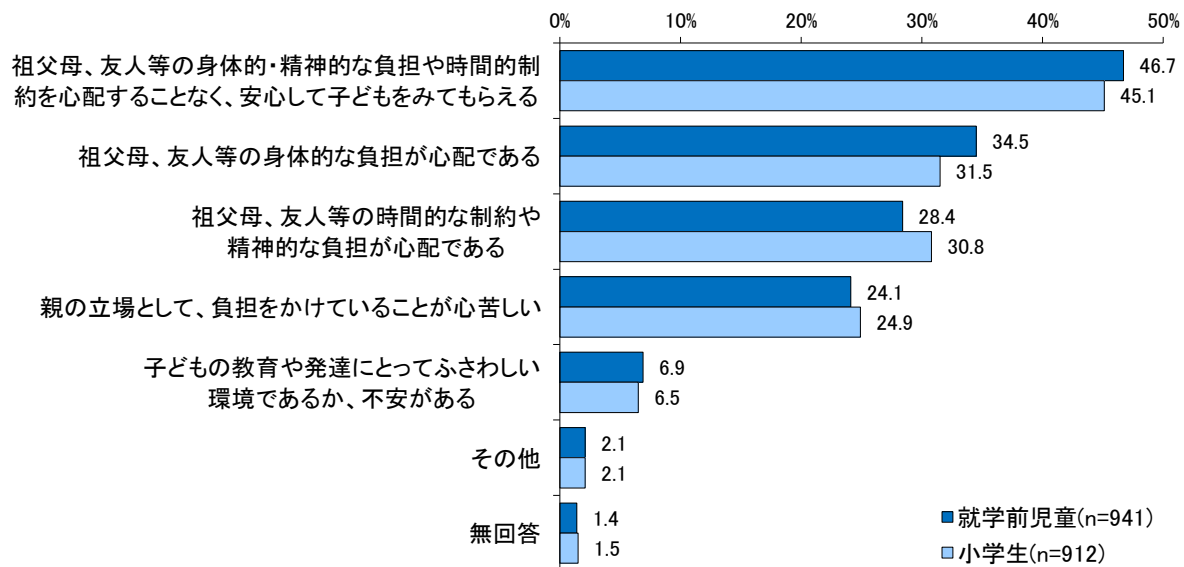
問9で「1」から「4」と回答した人のみ回答

問9-1 就学前児童・小学生

祖父母等の親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の状況】



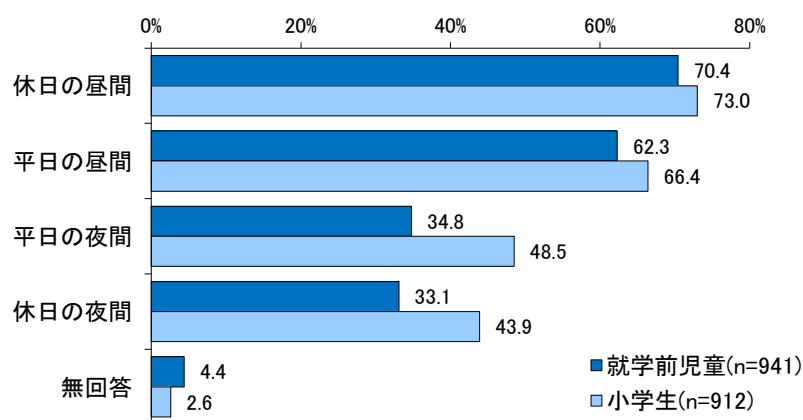
子どもをみてもらえる親族・知人の状況について、「祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で46.7%、小学生で45.1%となっている。

一方、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と回答した割合が就学前児童で24.1%、小学生で24.9%となっている。

問9-2 就学前児童・小学生

お子さんをみてもらえる曜日や時間帯を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる曜日や時間帯】



子どもをみてもらえる曜日や時間帯について、「休日の昼間」と回答した割合が最も高く、就学前児童で70.4%、小学生で73.0%であり、次いで「平日の昼間」（就学前児童62.3%・小学生66.4%）となっている。

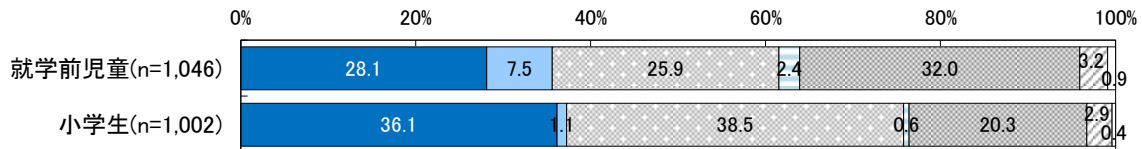
3 両親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問 10 就学前児童・小学生

お母さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

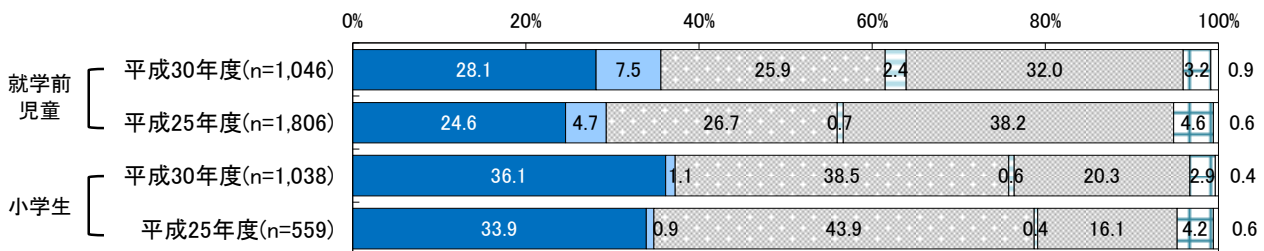
【母親の就労状況】



- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- パート・アルバイト等で就労している
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が就学前児童で 35.6%、小学生で 37.2%、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合が就学前児童で 28.3%、小学生で 39.1%、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）と回答した割合が就学前児童で 35.2%、小学生で 23.2%となっている。

【母親の就労状況（前回調査結果との比較）】



- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- パート・アルバイト等で就労している
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

前回調査結果と比較すると、就学前児童では『フルタイムで就労している』と回答した割合が上昇している。

一方、小学生は大きな変化はみられない。

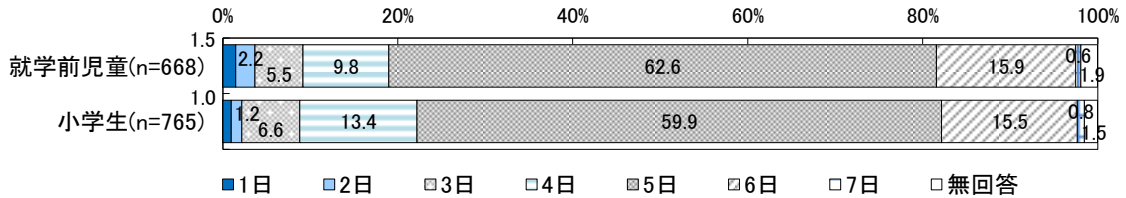
問 10 で「1」から「4」と回答した人のみ回答

問 10-1 就学前児童・小学生

お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

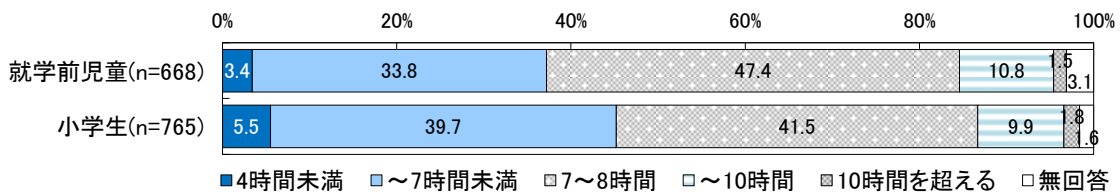
【数字を記入・土日の勤務状況は○は1つ】

【母親の1週当たりの就労日数】



母親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が就学前児童で62.6%、小学生で59.9%、「4日」と回答した割合が就学前児童で9.8%、小学生で13.4%となっている。

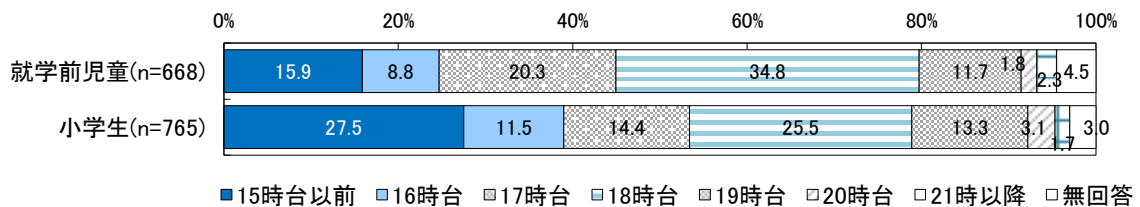
【母親の1日当たりの就労時間】



母親の1日当たりの就労時間について、「7~8時間」と回答した割合が就学前児童で47.4%、小学生で41.5%となっている。

また、『8時間を超える』割合が就学前児童で12.3%、小学生で11.7%となっている。

【母親の帰宅時間】



母親の帰宅時間について、就学前児童では「18時台」、小学生では「15時台以前」の割合が最も高くなっている。

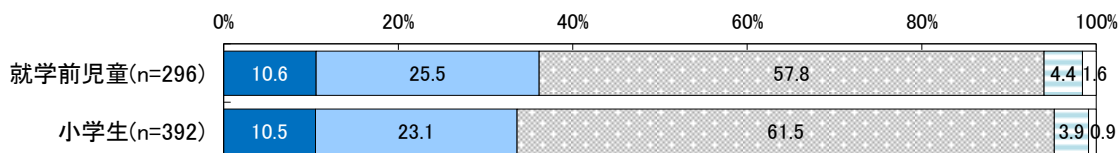
また、19時を超える割合は就学前児童で15.8%、小学生で18.1%となっている。

問 10 で「3 パート・アルバイト等」または「4 パート・アルバイト等（産休・育休・介護休等を取得中）」と回答した人のみ回答

問 10-2 就学前児童・小学生

お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つ】

【母親のフルタイムへの転換希望】



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

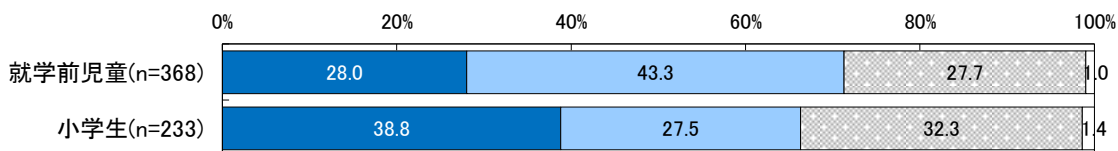
母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合が就学前児童で 36.1%、小学生で 33.6%となっている。

問 10 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」と回答した人のみ回答

問 10-3 就学前児童・小学生

お母さんは就労したいという希望はありますか。【〇は1つ】

【母親の就労希望】



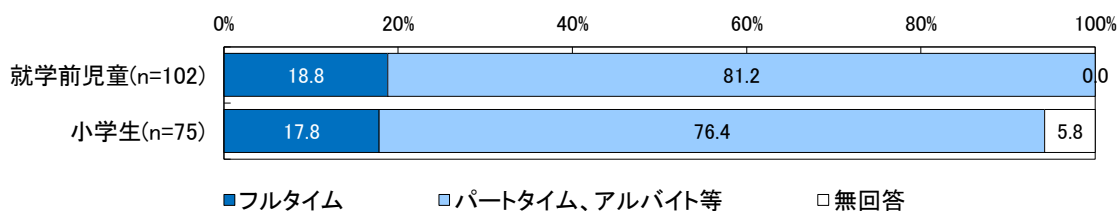
- 就労の予定はない(子育て、家事、病気、介護等のため)
- 1年以上先に、一番下の子どもがある年齢になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が就学前児童で 27.7%、小学生で 32.3%、「1年以上先に、一番下の子どもがある年齢になったところに就労したい」と回答した割合が就学前児童で 43.3%、小学生で 27.5%となっている。

問 10-3 就学前児童・小学生

希望する就労形態【①・②のどちらかに○】

【母親の希望の就労形態】



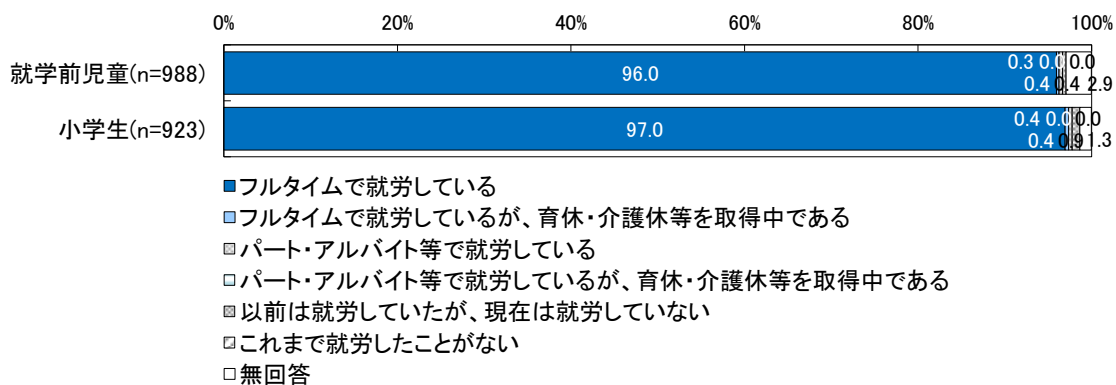
母親の希望の就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が就学前児童で 18.8%。小学生で 17.8%、「パートタイム、アルバイト等」と回答した割合が就学前児童で 81.2%、小学生で 76.4%となっている。

(2) 父親の就労状況

問 11 就学前児童・小学生

お父さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

【父親の就労状況】



父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が就学前児童で 96.3%、小学生で 97.4%となっている。

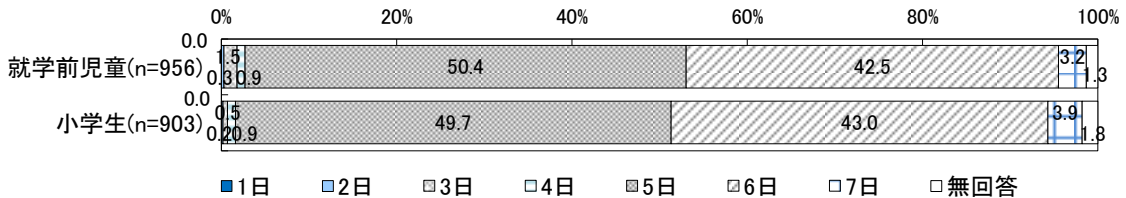
問 11 で「1」から「4」と回答した人のみ回答

問 11-1 就学前児童・小学生

お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

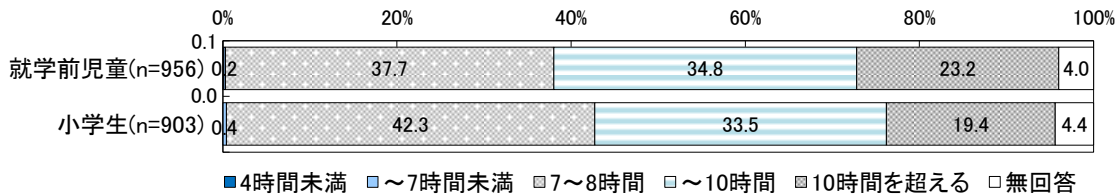
【数字を記入・土日の勤務状況は○は1つ】

【父親の1週当たりの就労日数】



父親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が就学前児童で50.4%、小学生で49.7%、「6日」と回答した割合が就学前児童で42.5%、小学生で43.0%となっている。

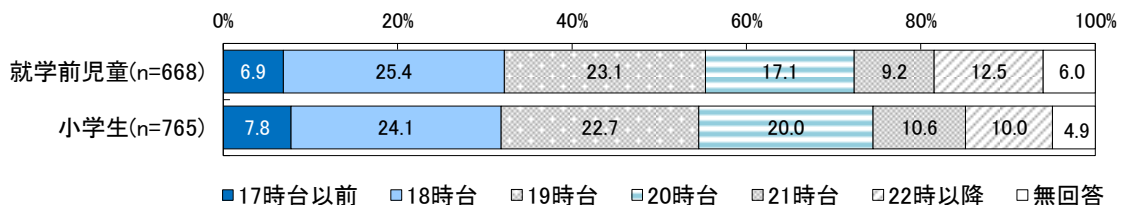
【父親の1日当たりの就労時間】



父親の1日当たりの就労時間について、「7~8時間」と回答した割合が就学前児童で37.7%、小学生で42.3%となっている。

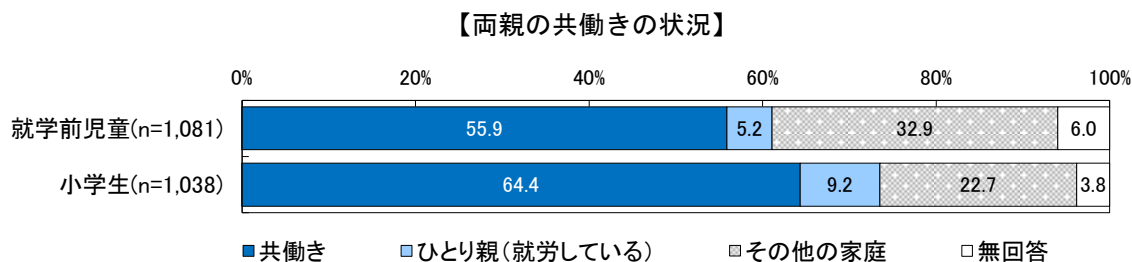
また、「10時間を超える」と回答した割合が就学前児童で23.2%、小学生で19.4%となっている。

【父親の帰宅時間】



父親の帰宅時間について、就学前児童、小学生ともに「18時台」、「19時台」の割合が高くなっているが、21時を超える割合も就学前児童で21.7%、小学生で20.6%となっている。

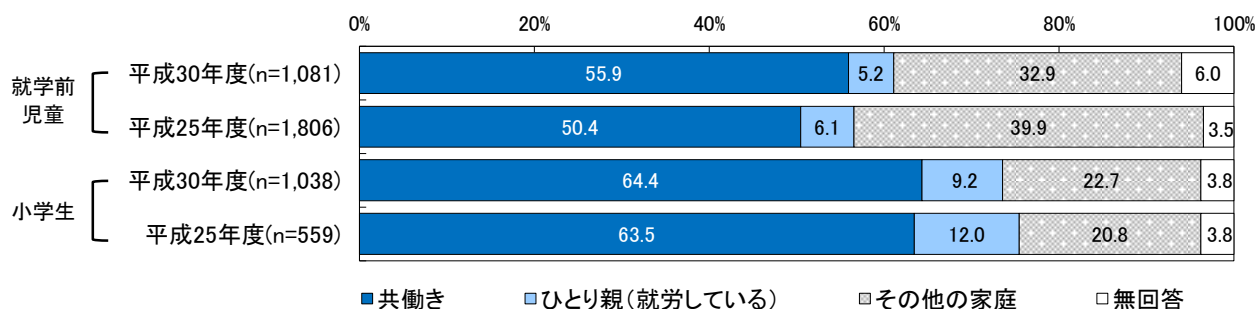
(3) 共働きの状況



母親、父親の就労状況による共働きの家庭の割合が就学前児童で 55.9%、小学生で 64.4% となっている。

また、ひとり親家庭で就労している家庭の割合が就学前児童で 5.2%、小学生で 9.2% となっている。

【両親の共働きの状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、就学前児童では共働きの家庭の割合が大きく上昇している。一方、小学生では大きな変化はみられない。

4 教育・保育事業の利用

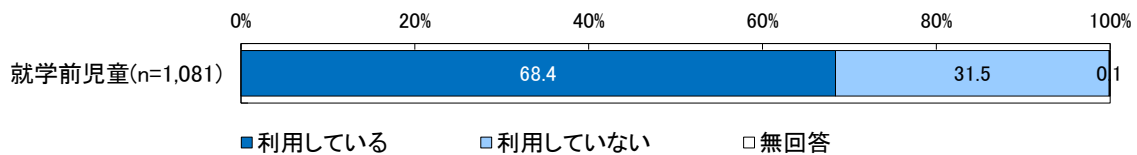
(1) 教育・保育事業の利用状況

問 12 就学前児童

あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していますか。

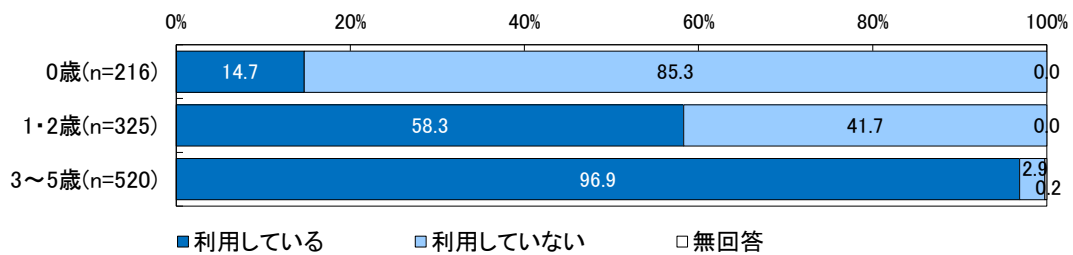
【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用状況】



教育・保育事業の利用状況について、「利用している」と回答した割合が 68.4%となっている。

【教育・保育事業の利用状況 (就学前児童・年齢別)】



年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用している」と回答した割合が高くなっている。

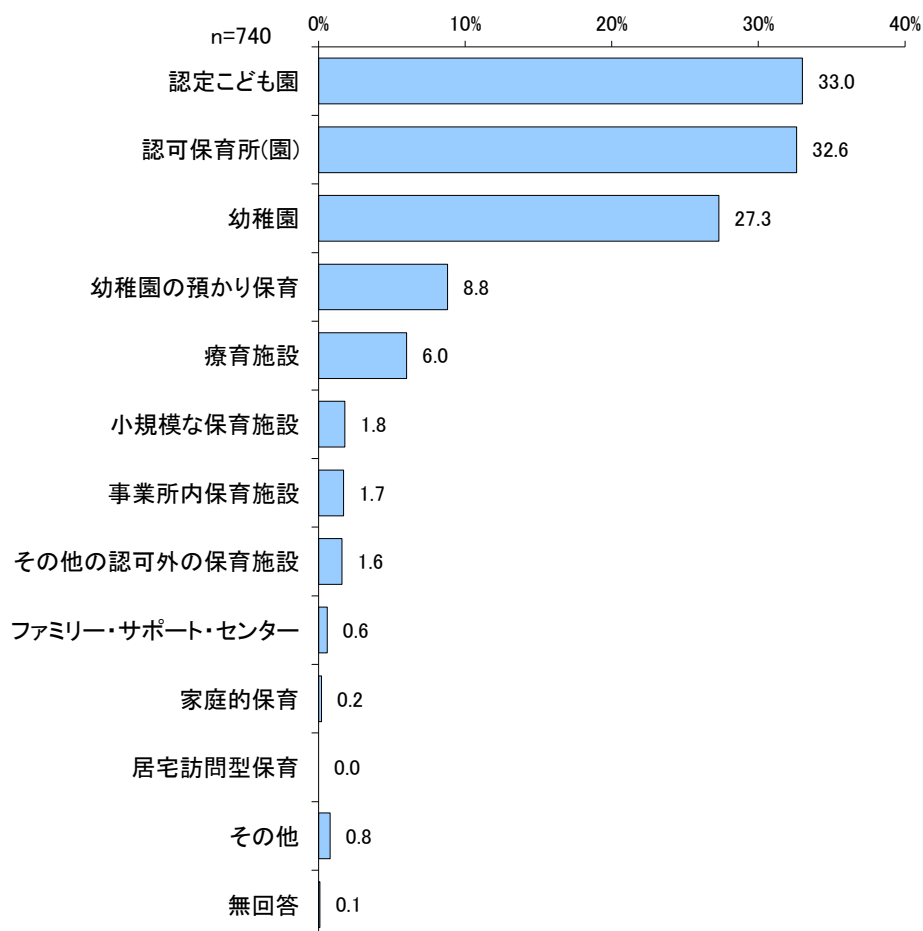
問 12 で「1 利用している」と回答した人のみ回答

問 12-1 就学前児童

あて名のお子さんが、平日に、年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。

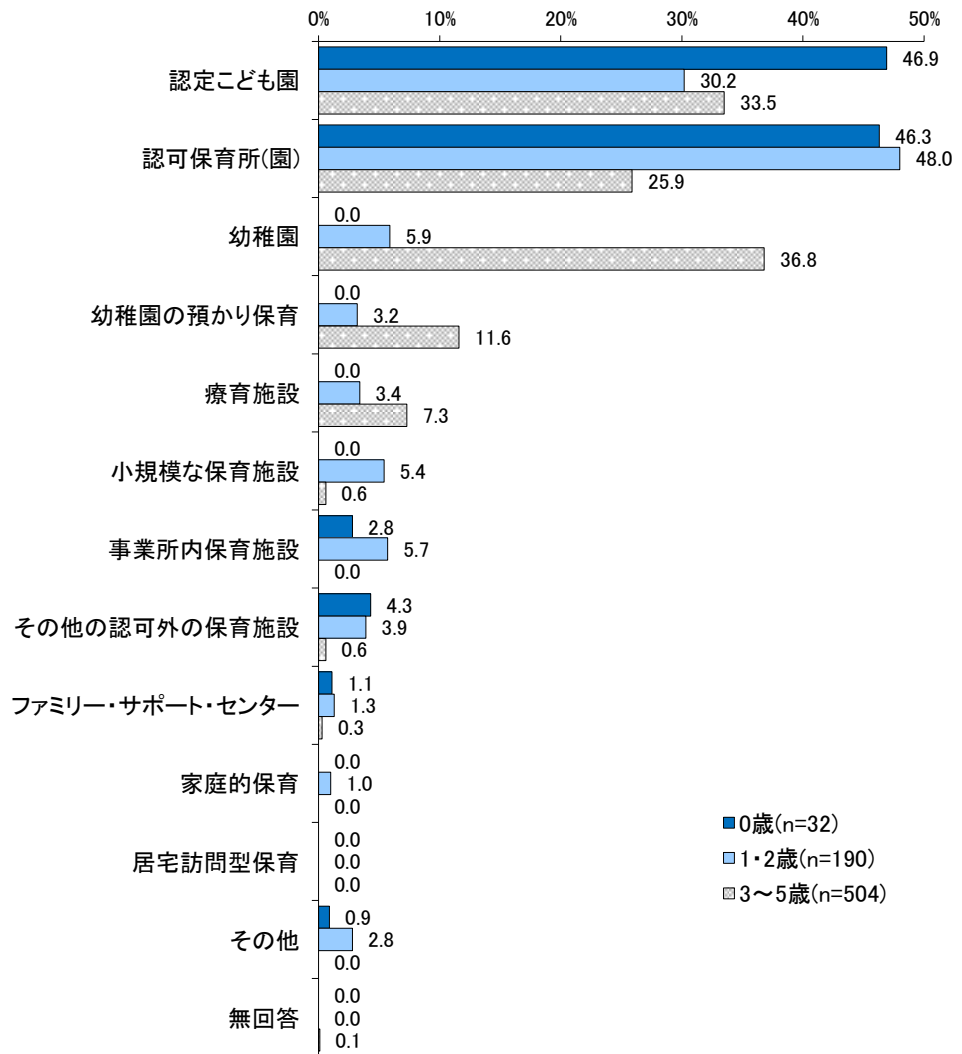
【〇は当てはまるものすべて】

【利用している教育・保育事業】



利用している教育・保育事業について、「認定こども園」と回答した割合が 33.0%と最も高く、「認可保育所(園)」(32.6%)、「幼稚園」(27.3%)が続いている。

【利用している教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】

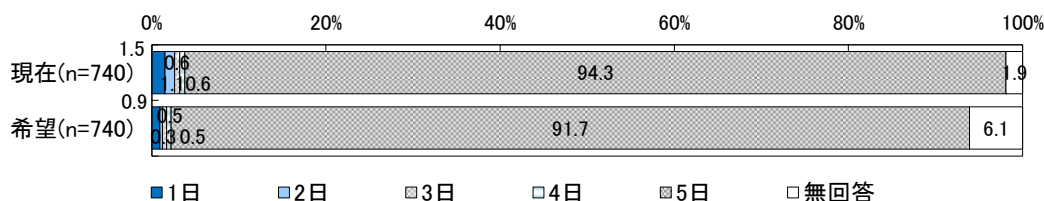


年齢別にみると、0歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「認可保育所（園）」、1・2歳では「認可保育所（園）」と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」、3～5歳では「幼稚園」と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」となっている。

問 12-2 就学前児童

回答した事業を、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。【1週当たりの日数を数字で記入】

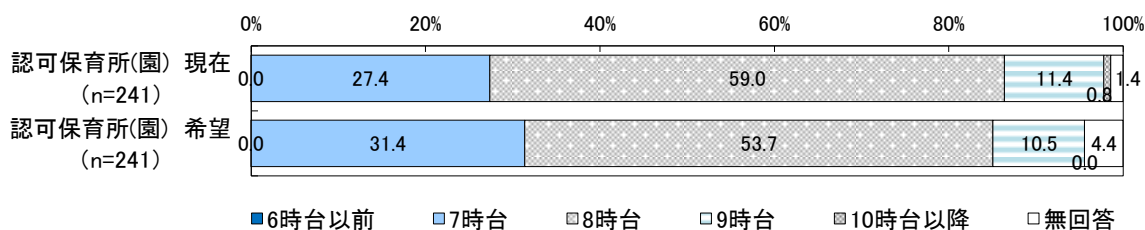
【教育・保育事業の1週当たりの利用日数】



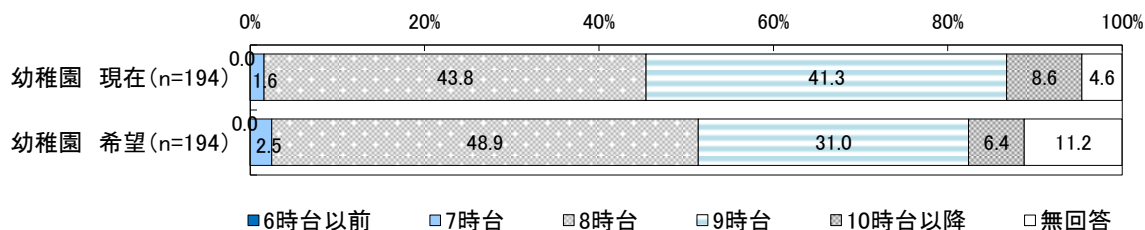
教育・保育事業の1週当たりの利用日数について、現在の利用日数、希望の利用日数ともに「5日」と回答した割合が最も高くなっている。

【教育・保育事業の利用開始時間】

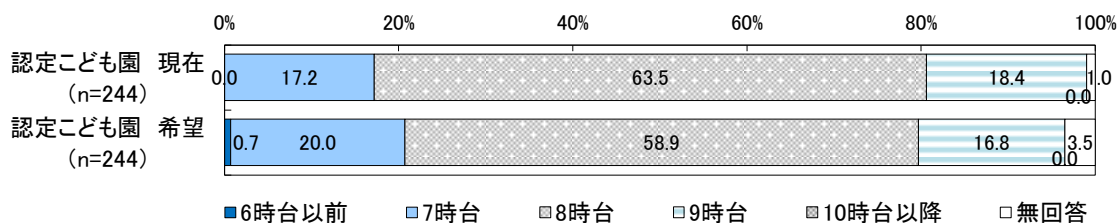
[認可保育所(園)]



[幼稚園]



[認定こども園]

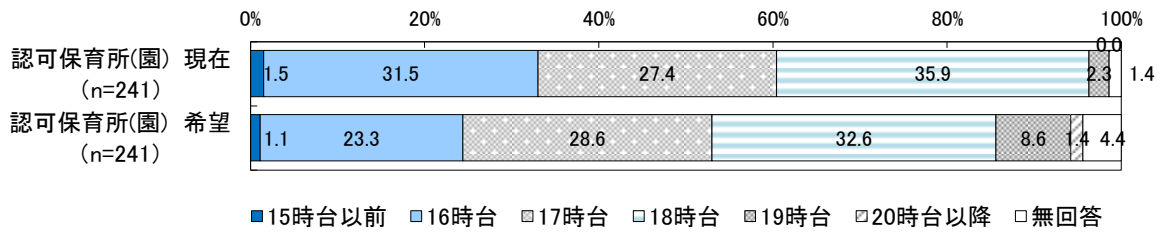


教育・保育事業の利用開始時間について、現在の開始時間は、いずれの事業においても「8時台」の割合が最も高くなっているが、認可保育所(園)では「7時台」の割合が2割台で、幼稚園では「9時台」が4割台で続いて高くなっている。

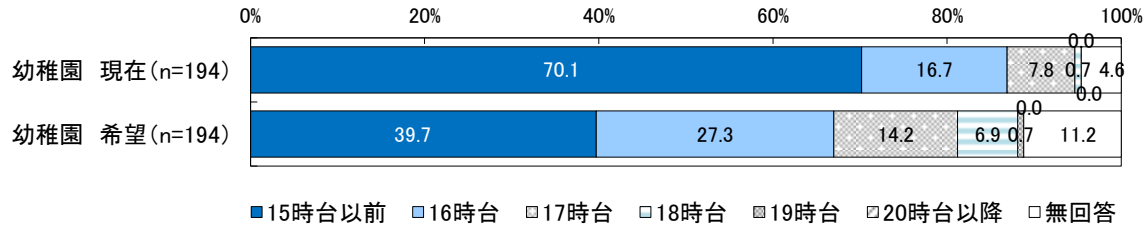
また、希望の開始時間は、現在よりも早い時間帯の割合が高くなっている。

【教育・保育事業の利用終了時間】

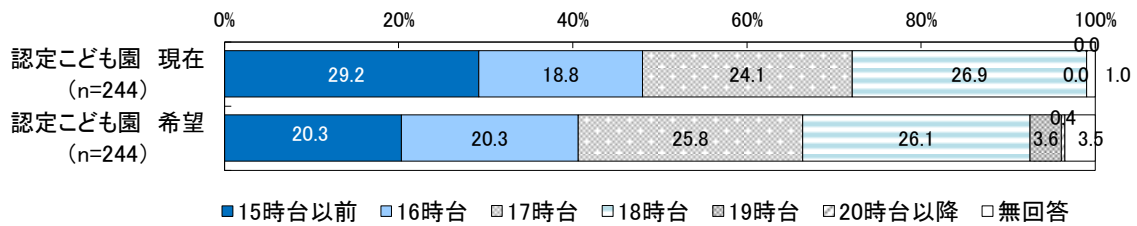
[認可保育所（園）]



[幼稚園]



[認定こども園]



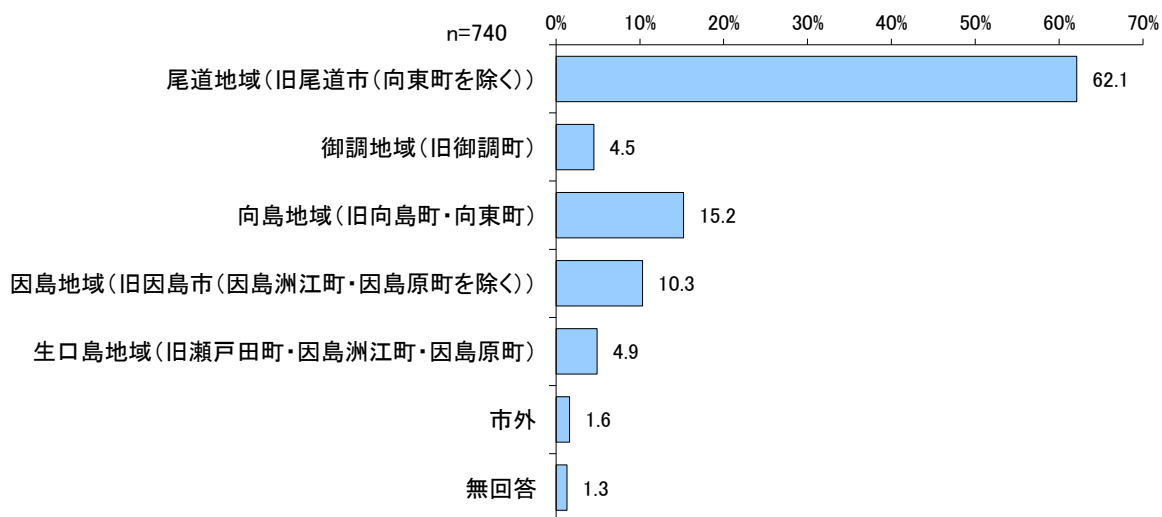
教育・保育事業の利用終了時間について、認可保育所（園）の現在の終了時間は「18 時台」の割合が最も高く、希望では現在よりも「19 時台」の割合が高くなっている。

幼稚園の現在の終了時間は、「15 時台以前」の割合が 70.1% と最も高くなっているが、希望では「16 時台」～「19 時台」の割合が現在よりも高くなっている。

問 12-3 就学前児童

現在、利用している幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業の実施場所はどの地域ですか。【〇は1つ】

【利用している教育・保育事業の実施地域】



利用している教育・保育事業の実施地域について、「尾道地域（旧尾道市（向東町を除く）」と回答した割合が 62.1%と最も高く、「向島地域（旧向島町・向東町）」（15.2%）、「因島地域（旧因島市（因島洲江町・因島原町を除く）」（10.3%）が続いている。

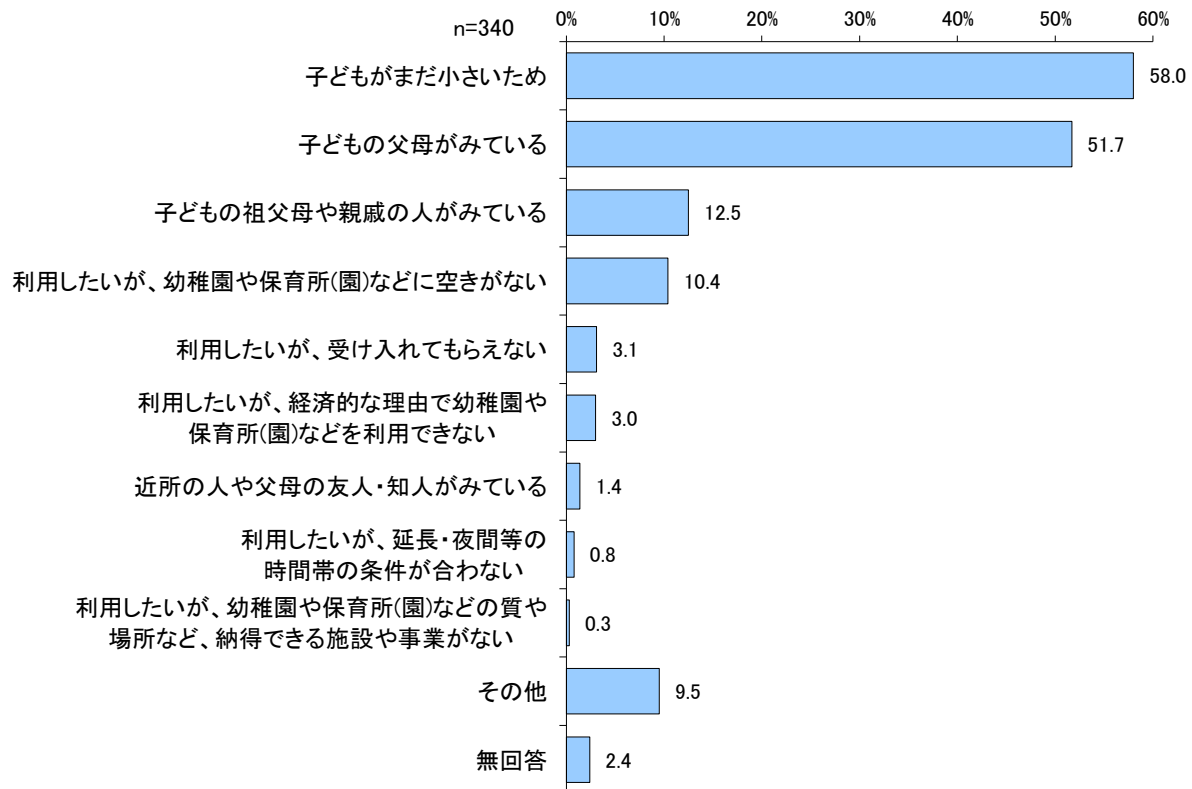
問12で「2 利用していない」と回答した人のみ回答

問12-4 就学前児童

現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【教育・保育事業を利用していない理由】



教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合が58.0%と最も高く、次いで「子どもの父母がみている」(51.7%)となっている。

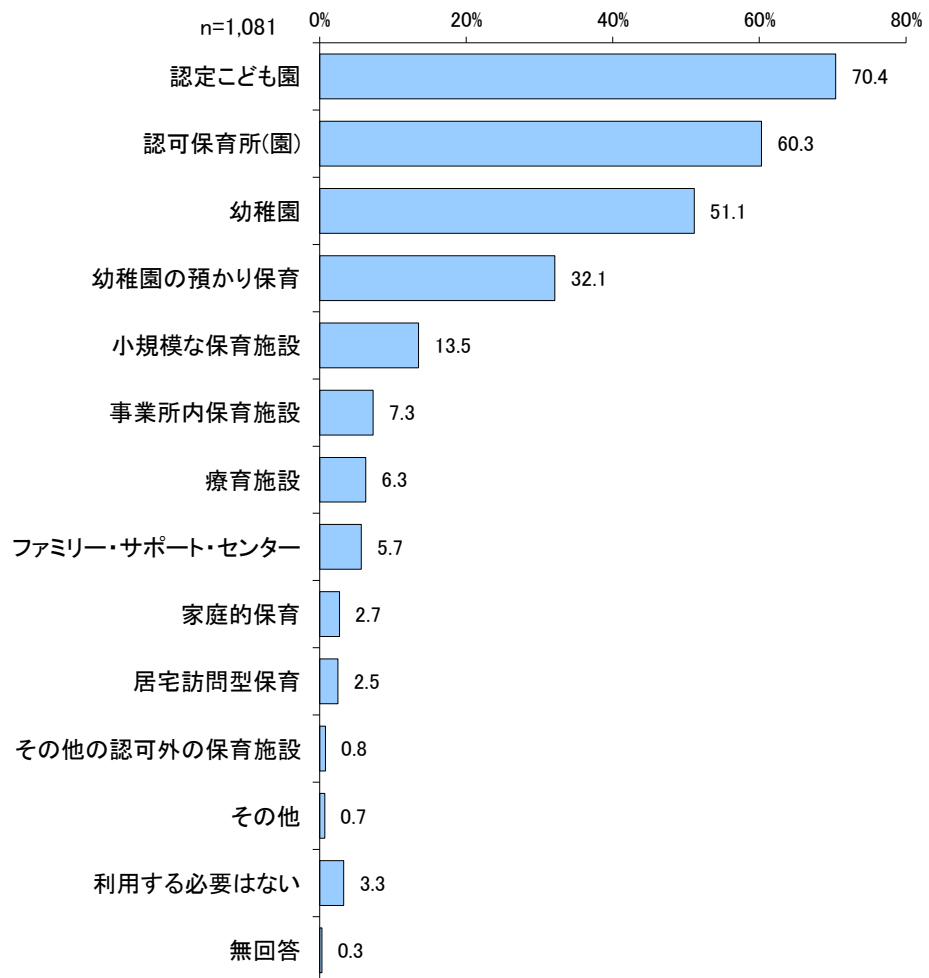
(2) 教育・保育事業の利用希望

問 13 就学前児童

あて名のお子さんは、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず回答してください。

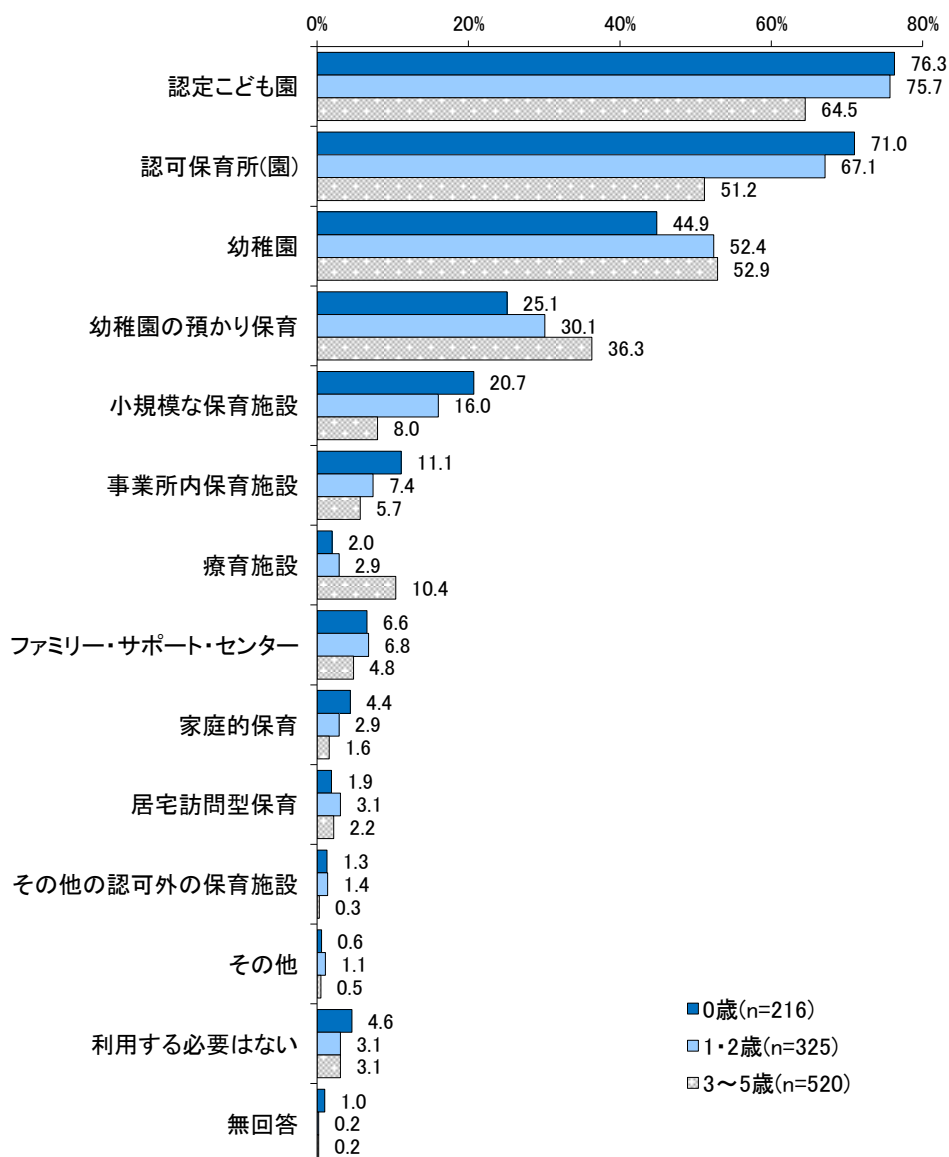
【○は当てはまるものすべて】

【利用を希望する教育・保育事業】



利用を希望する教育・保育事業について、「認定こども園」と回答した割合が 70.4%と最も高く、「認可保育所(園)」(60.3%)、「幼稚園」(51.1%)が続いている。

【利用を希望する教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】



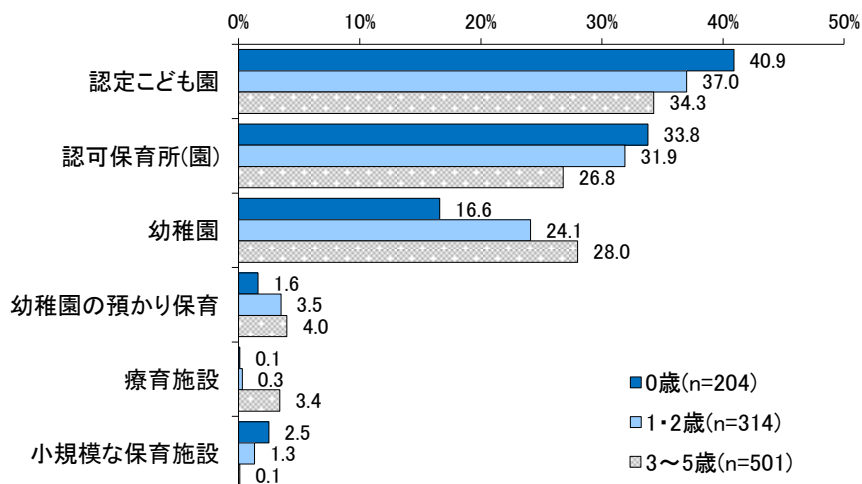
年齢別にみると、0歳、1・2歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「認可保育所（園）」となっており、3～5歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「幼稚園」、「認可保育所（園）」がほぼ同様の値が続いている。

問 13 で「1」から「11」（利用したい幼稚園や保育所（園）などの事業）と回答した人のみ回答

問 13-1 就学前児童

利用を希望する事業のうち、希望する順に上位3つを回答してください。【事業の番号を記入】

【1番目に利用を希望する教育・保育事業（就学前児童・年齢別・上位6項目）】



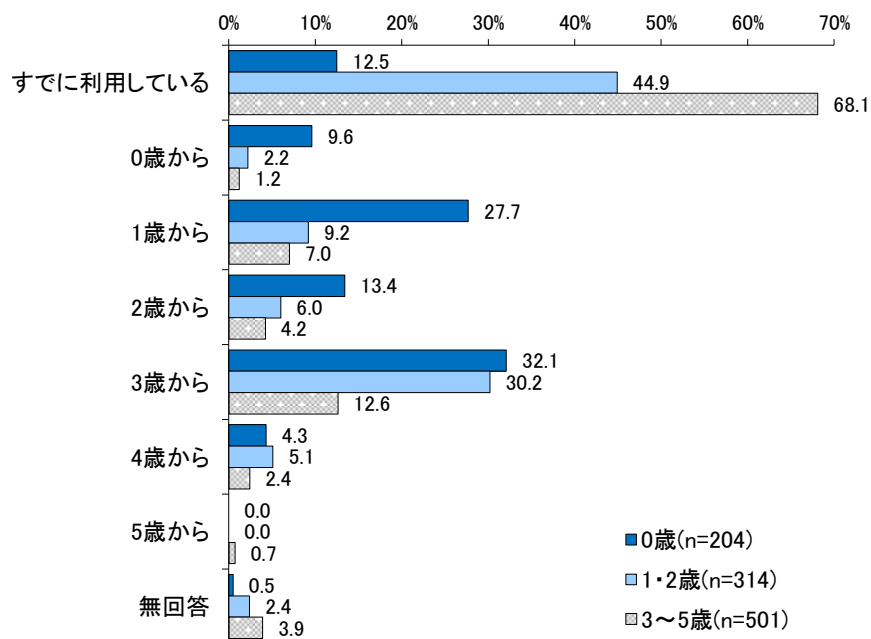
1番目に利用を希望する教育・保育事業について年齢別にみると、0歳、1・2歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「認可保育所（園）」となっており、3～5歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、「幼稚園」、「認可保育所（園）」がほぼ同様の値で続いている。

問 13 で「1」から「11」（利用したい幼稚園や保育所（園）などの事業）と回答した人のみ回答

問 13-2 就学前児童

お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用希望開始年齢（就学前児童・年齢別）】



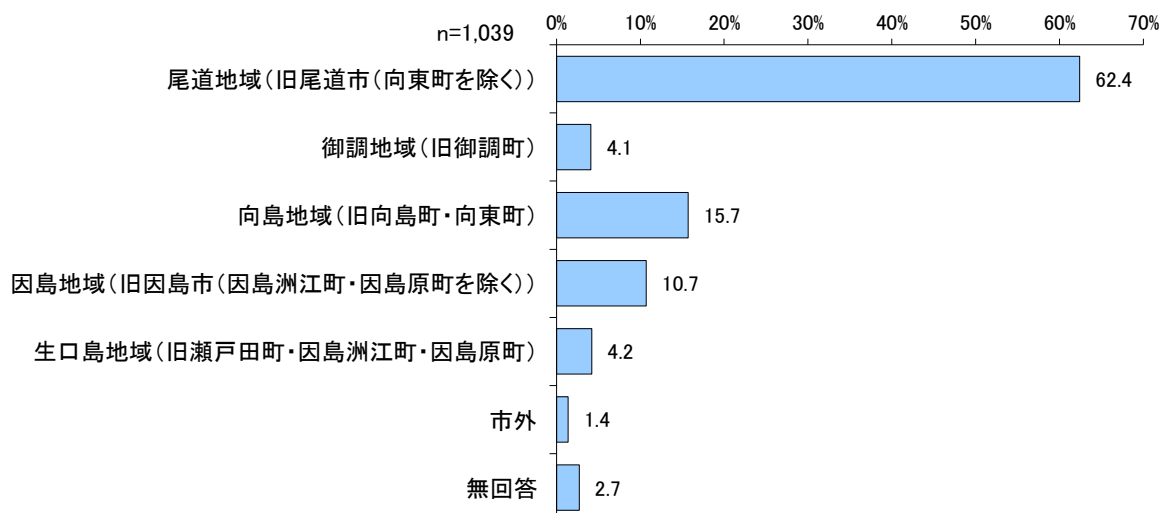
教育・保育事業の利用希望開始年齢について年齢別にみると、0歳では「0歳から」と回答した割合が9.6%、「1歳から」と回答した割合が27.7%となっている。

問 13-3 就学前児童

利用したいと思う幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業はどの地域ですか。

【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用希望地域】



教育・保育事業の利用希望地域について、「尾道地域（旧尾道市（向東町を除く））」と回答した割合が 62.4%と最も高く、「向島地域（旧向島町・向東町）」（15.7%）、「因島地域（旧因島市（因島洲江町・因島原町を除く））」（10.7%）が続いている。

【教育・保育事業の利用希望地域（居住地域別）】

	回答数	利用希望地域						
		尾道地域	御調地域	向島地域	因島地域	生口島地域	市外	無回答
尾道地域	647	94.2%	0.8%	1.1%	0.6%	-	1.9%	2.7%
御調地域	44	13.1%	75.4%	3.4%	-	-	4.2%	5.8%
向島地域	164	8.2%	-	89.0%	-	-	-	3.7%
因島地域	108	2.4%	-	2.0%	94.8%	0.3%	0.6%	0.6%
生口島地域	46	0.6%	-	1.7%	0.6%	93.5%	0.6%	2.9%

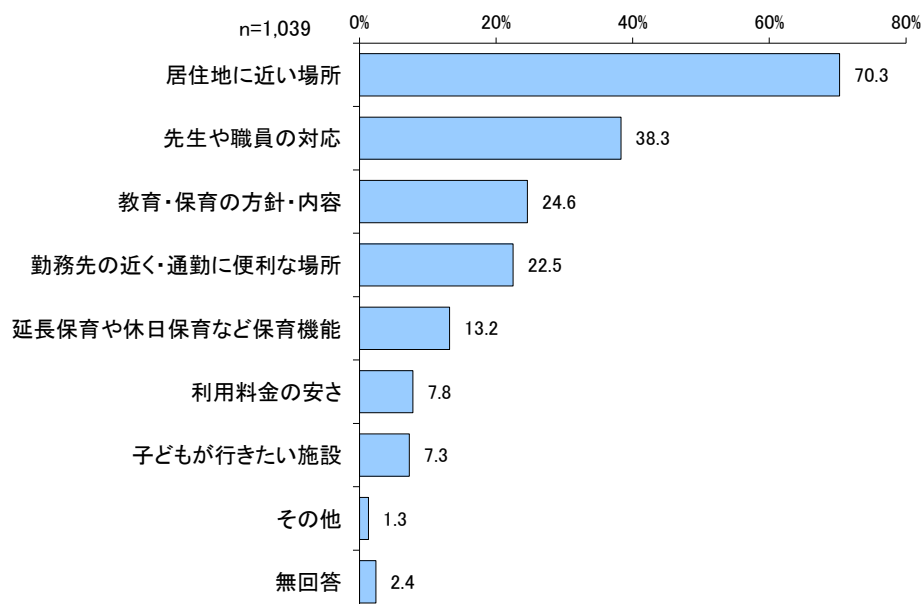
居住地域別にみると、御調地域、向島地域では「尾道地域（旧尾道市（向東町を除く））」を希望する割合が他の地域よりも高くなっている。

また、御調地域では、居住する地域（御調地域）を希望する割合が低くなっている。

問 13-4 就学前児童

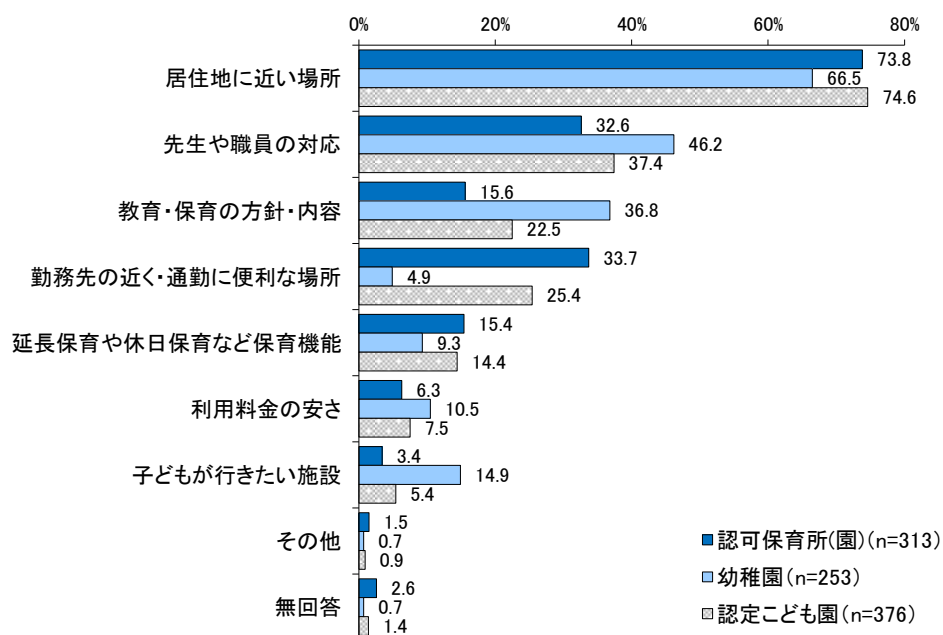
幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を選ぶときに特に重視することを回答してください。【〇は2つまで】

【教育・保育事業を選ぶ際に重視すること】



教育・保育事業を選ぶ際に重視することについて、「居住地に近い場所」と回答した割合が70.3%と最も高く、次いで「先生や職員の対応」(38.3%)となっている。

【教育・保育事業を選ぶ際に重視すること（希望する事業別）】

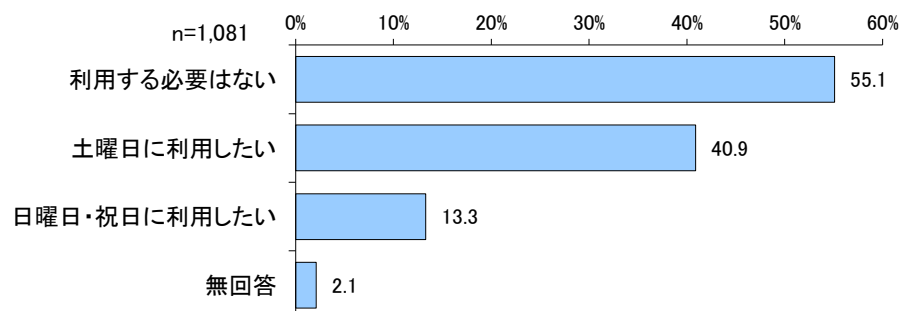


希望する事業別にみると、いずれの事業においても「居住地に近い場所」と回答した割合が高くなっているが、認可保育所（園）、認定こども園では「勤務先の近く・通勤に便利な場所」が2～3割台となっている。一方、幼稚園では「先生や職員の対応」、「教育・保育の方針・内容」の割合が他の事業よりも高くなっている。

問 14 就学前児童

あて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を利用したいですか。【○は当てはまるものすべて】

【土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望】



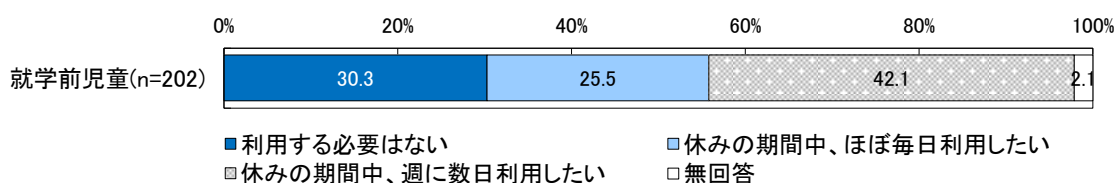
土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合が 55.1%と最も高く、「土曜日に利用したい」(40.9%)、「日曜日・祝日に利用したい」(13.3%)が続いている。

幼稚園を利用している人のみ回答

問 15 就学前児童

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を利用したいですか。【○は1つ】

【長期休暇中の教育・保育事業の利用希望】



長期休暇中の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合が 30.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した割合が 25.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した割合が 42.1%となっている。

5 病気の際の対応

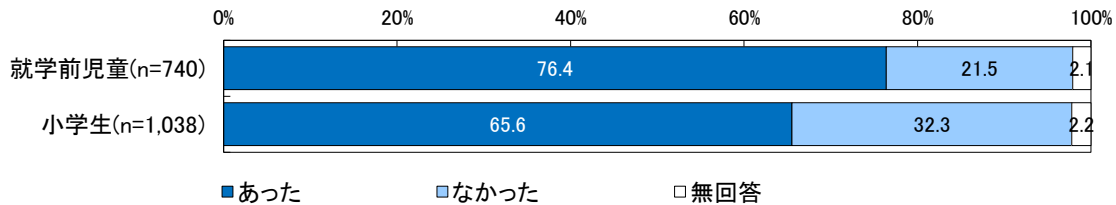
(1) 病気等により幼稚園・保育所等を利用できなかった経験

平日に幼稚園や保育所(園)などを利用している人と小学生のみ回答

問 16 就学前児童・問 15 小学生

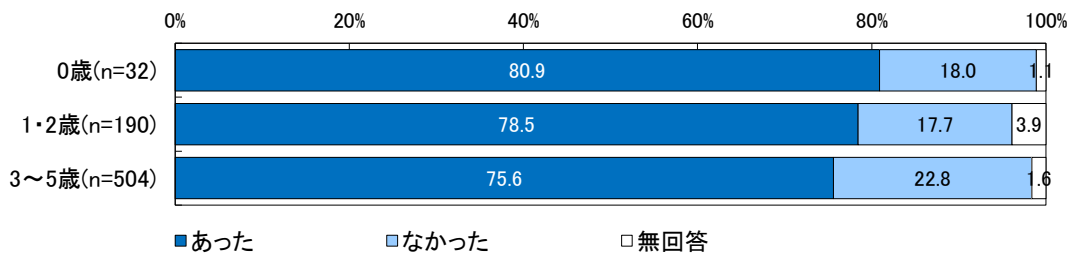
この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業や学校を利用できなかったこと、休んだことはありましたか。【○は1つ】

【病気等により幼稚園や保育所(園)、学校を休んだ経験】



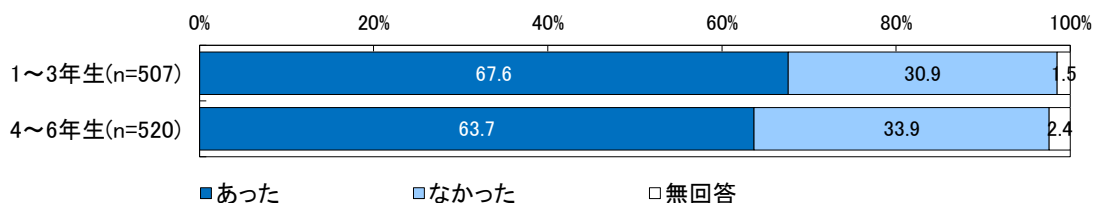
病気等により幼稚園や保育所(園)、学校を休んだ経験について、「あった」と回答した割合が就学前児童で76.4%、小学生で65.6%となっている。

【病気等により幼稚園や保育所(園)を利用できなかった経験(就学前児童・年齢別)】



年齢別にみると、年齢が低くなるほど「あった」と回答した割合が高くなっている。

【病気等により学校を休んだ経験(小学生・学年別)】



学年別にみると、大きな差はみられない。

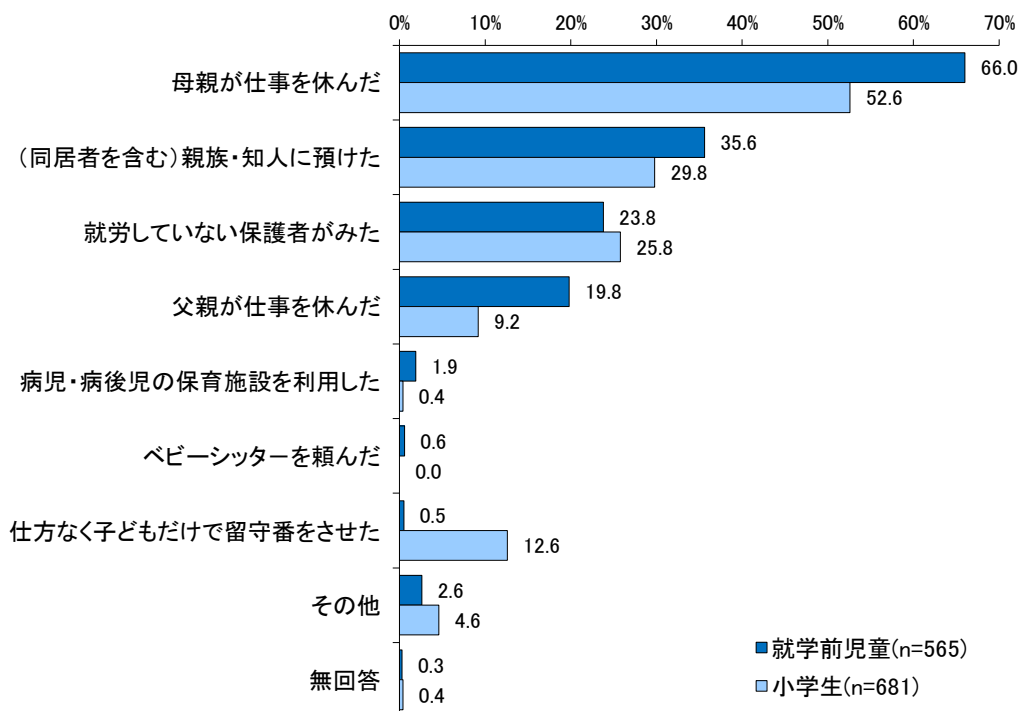
問 16・問 15 で「1 あった」と回答した人のみ回答

問 16-1 就学前児童・問 15-1 小学生

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業や学校を利用できなかった、休んだ場合に、どのように対応しましたか。

【〇は当てはまるものすべて】

【病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の対応方法】



病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が最も高く、就学前児童で66.0%、小学生で52.6%であり、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(就学前児童35.6%・小学生29.8%)となっている。

【病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の年間対応日数(平均日数)】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(日)	回答数	平均(日)
父親が仕事を休んだ	103	4.1	59	3.5
母親が仕事を休んだ	330	9.4	327	4.0
(同居者を含む)親族・知人に預けた	178	7.2	186	3.8
就労していない保護者がみた	110	8.1	149	5.6
病児・病後児の保育施設を利用した	11	6.0	3	2.0
ベビーシッターを頼んだ	3	3.6	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	3.7	84	3.3
その他	14	5.5	27	3.0

病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の年間対応日数について、「就労していない保護者がみた」の平均日数が就学前児童で8.1日、小学生で5.6日となっている。

(2) 病児・病後児保育施設の利用希望

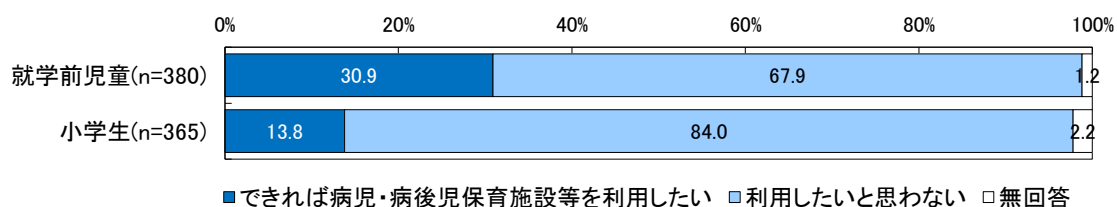
問 16-1・問 15-1 で「1」または「2」（父親・母親が仕事を休んだ）と回答した人のみ回答

問 16-2 就学前児童・問 15-2 小学生

父親、母親が休んだ際に、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。

【〇は1つ】

【病児・病後児保育施設の利用希望】



病児・病後児保育施設の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合が就学前児童で30.9%、小学生で13.8%となっている。

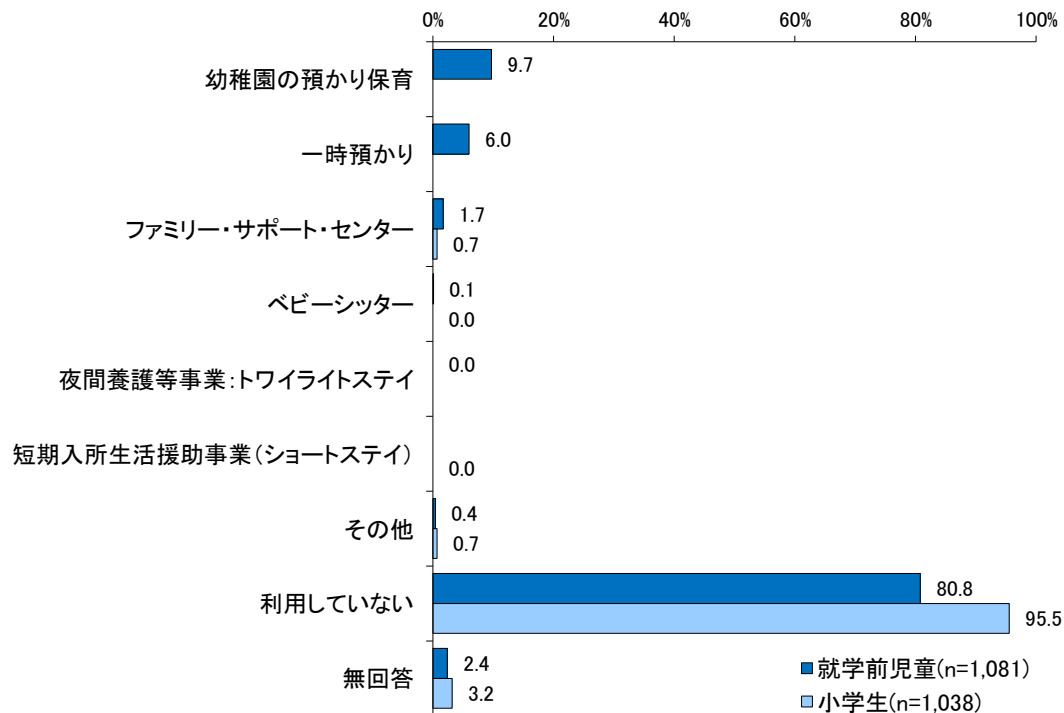
6 不定期の保育事業

(1) 不定期に利用したサービス

問 17 就学前児童・問 16 小学生

あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。(宿泊は伴わない)【○は当てはまるものすべて】

【不定期に利用したサービス】



不定期に利用したサービスについて、就学前児童では「幼稚園の預かり保育」と回答した割合が9.7%と最も高く、次いで「一時預かり」(6.0%)となっている。

また、「利用していない」と回答した割合が就学前児童で80.8%、小学生で95.5%となっている。

【不定期のサービスの年間利用日数(平均日数)】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(日)	回答数	平均(日)
一時預かり	62	19.4		
幼稚園の預かり保育	98	30.4		
ファミリー・サポート・センター	18	6.2	7	10.6
夜間養護等事業:トワイライトステイ	1	120.0		
短期入所生活援助事業(ショートステイ)			-	-
ベビーシッター	1	50.0	-	-
その他	4	34.2	6	27.9

不定期のサービスの年間利用日数について、就学前児童では「一時預かり」の平均日数は19.4日、「幼稚園の預かり保育」の平均日数は30.4日となっている。

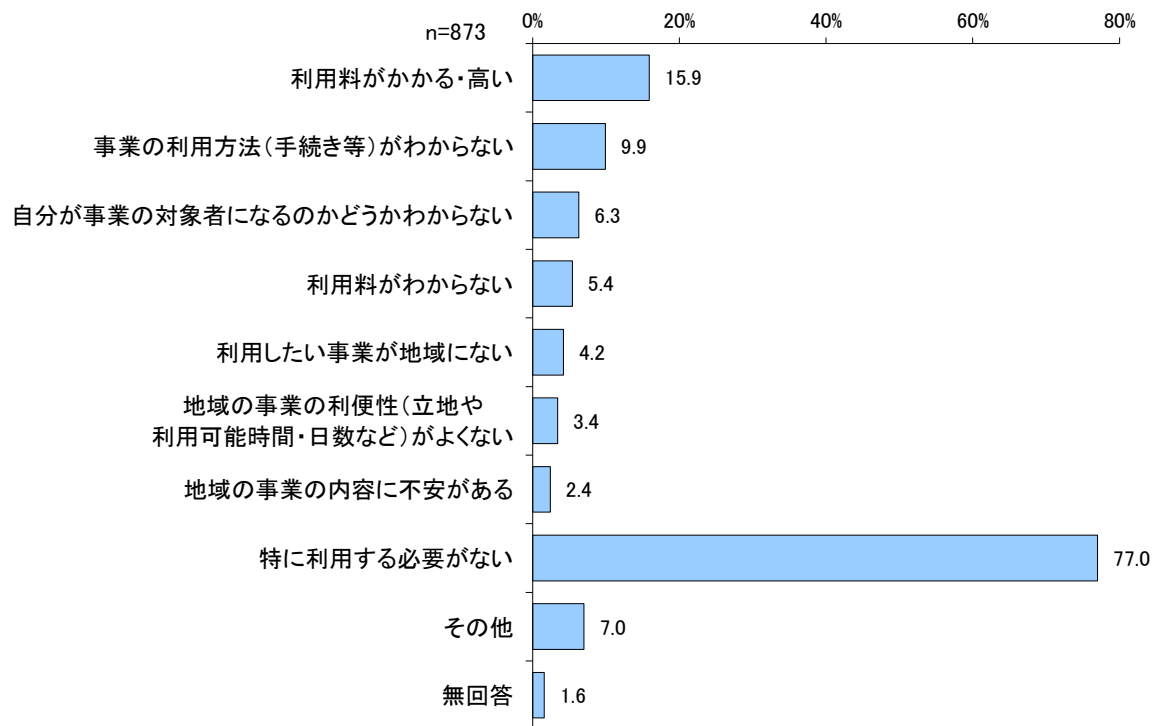
また、「ファミリー・サポート・センター」の平均日数は就学前児童で6.2日、小学生で10.6日となっている。

問 17 「7 利用していない」と回答した人のみ回答

問 17-1 就学前児童

現在、利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

【不定期のサービスを利用していない理由】



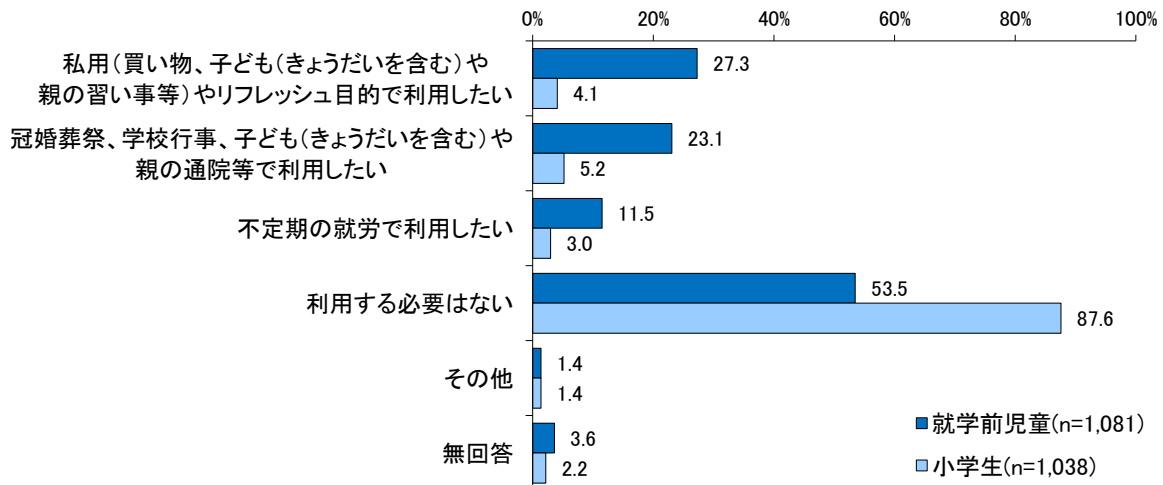
不定期のサービスを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「利用料がかかる・高い」(15.9%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(9.9%)と回答した割合が高くなっている。

(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望

問 18 就学前児童・問 17 小学生

あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。(宿泊は伴わない)【○は当てはまるものすべて】

【不定期に子どもを預ける事業の利用希望】



不定期に子どもを預ける事業の利用希望について、就学前児童では「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やリフレッシュ目的で利用したい」と回答した割合が27.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等で利用したい」（23.1%）となっている。

また、「利用する必要はない」と回答した割合が就学前児童で53.5%、小学生で87.6%となっている。

【不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数（平均日数）】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(日)	回答数	平均(日)
私用(買い物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的で利用したい	268	15.7	40	9.6
冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等で利用したい	215	8.6	46	8.7
不定期の就労で利用したい	105	38.2	26	20.3
その他	6	46.4	6	23.2

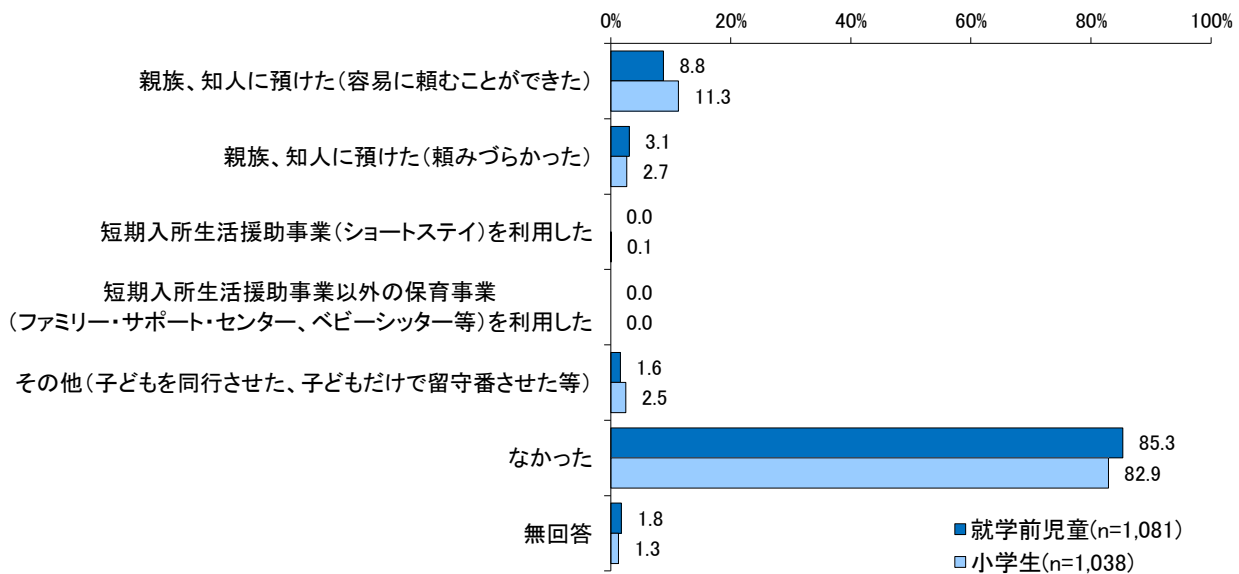
不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数について、「その他」を除くと、「不定期の就労で利用したい」の平均日数が就学前児童で38.2日、小学生で20.3日と最も多くなっている。

(3) 家族以外に泊りがけで子どもを預けた経験

問 19 就学前児童・問 18 小学生

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことがありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）【○は当てはまるものすべて】

【家族以外に泊りがけで子どもを預けた経験】



家族以外に泊りがけで子どもを預けた経験について、「親族、知人に預けた（容易に頼むことができた）」と回答した割合が就学前児童で8.8%、小学生で11.3%となっている。

【家族以外に泊りがけで子どもを預けた年間泊数（平均泊数）】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(泊)	回答数	平均(泊)
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	-	-	1	1.0
短期入所生活援助事業(ショートステイ)以外の保育事業(ファミリー・サポート・センター、ベビーシッター等)を利用した	-	-	-	-
親族、知人に預けた(容易に頼むことができた)	87	9.2	105	4.8
親族、知人に預けた(頼みづらかった)	34	3.8	27	4.0
その他(子どもを同行させた、子どもだけで留守番させた等)	16	7.6	24	2.8

家族以外に泊りがけで子どもを預けた年間泊数について、「親族、知人に預けた（容易に頼むことができた）」の平均泊数が就学前児童で9.2泊、小学生で4.8泊と最も多くなっている。

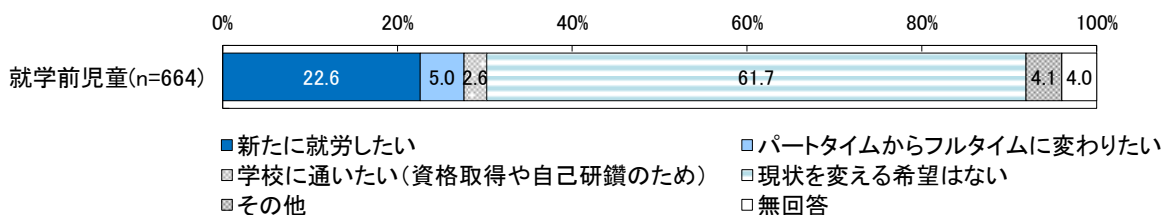
7 幼児教育・保育の無償化

(1) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労・通学状況の変更希望

問 20 就学前児童

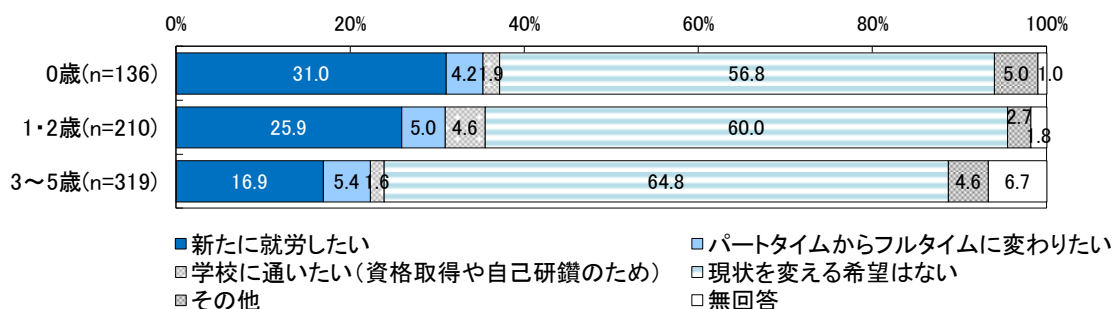
幼児教育・保育の無償化が実施された場合、あて名のお子さんのお母さん、お父さんは就労状況や通学状況を変える希望がありますか。【〇は1つ】

【幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労状況等の変更希望（母親・パートタイム及び無職の人）】



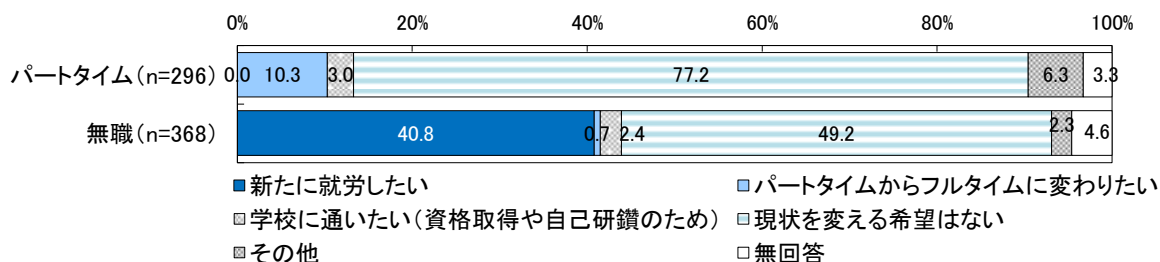
幼児教育・保育の無償化が実施された場合の母親の就労状況等の変更希望について、「新たに就労したい」と回答した割合が 22.6%、「パートタイムからフルタイムに変わりたい」と回答した割合が 5.0%となっている。

【幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労状況等の変更希望（母親・パートタイム及び無職の人） （就学前児童・年齢別）】



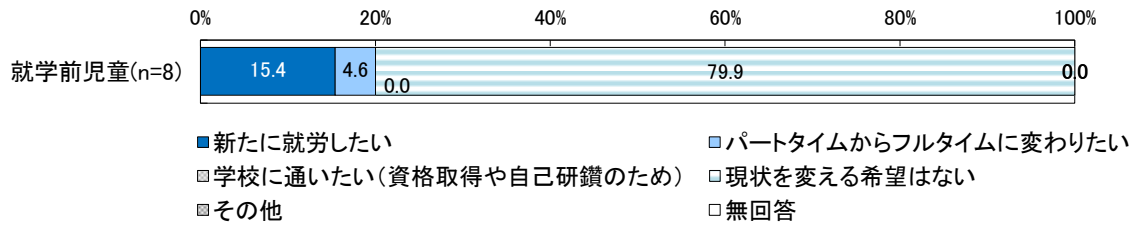
年齢別にみると、3～5歳では「新たに就労したい」と回答した割合が 16.9%、「パートタイムからフルタイムに変わりたい」と回答した割合が 5.4%となっている。

【幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労状況等の変更希望（母親）（就学前児童・就労状況別）】



母親の就労状況別にみると、無職では「新たに就労したい」と回答した割合が 40.8%となっている。

【幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労状況等の変更希望（父親・パートタイム及び無職の人）】



幼児教育・保育の無償化が実施された場合の父親の就労状況等の変更希望について、対象はわずかであるが、「新たに就労したい」と回答した割合が15.4%、「パートタイムからフルタイムに変わりたい」と回答した割合が4.6%となっている。

(2) 就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設

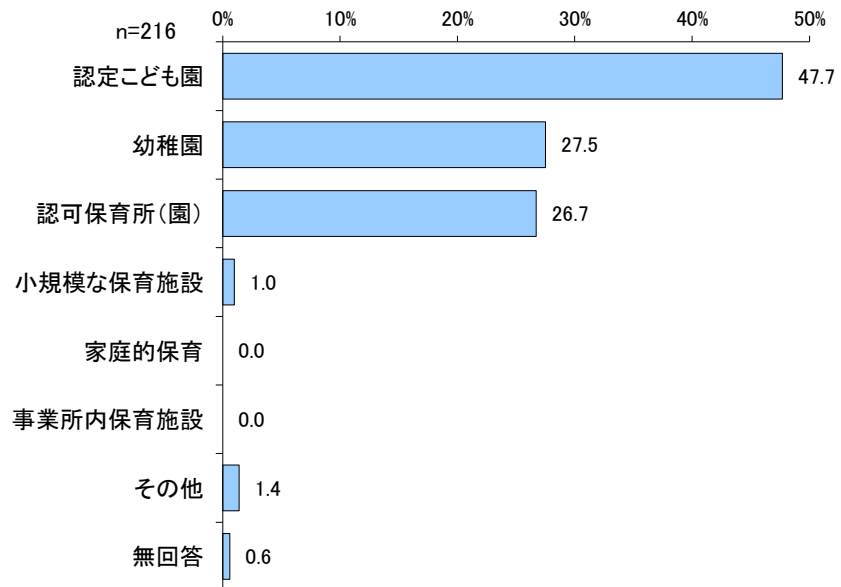
問 20 で「1」～「3」と回答した人のみ回答

問 20-1 就学前児童

無償化の対象となった場合、あて名のお子さんほどの教育・保育施設を利用したいですか。(現在利用している事業と変わらない場合は、その事業を回答してください。)

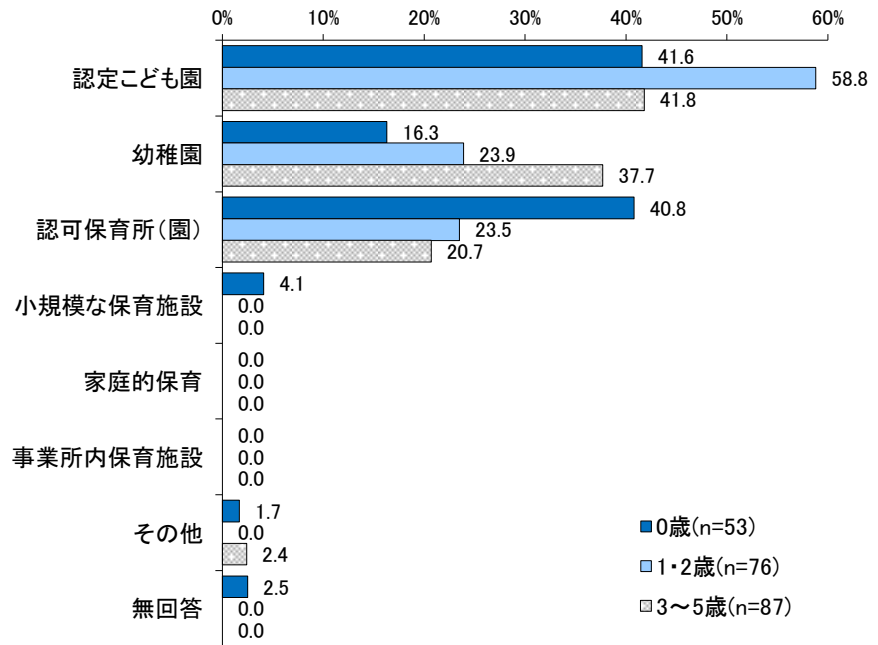
【○は最も当てはまるもの1つ】

【無償化の対象となった場合に利用を希望する教育・保育施設】



無償化の対象となった場合に利用を希望する教育・保育施設について、「認定こども園」と回答した割合が47.7%と最も高く、「幼稚園」(27.5%)、「認可保育所(園)」(26.7%)が続いている。

【無償化の対象となった場合に利用を希望する教育・保育施設（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、3～5歳では「認定こども園」と回答した割合が41.8%と最も高く、「幼稚園」(37.7%)、「認可保育所(園)」(20.7%)が続いている。

8 放課後の過ごし方

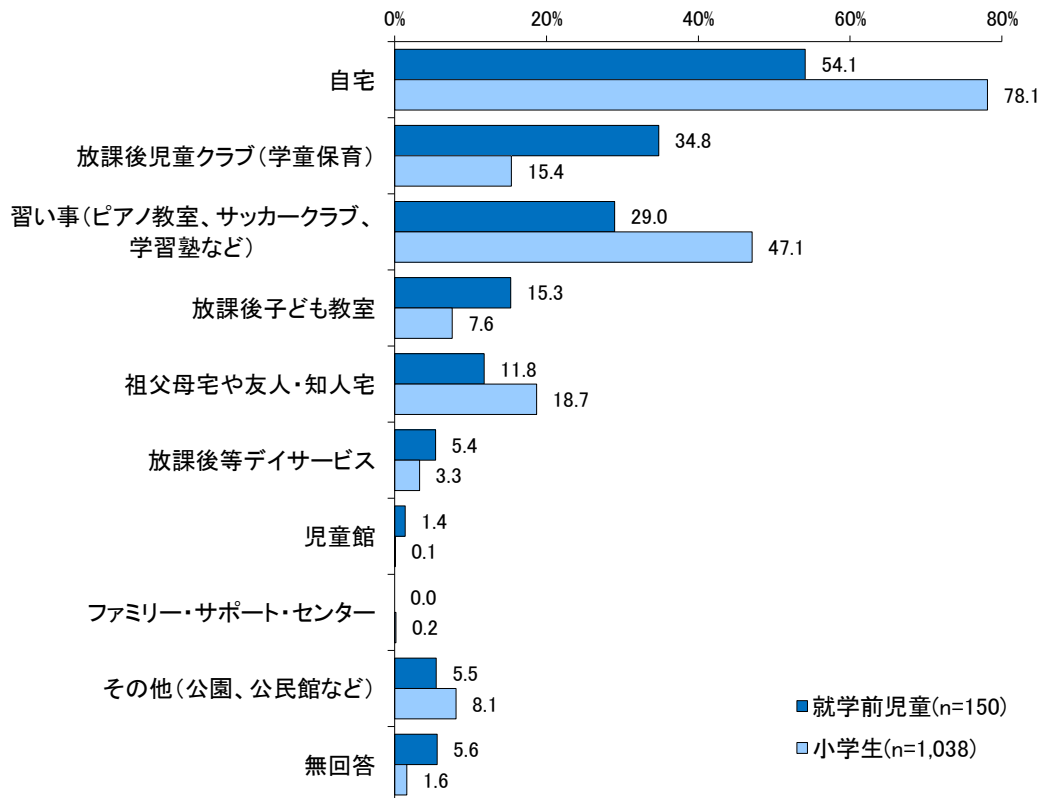
(1) 放課後の過ごし方

5歳以上の就学前児童と小学生のみ回答

問 21 就学前児童・問 12 小学生

あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（過ごされていますか）。【○は当てはまるものすべて】

【放課後の過ごし方】



放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した割合が就学前児童で34.8%、小学生で15.4%となっている。

また、「放課後子ども教室」と回答した割合が就学前児童で15.3%、小学生で7.6%となっている。

【放課後に過ごしたい（過ごしている）場所の1週当たりの利用日数（平均日数）】

	就学前児童(5歳)		小学生	
	回答数	平均 (日)	回答数	平均 (日)
自宅	74	3.9	775	3.9
祖父母宅や友人・知人宅	16	2.6	184	2.5
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	43	1.9	487	2.4
児童館	2	2.4	1	5.0
放課後子ども教室	23	2.6	76	2.0
放課後児童クラブ(学童保育)	51	4.5	158	4.3
放課後等デイサービス	8	2.2	34	2.2
ファミリー・サポート・センター	-	-	3	3.0
その他(公園、公民館など)	7	1.9	79	2.1

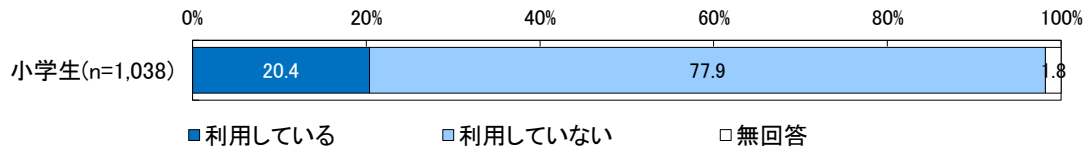
放課後に過ごしたい（過ごしている）場所の1週当たりの利用日数について、「放課後児童クラブ（学童保育）」の平均日数は就学前児童で4.5日、小学生で4.3日となっている。

(2) 放課後児童クラブの利用状況

問 13 小学生

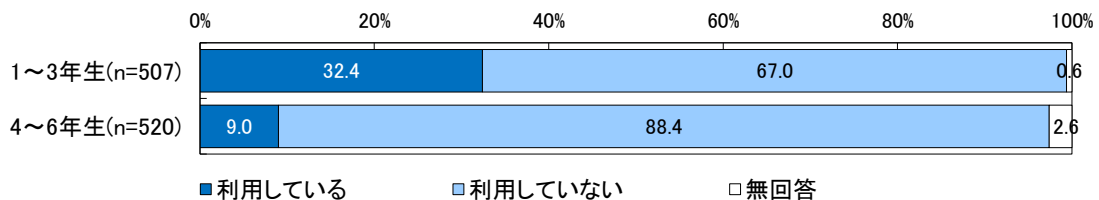
あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。【〇は1つ】

【放課後児童クラブの利用状況】



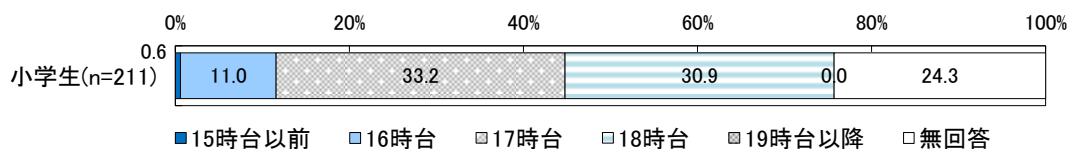
放課後児童クラブの利用状況について、「利用している」と回答した割合が 20.4%となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（小学生・学年別）】



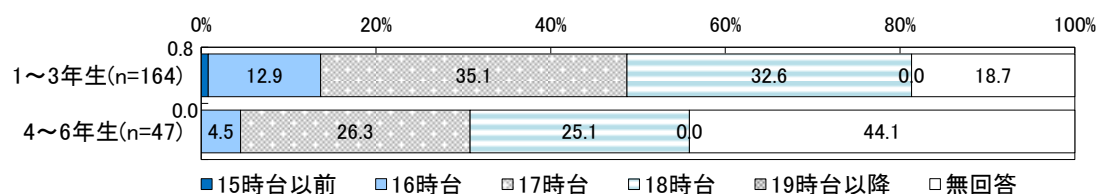
学年別にみると、「利用している」と回答した割合は1～3年生が32.4%、4～6年生が9.0%となっている。

【放課後児童クラブの利用終了時間】



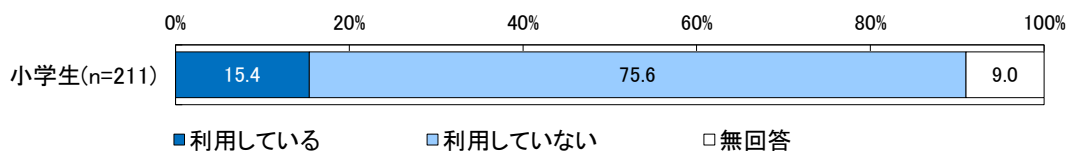
放課後児童クラブの利用終了時間について、「17時台」と回答した割合が33.2%、「18時台」と回答した割合が30.9%となっている。

【放課後児童クラブの利用終了時間（小学生・学年別）】



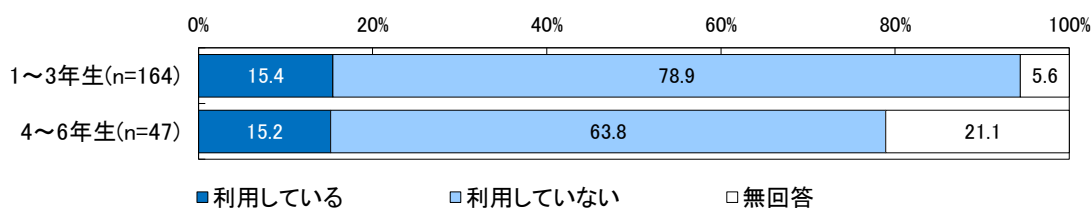
学年別にみると、1～3年生で「17時台」と回答した割合が35.1%となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用状況】



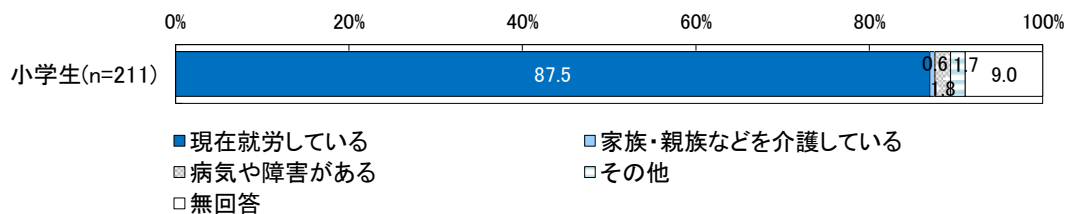
放課後児童クラブの土曜日の利用状況について、「利用している」と回答した割合が 15.4% となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用状況（小学生・学年別）】



学年別にみると、「利用している」と回答した割合は 1～3 年生が 15.4%、4～6 年生が 15.2% となっている。

【放課後児童クラブを利用している理由】



放課後児童クラブを利用している理由について、「現在就労している」と回答した割合が 87.5% と最も高くなっている。

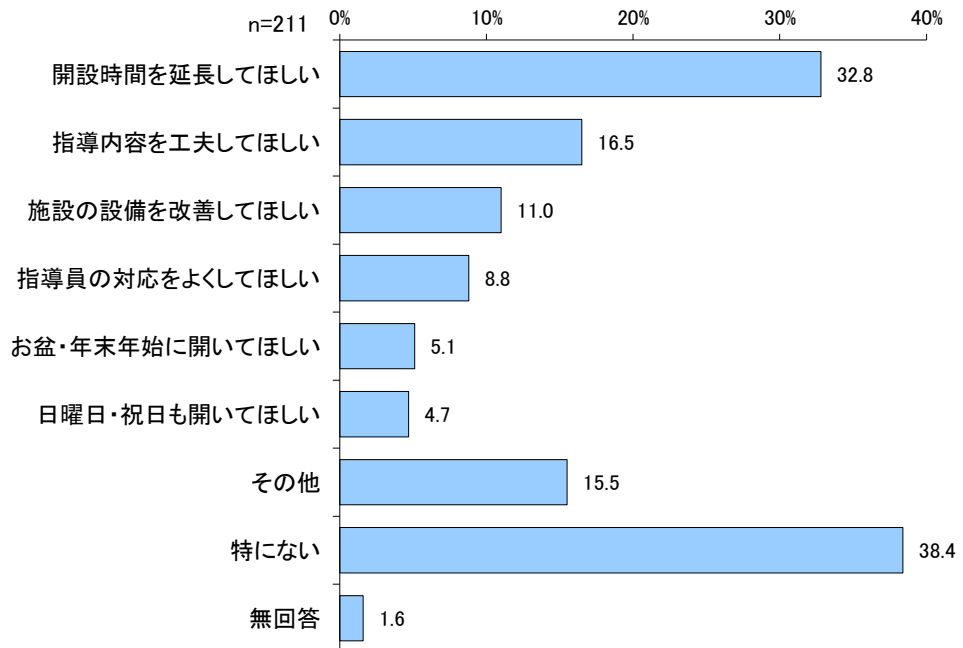
(3) 放課後児童クラブに対する要望

問 13-2 小学生

現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。

【○は当てはまるものすべて】

【現在通っている放課後児童クラブに対する要望】



現在通っている放課後児童クラブに対する要望について、「開設時間を延長してほしい」と回答した割合が 32.8%と最も高く、次いで「指導内容を工夫してほしい」(16.5%)となっている。

また、「特にない」と回答した割合が 38.4%となっている。

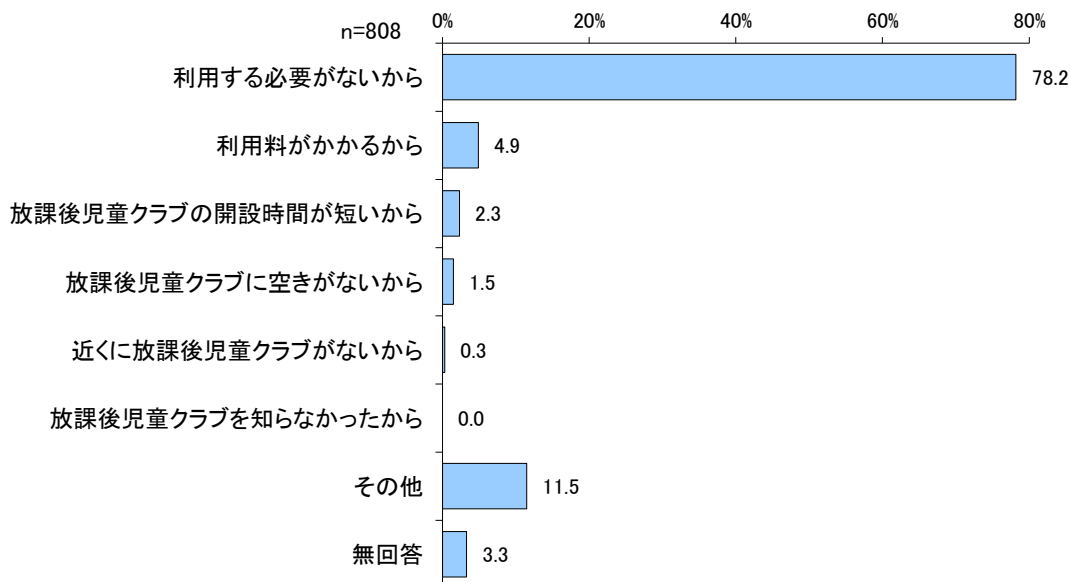
(4) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 13 で「2 利用していない」と回答した人のみ回答

問 13-3 小学生

放課後児童クラブを利用していないのはなぜですか。【○は主な理由 1 つ】

【放課後児童クラブを利用していない理由】



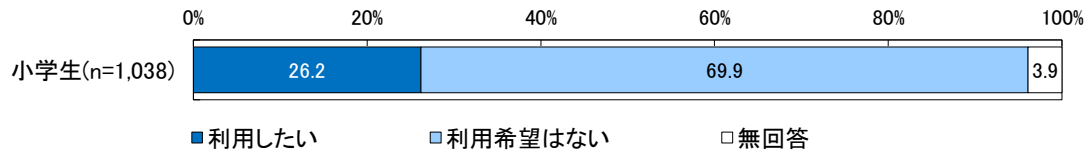
放課後児童クラブを利用していない理由について、「利用する必要がないから」と回答した割合が 78.2%と最も高くなっている。

(5) 今後の放課後児童クラブの利用希望

問 14 小学生

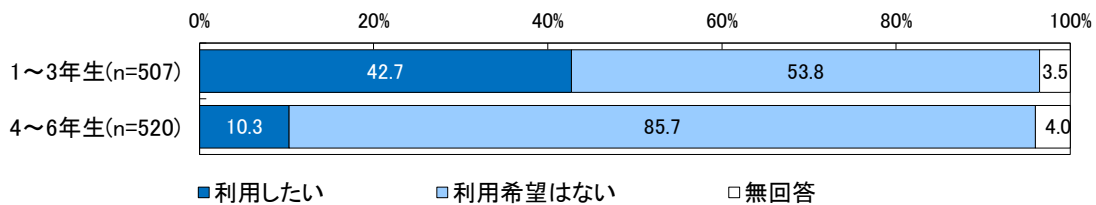
あて名のお子さんは、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【〇は1つ】

【放課後児童クラブの利用希望】



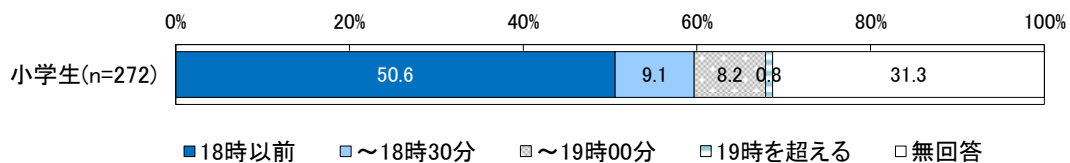
放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が26.2%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（小学生・学年別）】



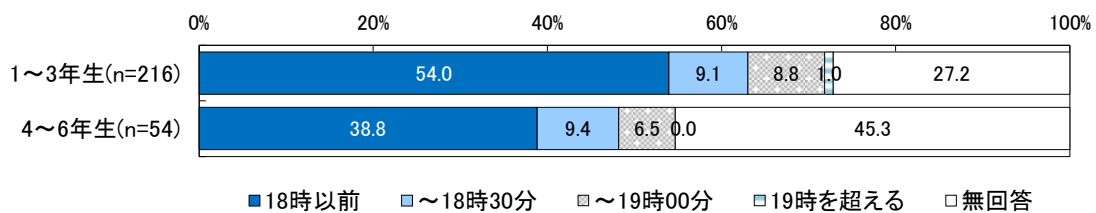
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生が42.7%、4～6年生が10.3%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了時間】



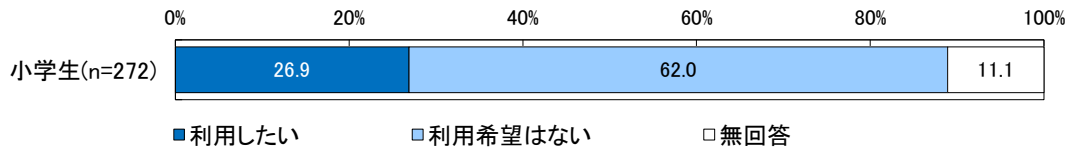
平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間について、「18時以前」と回答した割合が50.6%、「～18時30分」と回答した割合が9.1%、「～19時00分」と回答した割合が8.2%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了時間（小学生・学年別）】



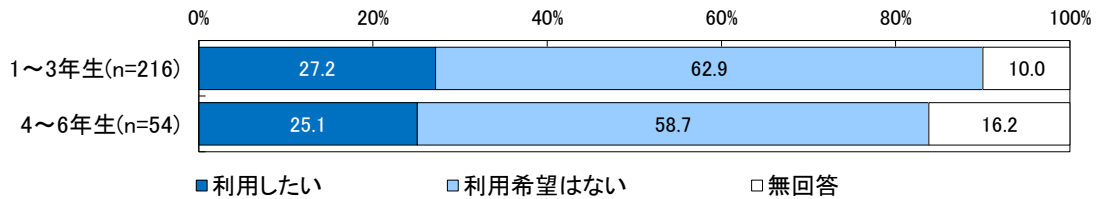
学年別にみると、「～19時00分」と回答した割合は1～3年生で8.8%、4～6年生で6.5%となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用希望】



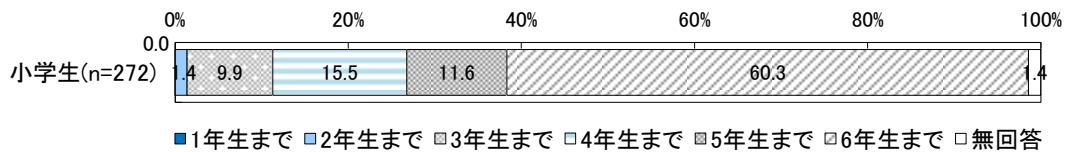
放課後児童クラブの土曜日の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 26.9%となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用希望（小学生・学年別）】



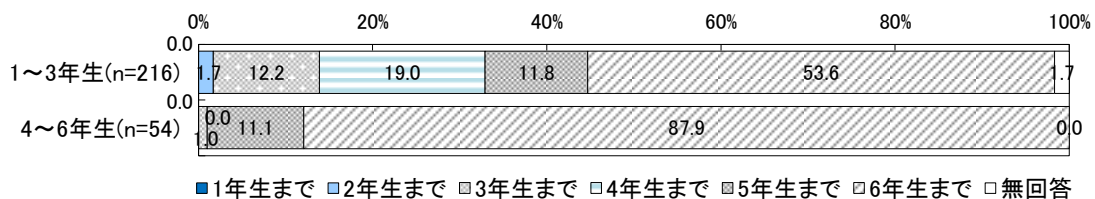
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生が 27.2%、4～6年生が 25.1%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年】



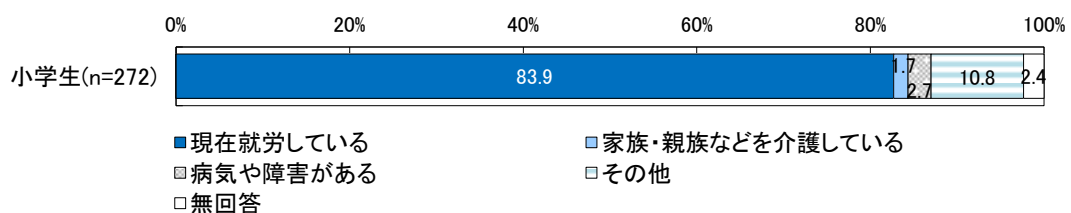
放課後児童クラブの利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が 60.3%と最も高くなっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年（小学生・学年別）】



学年別にみると、4～6年生で「6年生まで」と回答した割合が 87.9%となっている。

【放課後児童クラブの利用を希望する理由】



放課後児童クラブの利用を希望する理由について、「現在就労している」と回答した割合が 83.9%と最も高くなっている。

9 育児休業

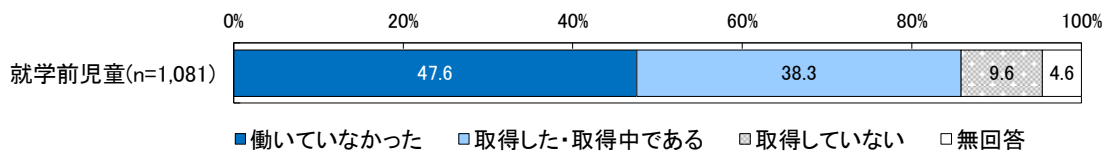
(1) 育児休業取得状況

問 22 就学前児童

あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんは育児休業を取得しましたか。

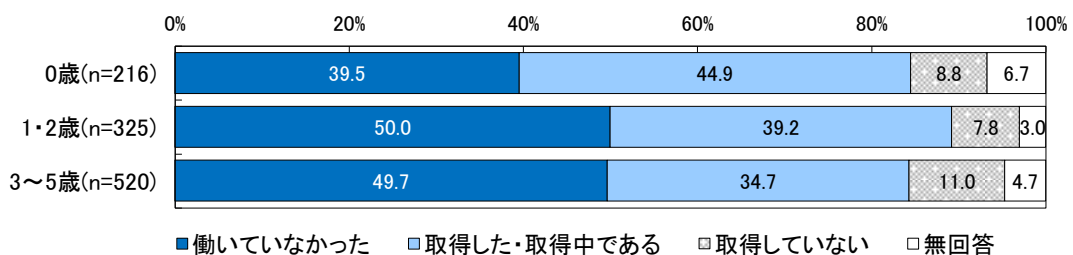
【○は1つ】

【育児休業取得状況（母親）】



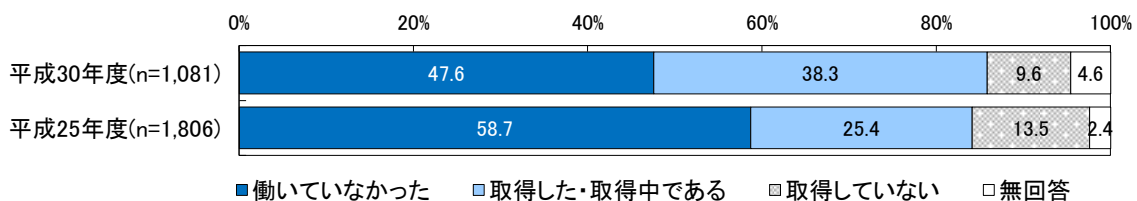
母親の育児休業取得状況について、「取得した・取得中である」と回答した割合が 38.3%となっている。

【育児休業取得状況（母親）（就学前児童・年齢別）】



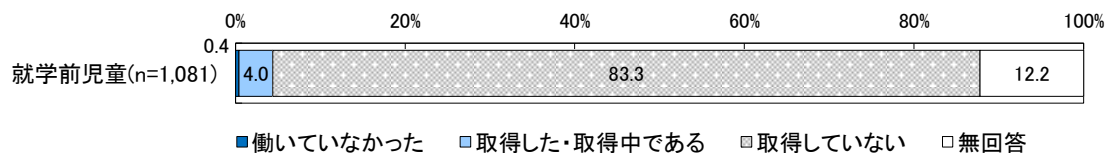
年齢別にみると、「取得した・取得中である」と回答した割合は0歳で高くなっている。

【育児休業取得状況（母親）（就学前児童・前回調査結果との比較）】



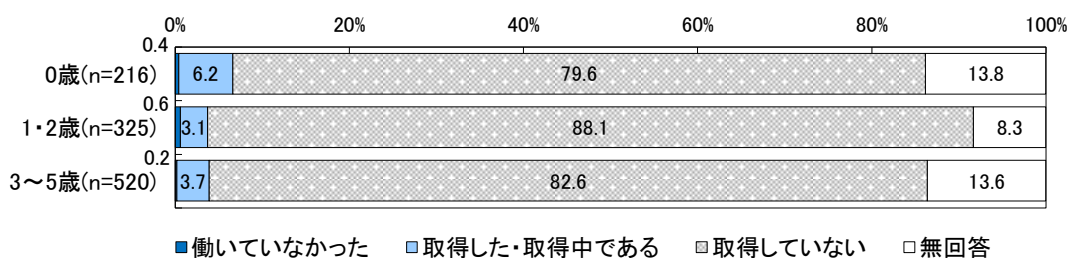
前回調査結果と比較すると、「取得した・取得中である」と回答した割合が上昇している。

【育児休業取得状況（父親）】



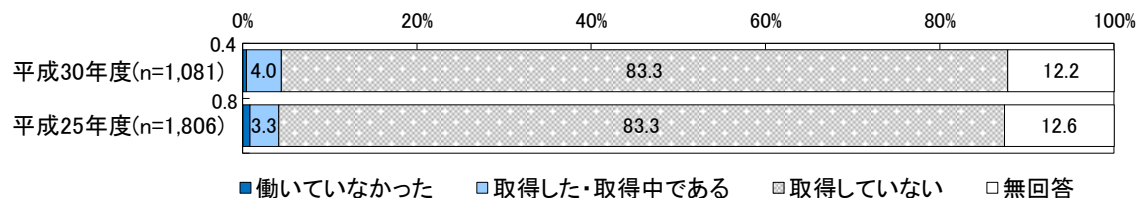
父親の育児休業取得状況について、「取得した・取得中である」と回答した割合が4.0%となっている。

【育児休業取得状況（父親）（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、大きな差はみられない。

【育児休業取得状況（父親）（就学前児童・前回調査結果との比較）】



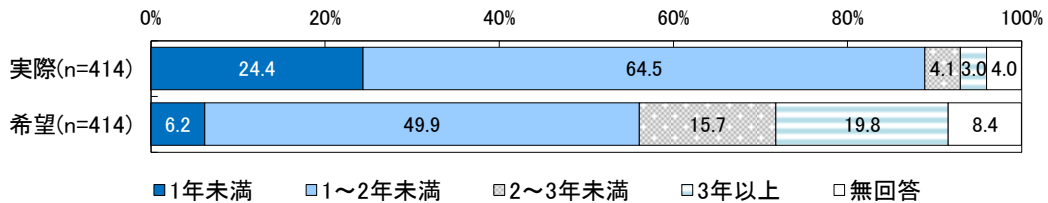
前回調査結果と比較すると、「取得した・取得中である」と回答した割合は大きな変化はみられない。

問 22 で「2 取得した・取得中である」と回答した人のみ回答

問 22-1 就学前児童

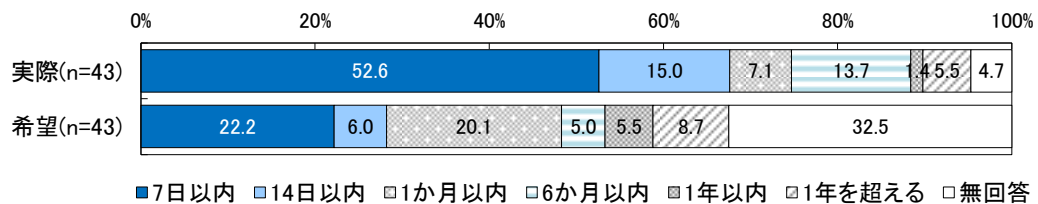
育児休業の実際の期間と希望の期間を記入してください。【数字を記入】

【育児休業の取得期間（母親）】



母親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「1～2年未満」と回答した割合が64.5%と最も高くなっているが、「1年未満」と回答した割合も24.4%となっている。希望の取得期間では、『2年以上』と回答した割合が35.5%となっている。

【育児休業の取得期間（父親）】



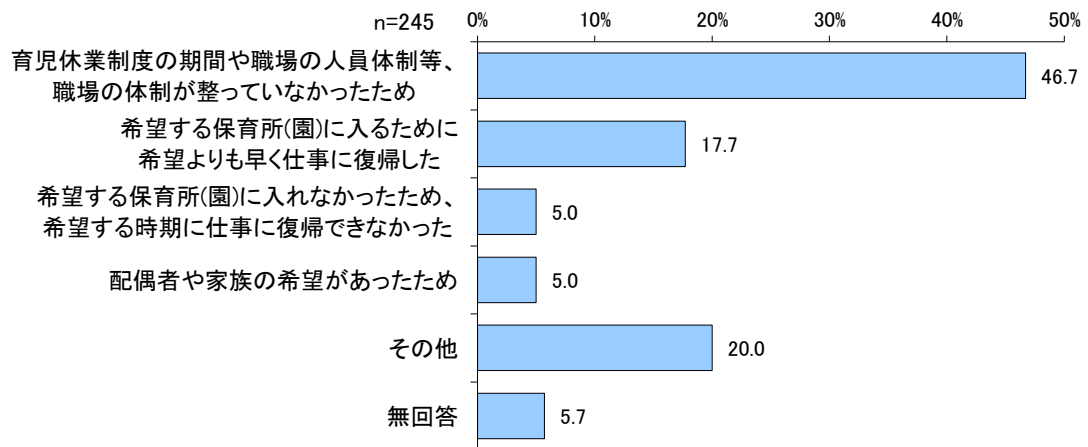
父親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「7日以内」と回答した割合が52.6%と最も高くなっている。希望の取得期間では、「1か月以内」、「1年以内」等、実際の取得期間よりも長い期間の割合が高くなっている。

問 22-1 で育児休業の実際の期間と希望の期間が異なる人のみ回答

問 22-2 就学前児童

希望の期間を取得できなかったのはどのような理由ですか。【○は1つ】

【希望の期間取得できなかった理由】



希望の期間取得できなかった理由について、「育児休業制度の期間や職場の人員体制等、職場の体制が整っていなかったため」と回答した割合が46.7%と最も高く、次いで「希望する保育所(園)に入るために希望よりも早く仕事に復帰した」(17.7%)となっている。

10 仕事と子育ての両立

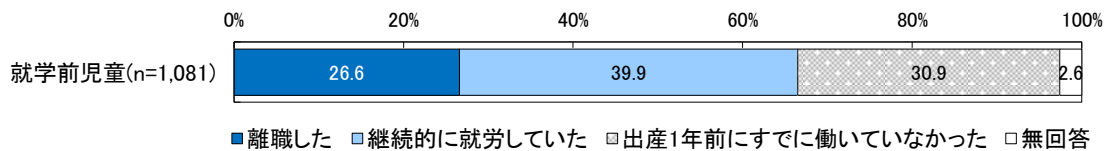
(1) 出産前後の離職状況

問 23 就学前児童

お母さんは、あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職しましたか。

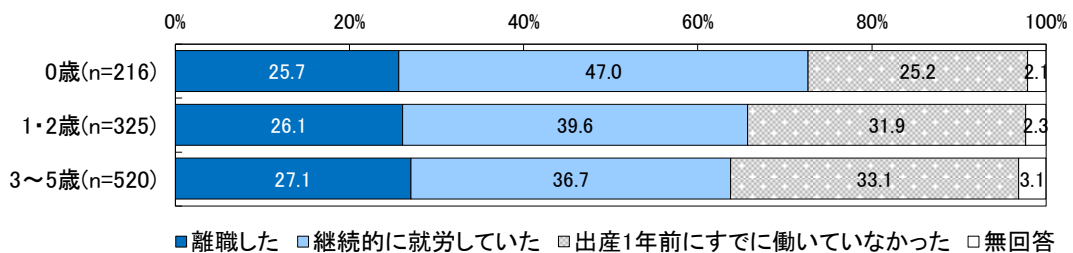
【○は1つ】

【母親の出産前後の離職状況】



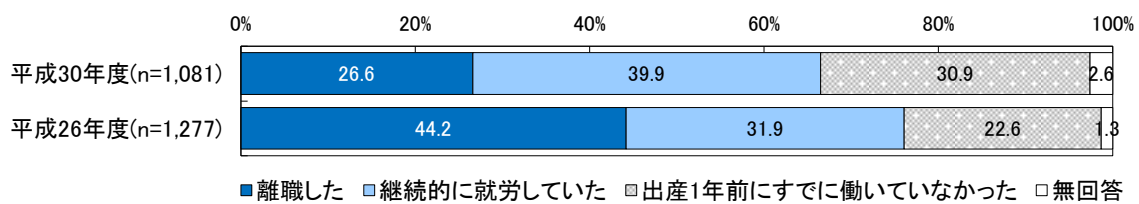
母親の出産前後の離職状況について、「離職した」と回答した割合が26.6%となっている。

【母親の出産前後の離職状況（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「継続的に就労していた」と回答した割合は0歳で高くなっている。

【母親の出産前後の離職状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「離職した」と回答した割合は低下している。

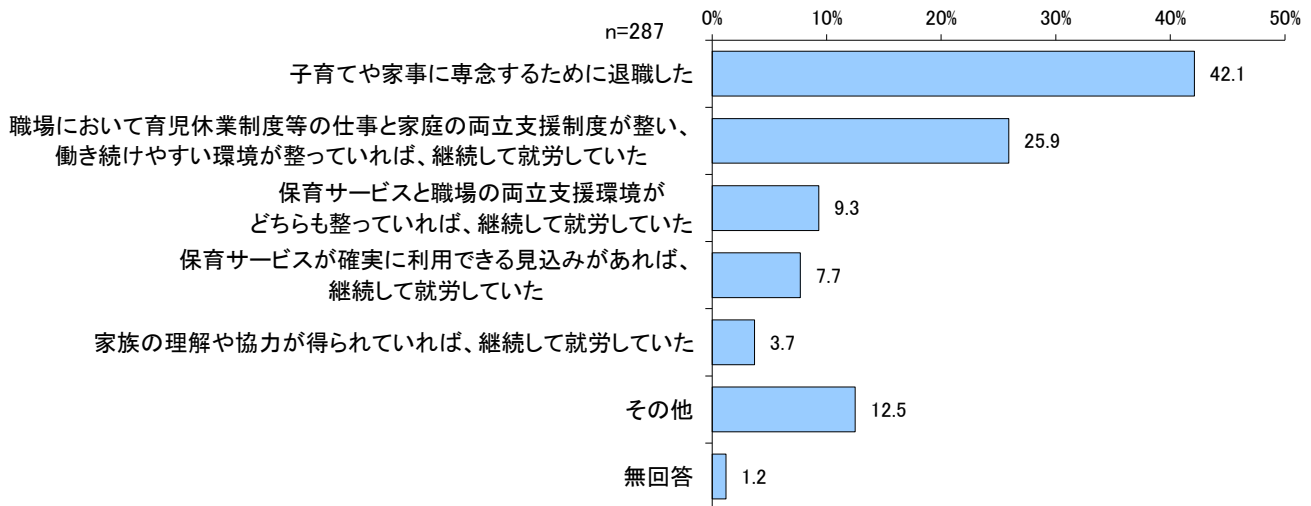
問 23 で「1」と回答した人のみ回答

問 23-1 就学前児童

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

【○は1つ】

【仕事と家庭の両立を支援する保育サービスが整備されていた場合の就労の継続状況】



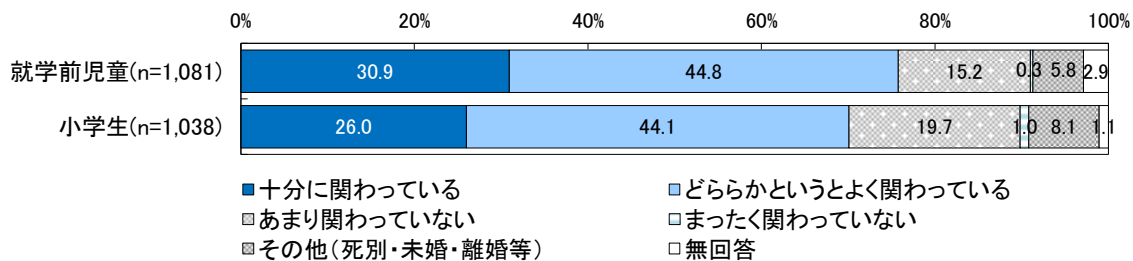
仕事と家庭の両立を支援する保育サービスが整備されていた場合の就労の継続状況について、「子育てや家事に専念するために退職した」と回答した割合が 42.1%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」(25.9%) となっている。

(2) 両親の育児への関わり方

問 24 就学前児童・問 19 小学生

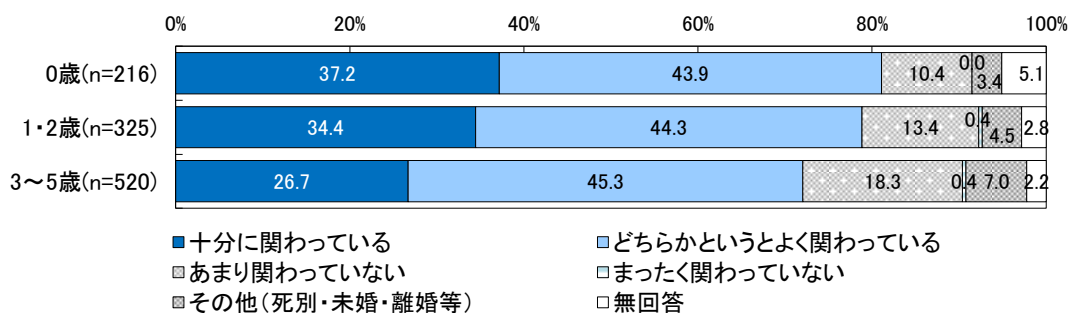
現在、お子さんのご両親の育児への関わり方は十分だと思いますか。【○は1つ】

【父親の育児への関わりの程度】



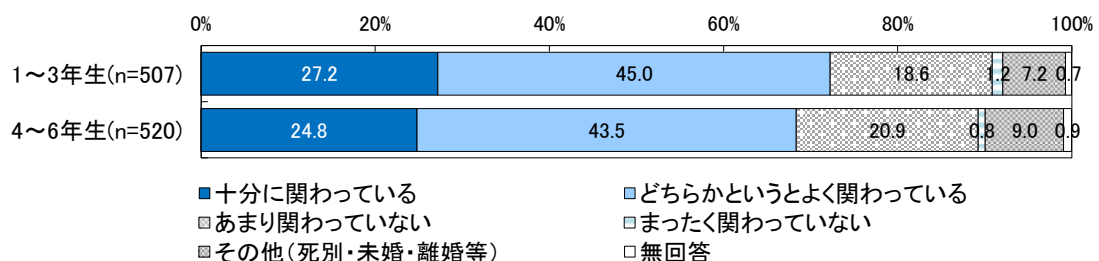
父親の育児への関わりの程度について、『関わっている』（「十分に関わっている」＋「どちらかというによく関わっている」）と回答した割合が就学前児童で75.7%、小学生で70.1%となっている。

【父親の育児への関わりの程度（就学前児童・年齢別）】



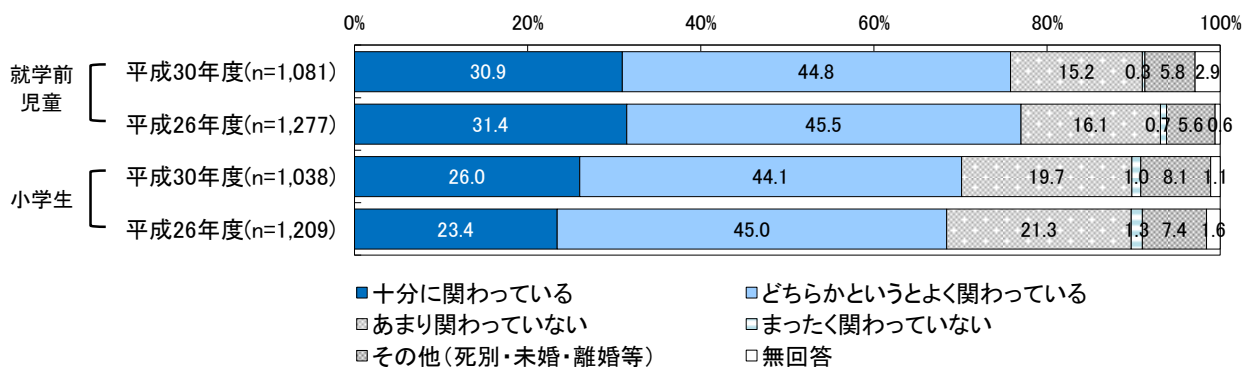
年齢別にみると、『関わっている』と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

【父親の育児への関わりの程度（小学生・学年別）】



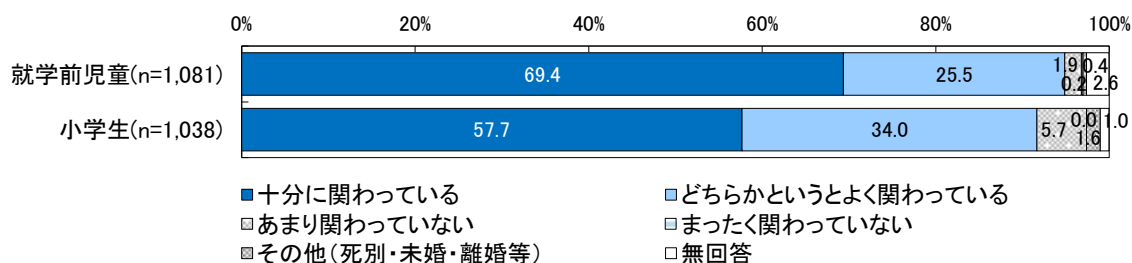
学年別にみると、大きな差はみられない。

【父親の育児への関わりの程度（前回調査結果との比較）】



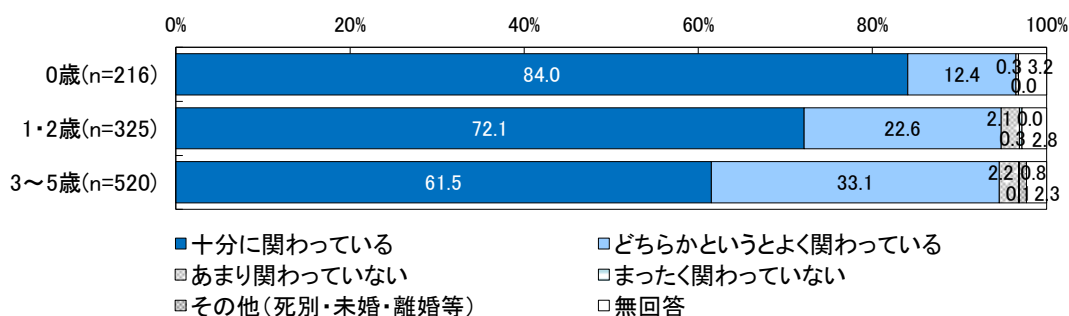
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

【母親の育児への関わりの程度】



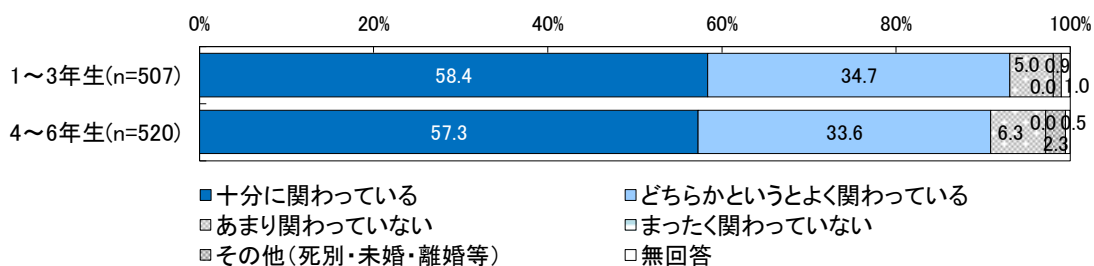
母親の育児への関わりの程度について、『関わっている』と回答した割合が就学前児童で94.9%、小学生で91.7%となっている。

【母親の育児への関わりの程度（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「十分に関わっている」と回答した割合は年齢が高いほど低くなっている。

【母親の育児への関わりの程度（小学生・学年別）】



学年別にみると大きな差はみられない。

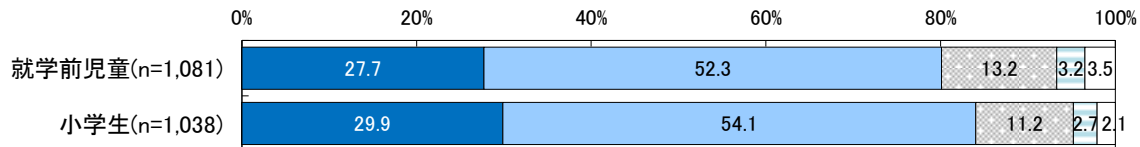
(3) 仕事と生活の両立の状況

問 25 就学前児童・問 20 小学生

あて名のお子さんのご家庭では仕事と生活の両立がはかられていると感じますか。

【○は1つ】

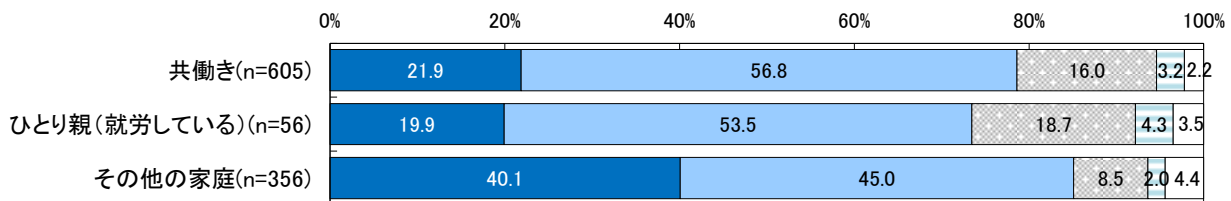
【家庭での仕事と生活の両立の状況】



- 両立がはかられていると感じる
- ▣ どちらかという両立がはかられていると感じる
- ▤ どちらかという両立がはかられていないと感じる
- 両立がはかられていないと感じる
- 無回答

家庭での仕事と生活の両立の状況について、『両立がはかられていると感じる』（「両立がはかられていると感じる」＋「どちらかという両立がはかられていると感じる」）と回答した割合が就学前児童で80.0%、小学生で84.0%となっている。

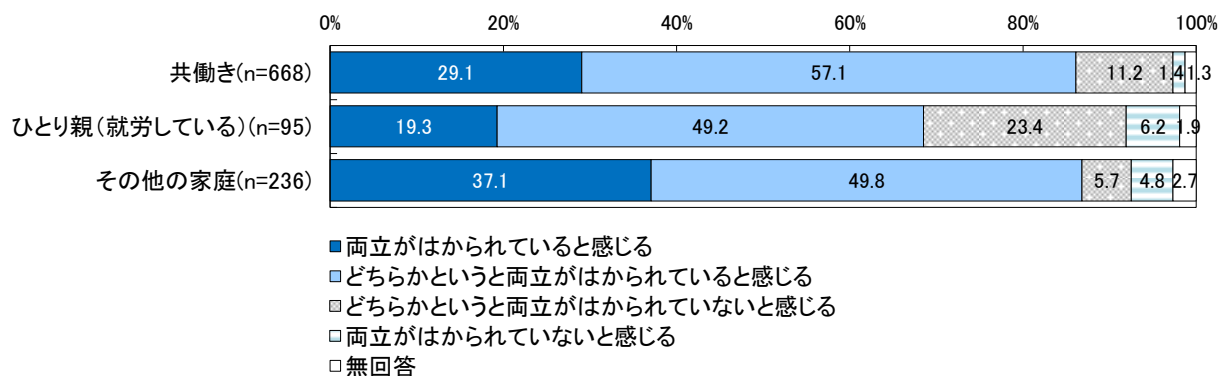
【家庭での仕事と生活の両立の状況（就学前児童・両親の共働きの状況別）】



- 両立がはかられていると感じる
- ▣ どちらかという両立がはかられていると感じる
- ▤ どちらかという両立がはかられていないと感じる
- 両立がはかられていないと感じる
- 無回答

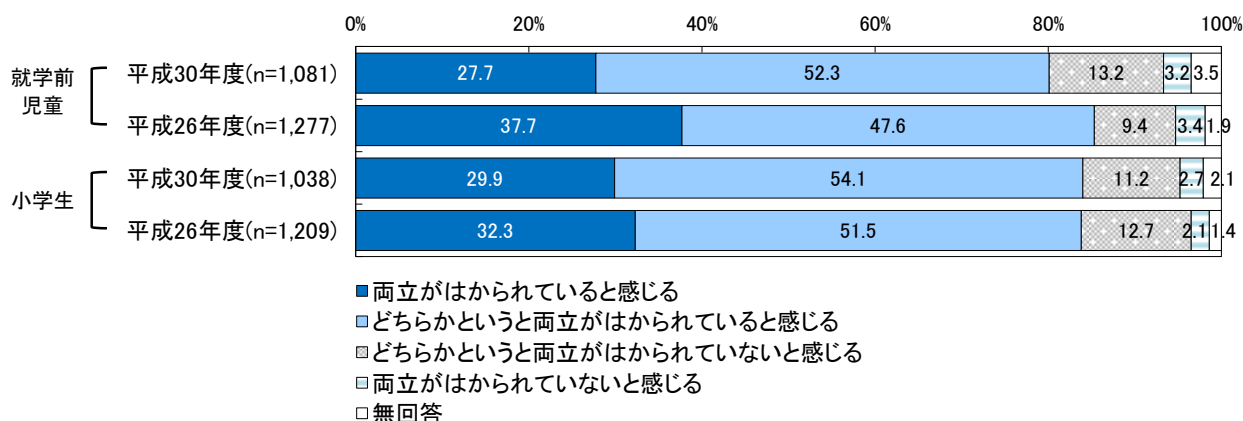
両親の共働きの状況別にみると、就学前児童では『両立がはかられていると感じる』と回答した割合はその他の家庭で高くなっている。

【家庭での仕事と生活の両立の状況（小学生・両親の共働きの状況別）】



両親の共働きの状況別にみると、小学生では『両立がはかられていると感じる』と回答した割合は共働き、その他の家庭で高くなっている。

【家庭での仕事と生活の両立の状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、就学前児童では『両立がはかられていると感じる』と回答した割合は低下している。

11 子育て支援センター

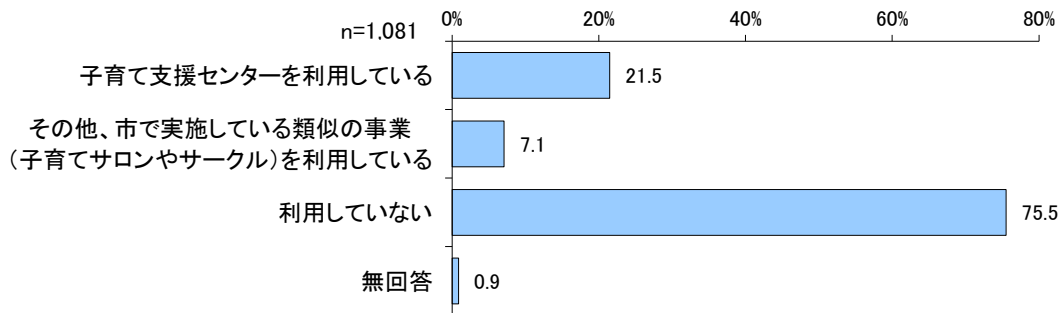
(1) 子育て支援センター等の利用状況

問 26 就学前児童

あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。

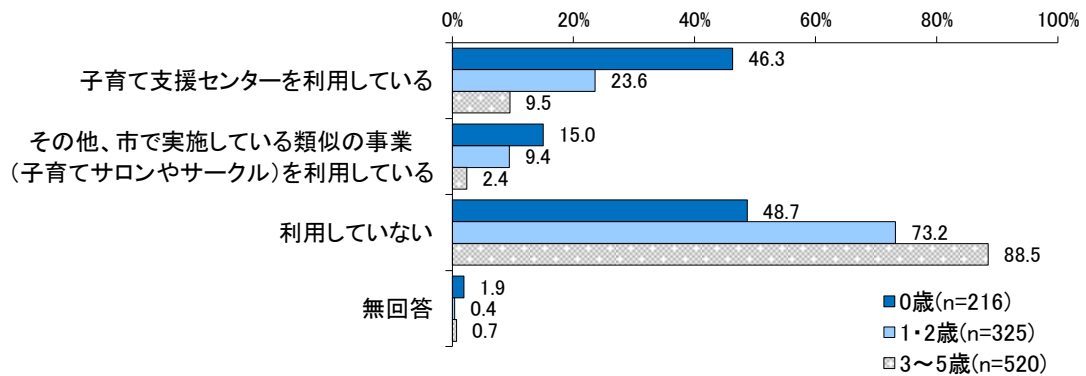
【〇は当てはまるものすべて】

【子育て支援センターの利用状況】



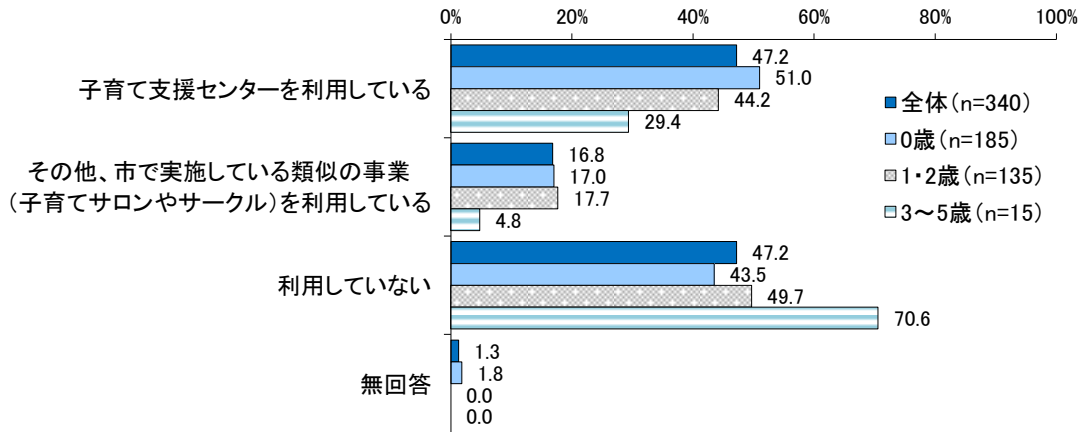
子育て支援センターの利用状況について、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合が 21.5%、「その他、市で実施している類似の事業（子育てサロンやサークル）を利用している」と回答した割合が 7.1%となっている。

【子育て支援センターの利用状況（就学前児童・年齢別）】



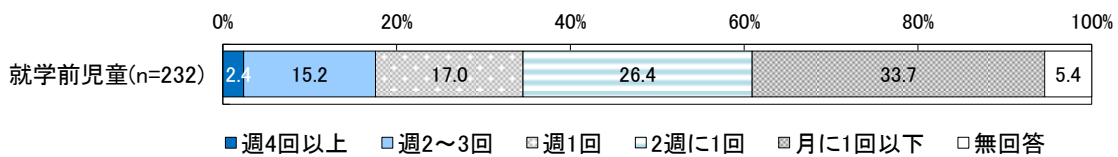
年齢別にみると、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合は0歳で 46.3%、1・2歳で 23.6%となっている。

【子育て支援センターの利用状況(就学前児童(定期的な教育・保育事業を利用していない子ども)・年齢別)】



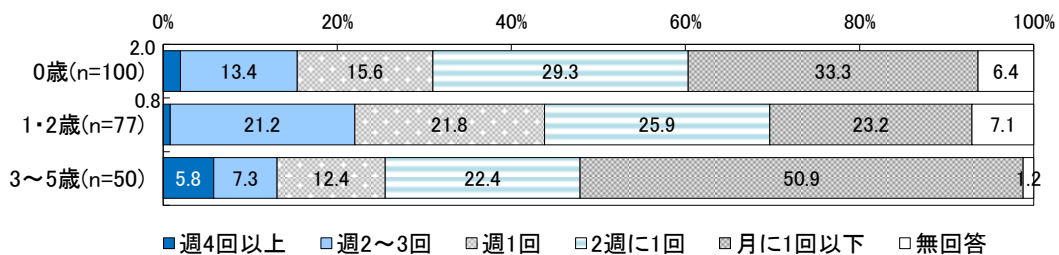
定期的な教育・保育事業を利用していない子どものみを年齢別にみると、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合は全体で47.2%、0歳で51.0%、1・2歳で44.2%となっている。

【子育て支援センターの利用回数】



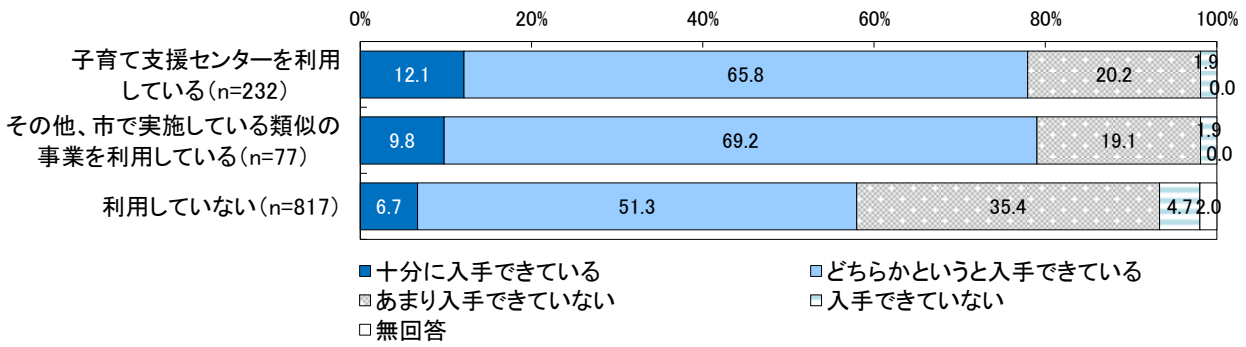
子育て支援センターの利用回数について、『週1回以上』と回答した割合が34.6%となっている。

【子育て支援センターの利用回数(就学前児童・年齢別)】



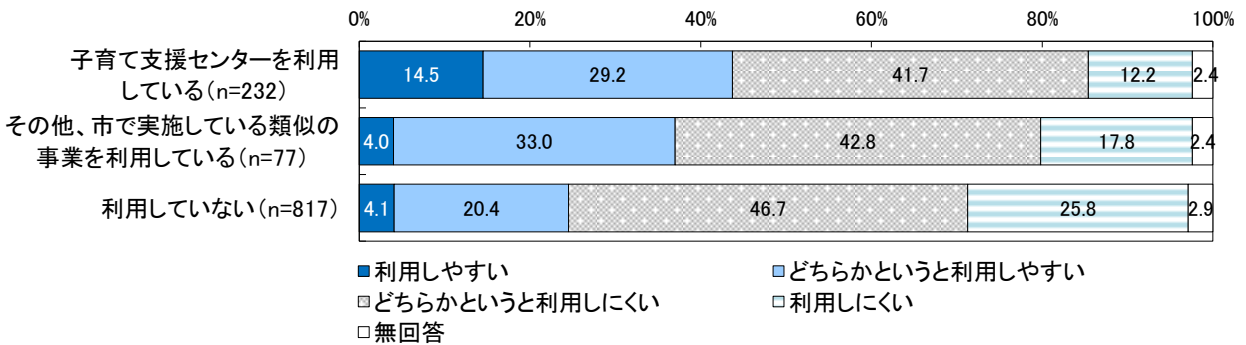
年齢別にみると、『週1回以上』と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・子育て支援センターの利用状況別）】



子育てに関する情報の入手状況について、子育て支援センターの利用状況別にみると、利用している層では子育てに関する情報を『入手できている』と回答した割合が高くなっている。

【公的な相談窓口の利便性（就学前児童・子育て支援センターの利用状況別）】



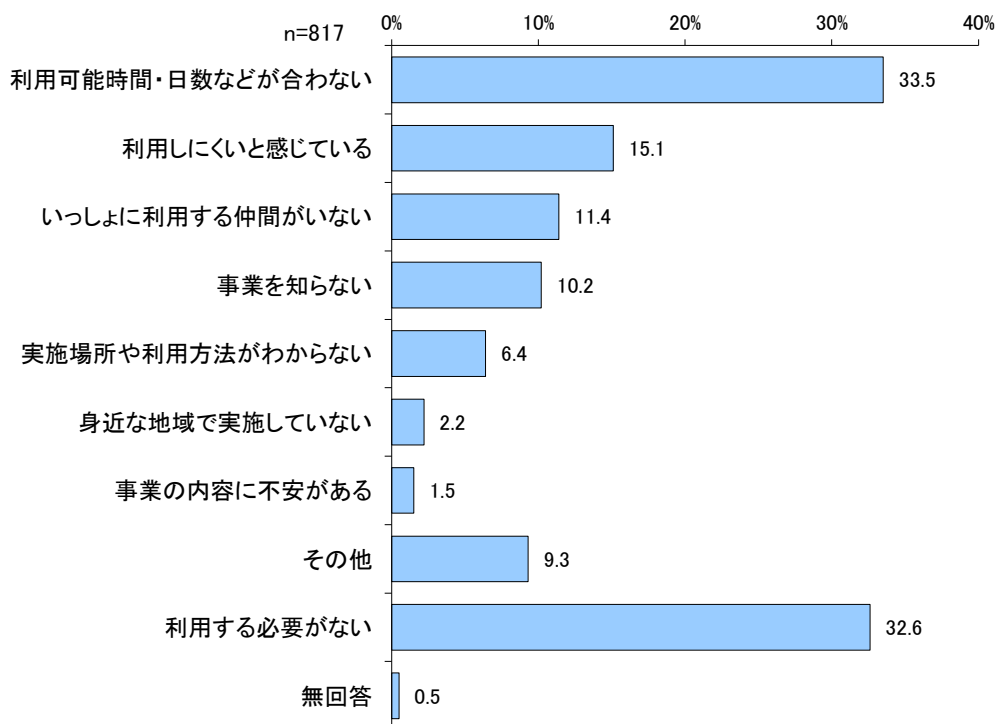
公的な相談機関の利便性について、子育て支援センターの利用状況別にみると、利用している層では公的な相談窓口を『利用しやすい』と回答した割合が高くなっている。

問 26 で「3 利用していない」と回答した人のみ回答

問 26-1 就学前児童

現在利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

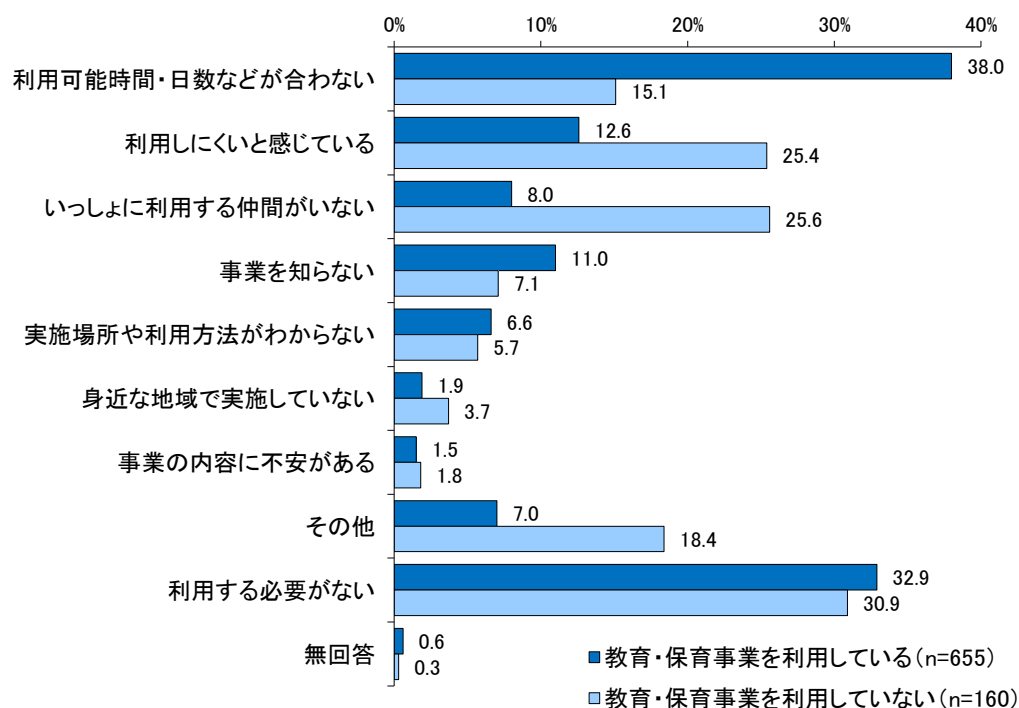
【子育て支援センターを利用していない理由】



子育て支援センターを利用していない理由について、「利用可能時間・日数などが合わない」と回答した割合が 33.5%と最も高く、次いで「利用しにくいと感じている」(15.1%)となっている。

また、「利用する必要がある」と回答した割合が 32.6%となっている。

【子育て支援センターを利用していない理由（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



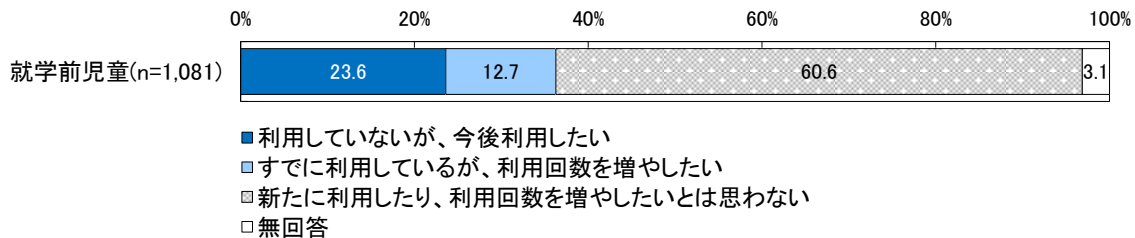
教育・保育事業の利用状況別にみると、教育・保育事業を利用している層では「利用可能時間・日数などが合わない」と回答した割合が、教育・保育事業を利用していない層では「いっしょに利用する仲間がない」、「利用しにくいと感じている」と回答した割合が高くなっている。

(2) 今後の子育て支援センターの利用希望

問 27 就学前児童

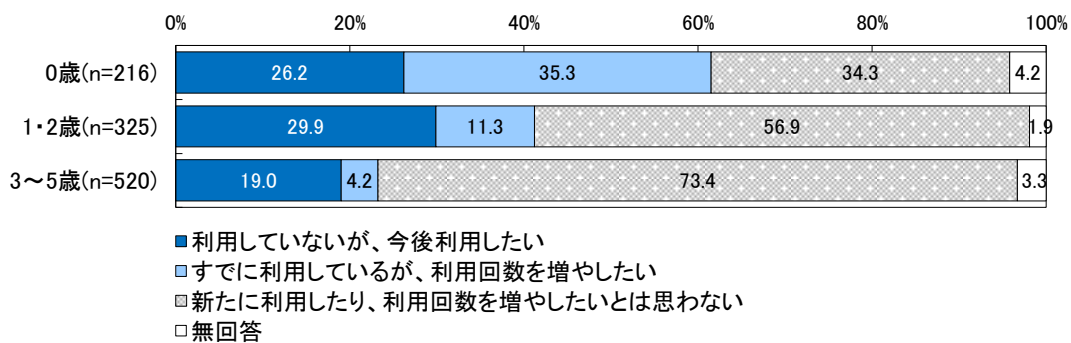
問 26 のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いませんか。【〇は1つ】

【子育て支援センターの利用希望】



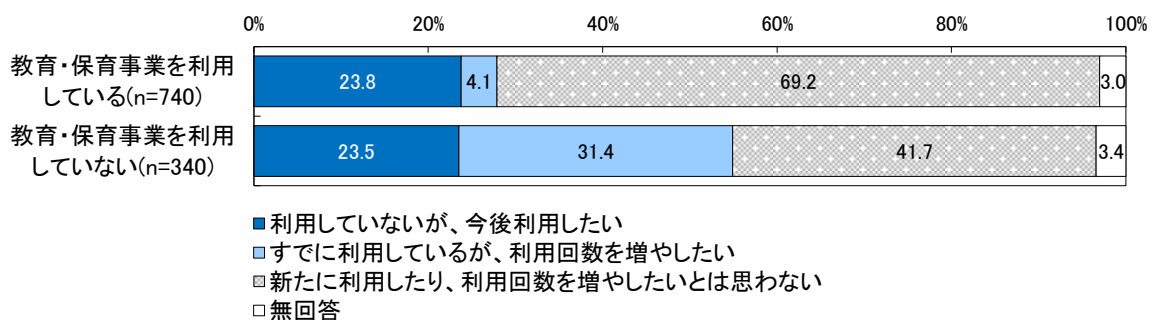
子育て支援センターの利用希望について、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が 23.6%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が 12.7% となっている。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は0歳、1・2歳で、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合は0歳で高くなっている。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



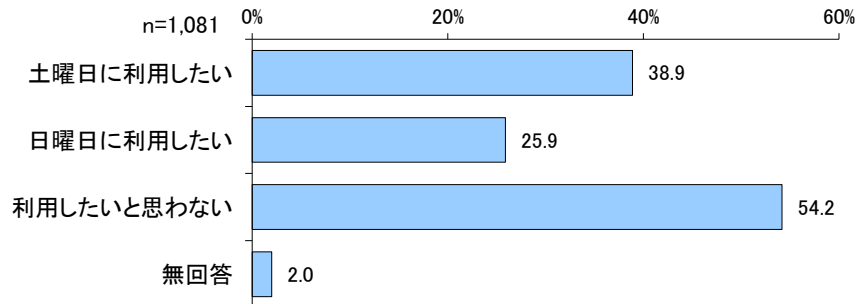
教育・保育事業の利用状況別にみると、教育・保育事業を利用していない層で「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が 31.4% となっている。

問 28 就学前児童

地域子育て支援拠点事業を、土・日曜日に利用したいと思いますか。

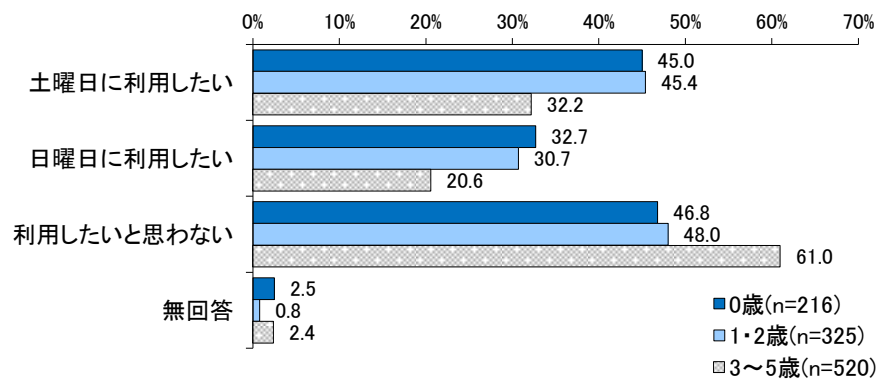
【〇は当てはまるものすべて】

【子育て支援センターの土・日曜日の利用希望】



子育て支援センターの土・日曜日の利用希望について、「土曜日に利用したい」と回答した割合が 38.9%、「日曜日に利用したい」と回答した割合が 25.9%となっている。

【子育て支援センターの土・日曜日の利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「土曜日に利用したい」、「日曜日に利用したい」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

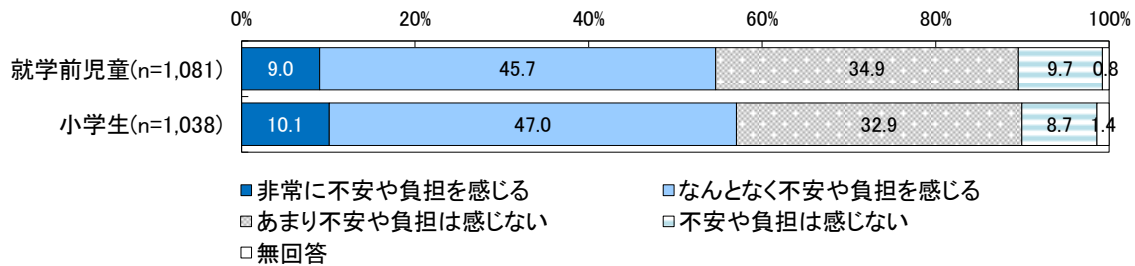
12 子育て全般

(1) 子育てに関する不安や負担の程度

問 29 就学前児童・問 21 小学生

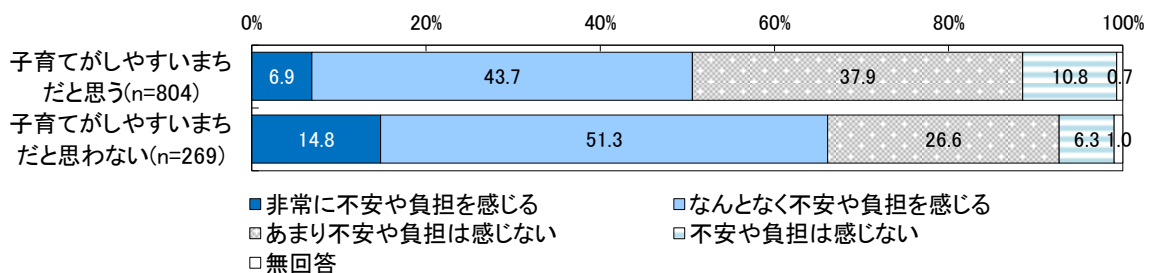
子育てに関して不安や負担を感じるがありますか。【〇は1つ】

【子育てに関する不安や負担の程度】

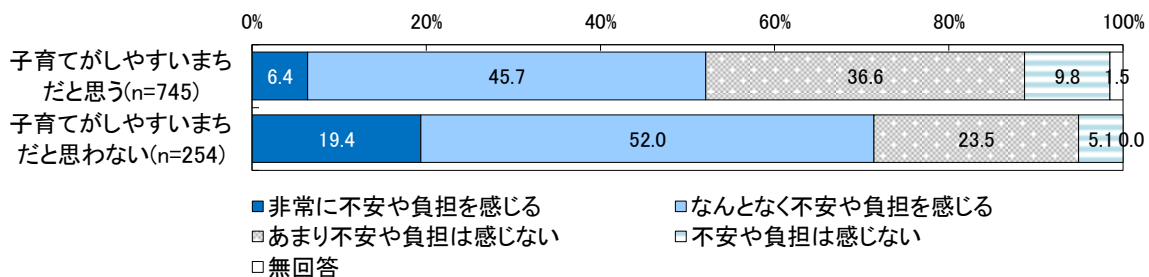


子育てに関する不安や負担の程度について、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」＋「なんとなく不安や負担を感じる」）と回答した割合が就学前児童で 54.7%、小学生で 57.1%、『不安や負担は感じない』（「不安や負担は感じない」＋「あまり不安や負担は感じない」）と回答した割合が就学前児童で 44.6%、小学生で 41.6%となっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

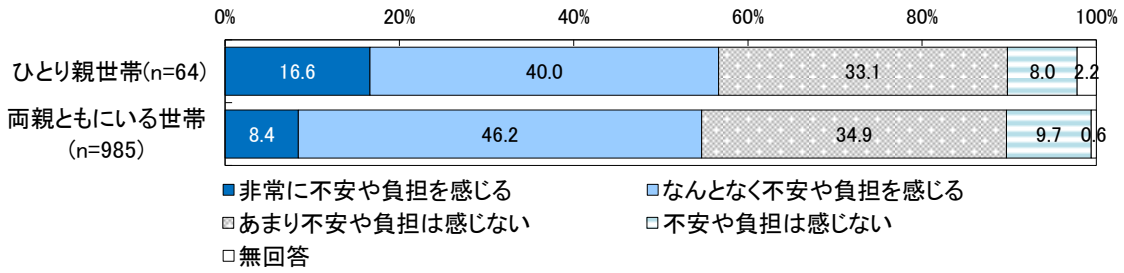


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

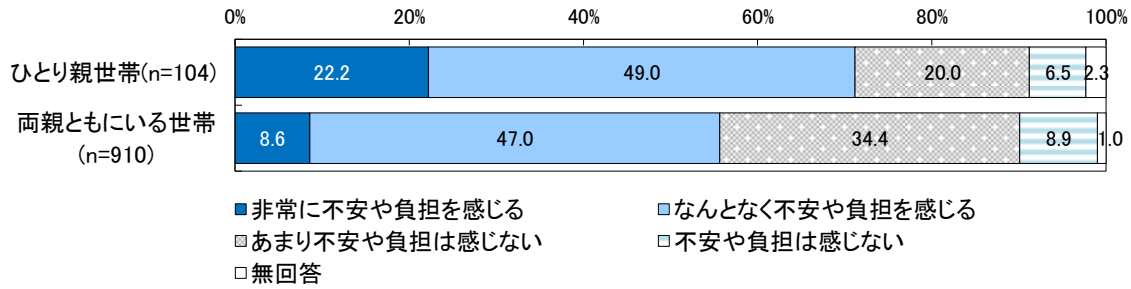


尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は、子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・世帯状況別）】

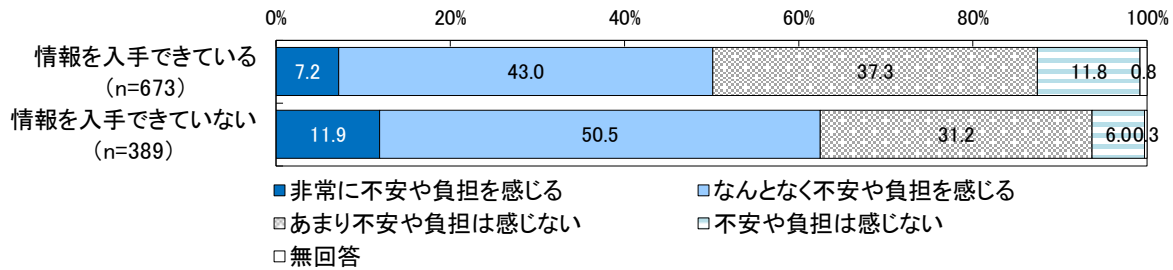


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・世帯状況別）】

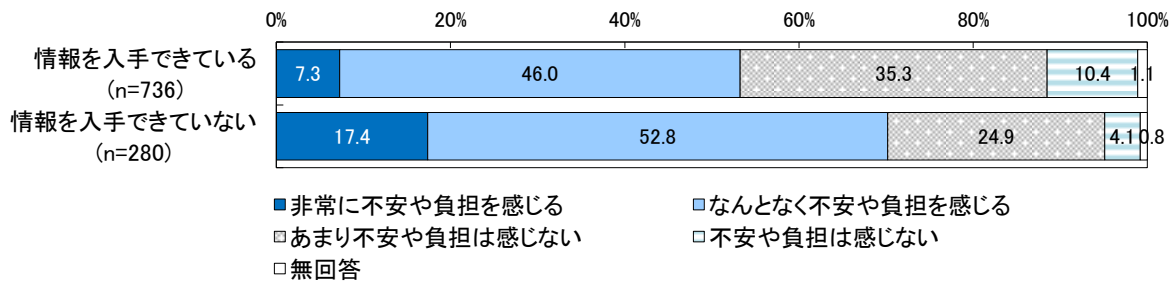


世帯状況別にみると、就学前児童、小学生ともに「非常に不安や負担を感じる」と回答した割合は、ひとり親世帯で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・子育てに関する情報の入手状況別）】

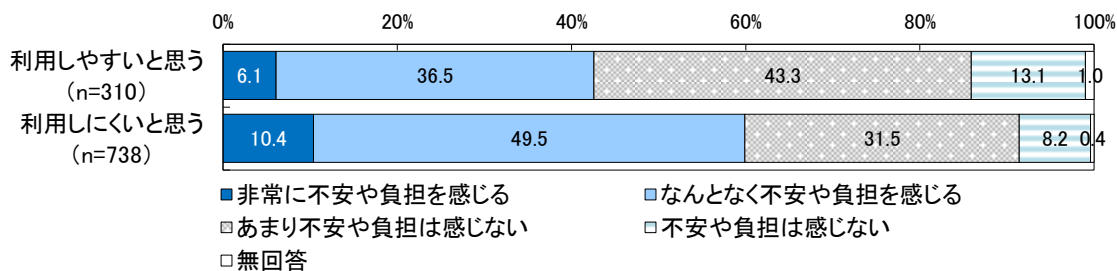


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・子育てに関する情報の入手状況別）】

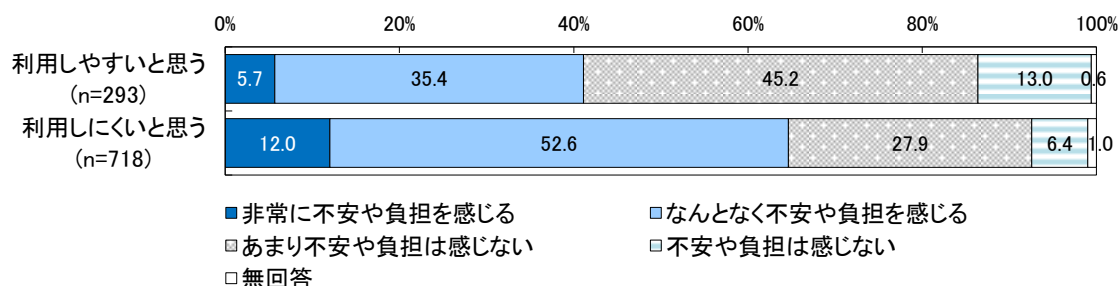


子育てに関する情報の入手状況別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は、情報を入手できていない層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・公的な相談窓口の評価別）】

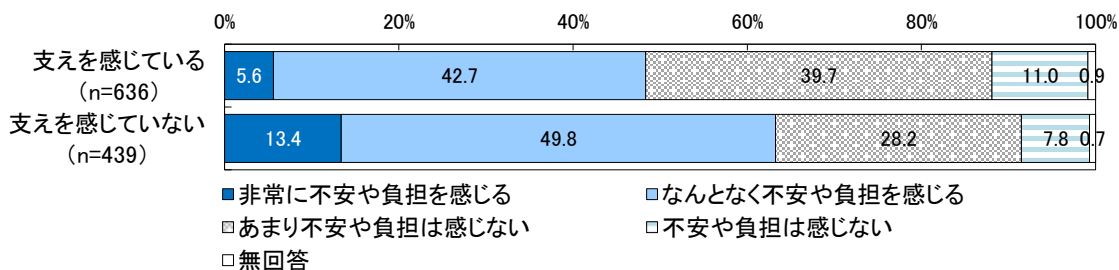


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・公的な相談窓口の評価別）】

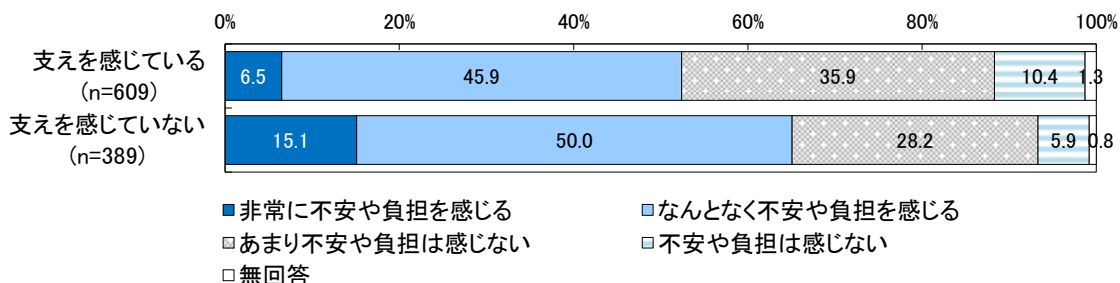


公的な相談窓口の評価別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は、利用しにくいと思う層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・地域の人々や社会全体の支えの感じ方別）】

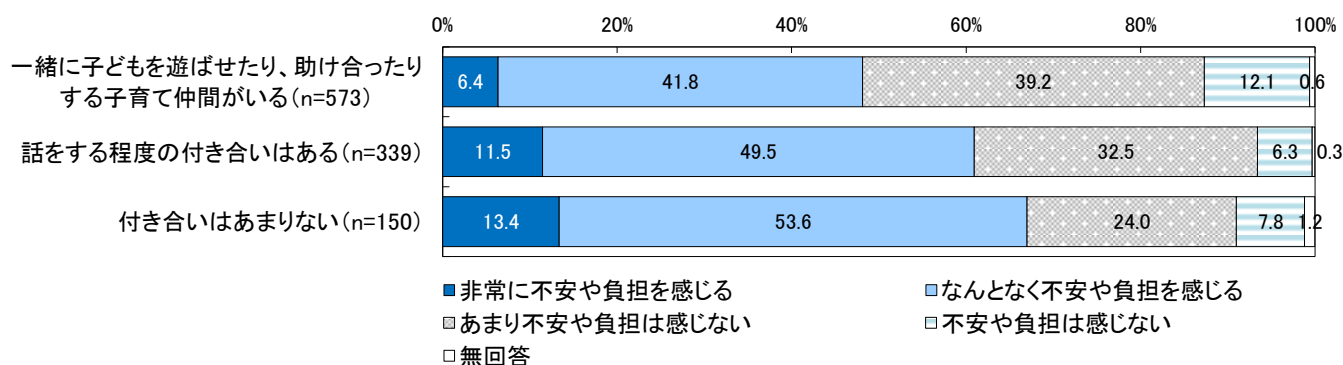


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・地域の人々や社会全体の支えの感じ方別）】

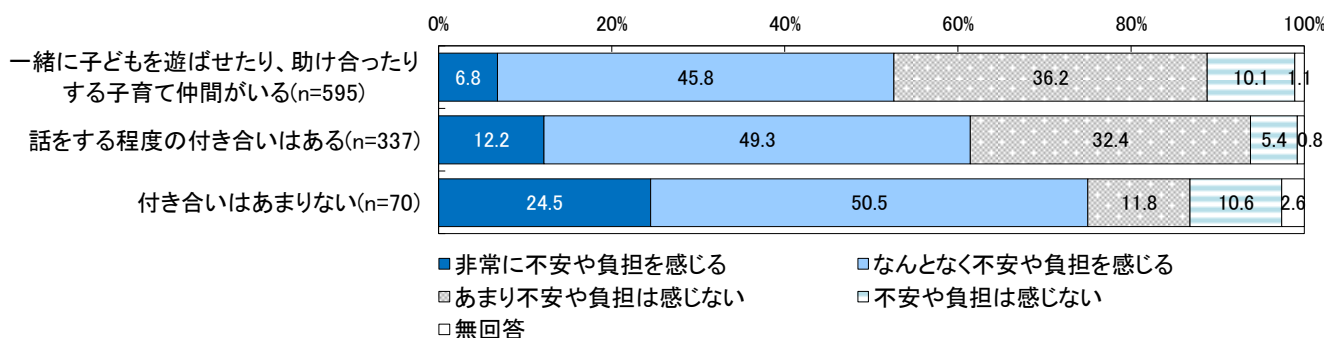


地域の人々や社会全体の支えの感じ方別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は、支えを感じていない層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・子育て仲間の有無別）】

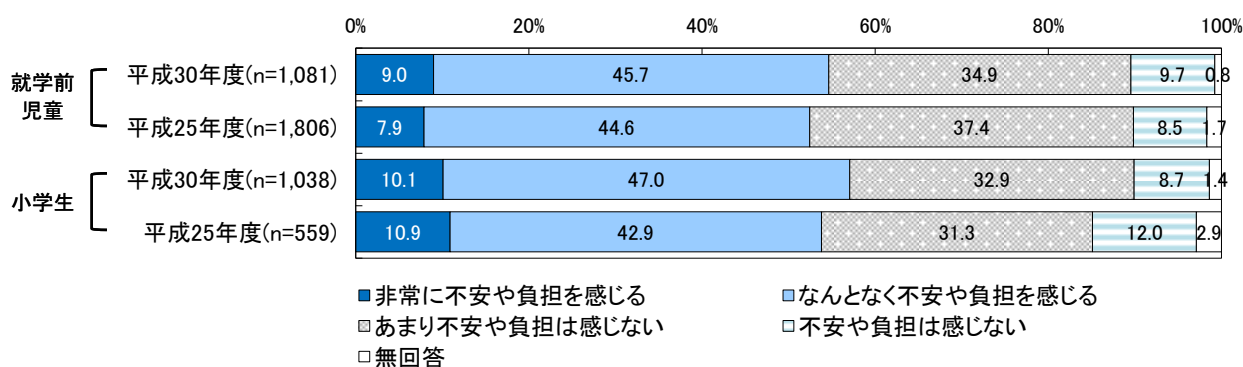


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・子育て仲間の有無別）】



子育て仲間の有無別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は、子育て仲間がいる層で低くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（前回調査結果との比較）】



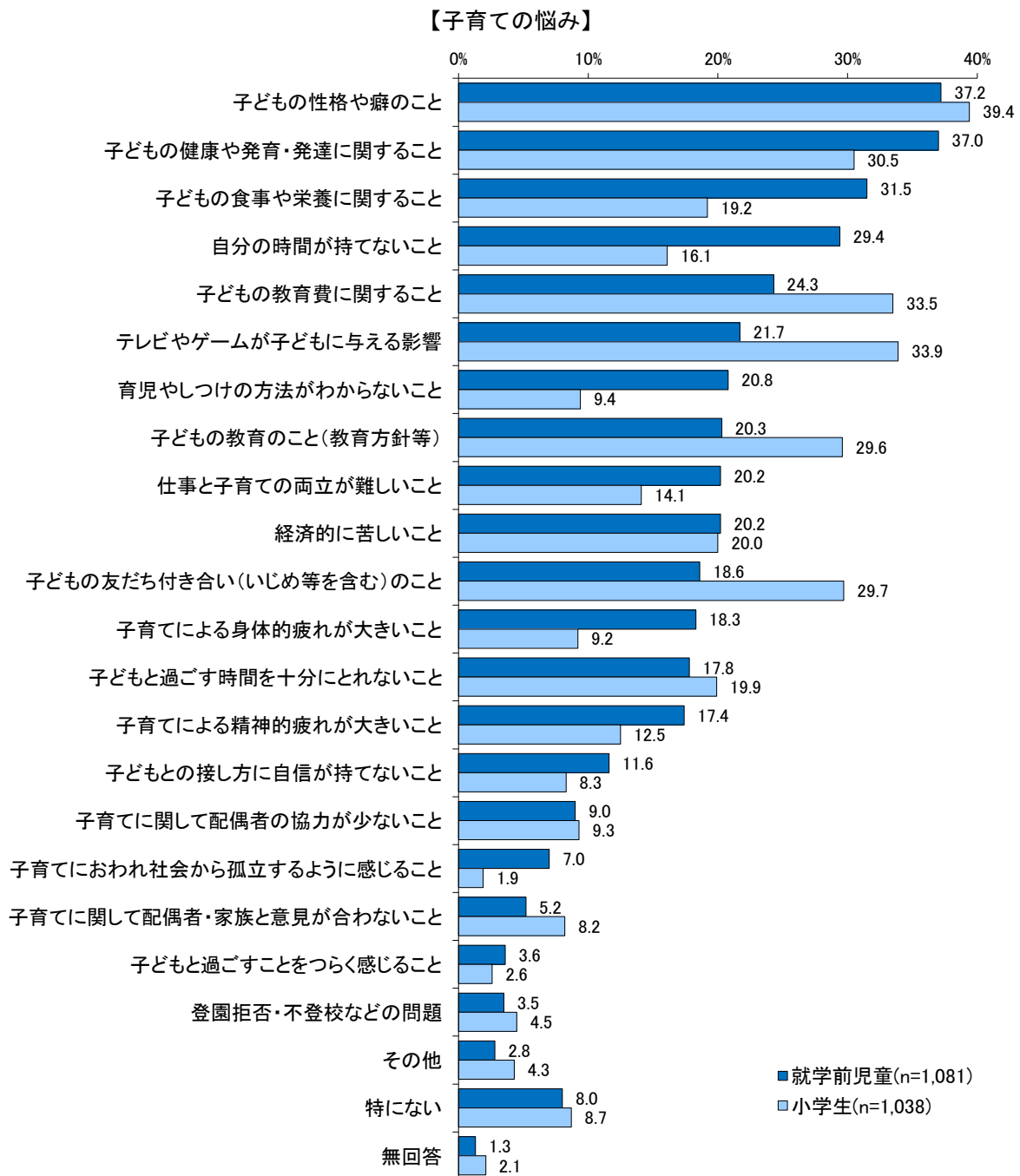
前回調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

(2) 子育ての悩み

問 30 就学前児童・問 22 小学生

子育てに関して、日ごろ悩んでいること、気になることはどのようなことですか。

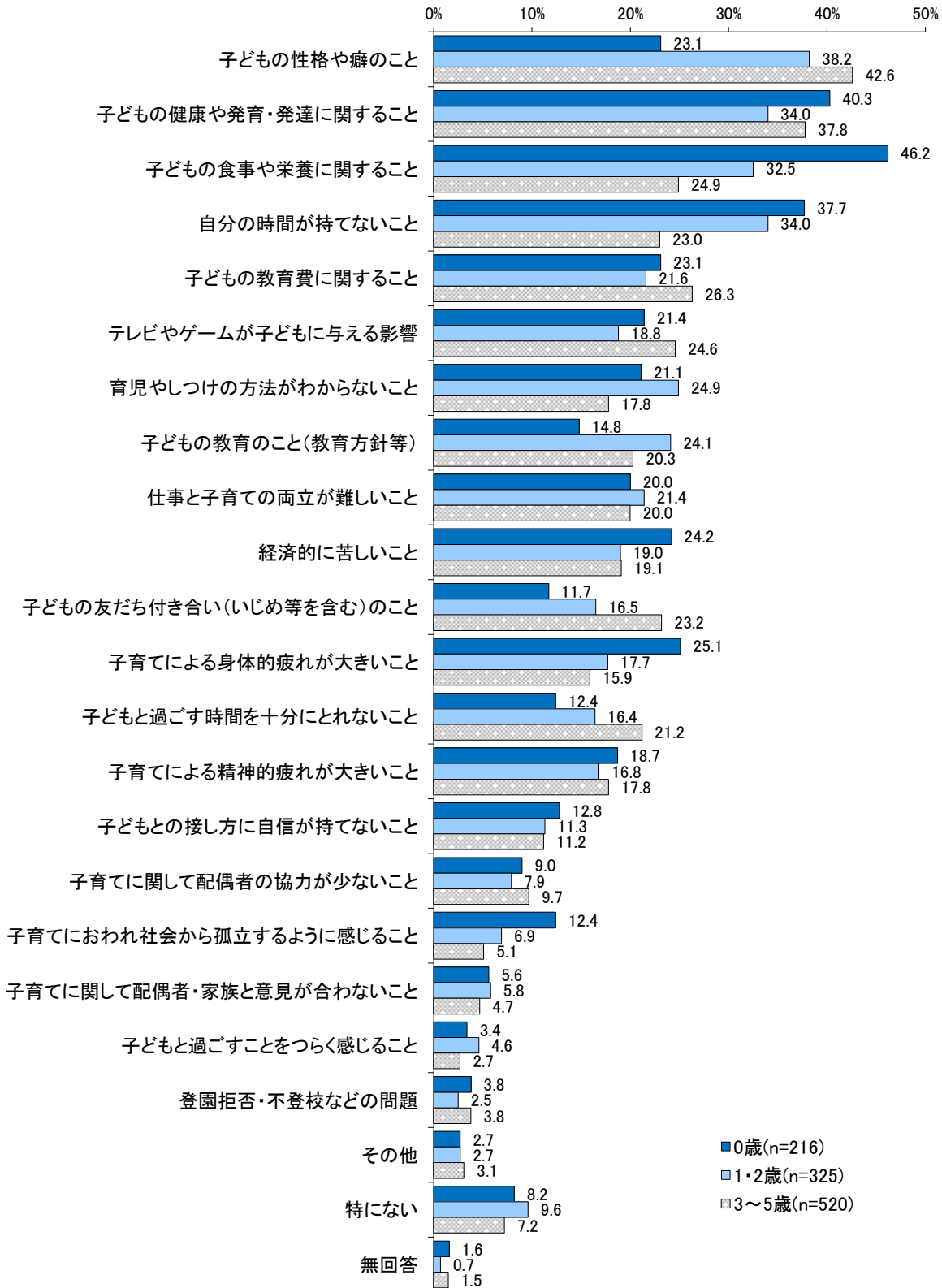
【〇は当てはまるものすべて】



子育ての悩みについて、就学前児童では「子どもの性格や癖のこと」と回答した割合が 37.2% と最も高く、「子どもの健康や発育・発達に関すること」(37.0%)、「子どもの食事や栄養に関すること」(31.5%)が続いている。

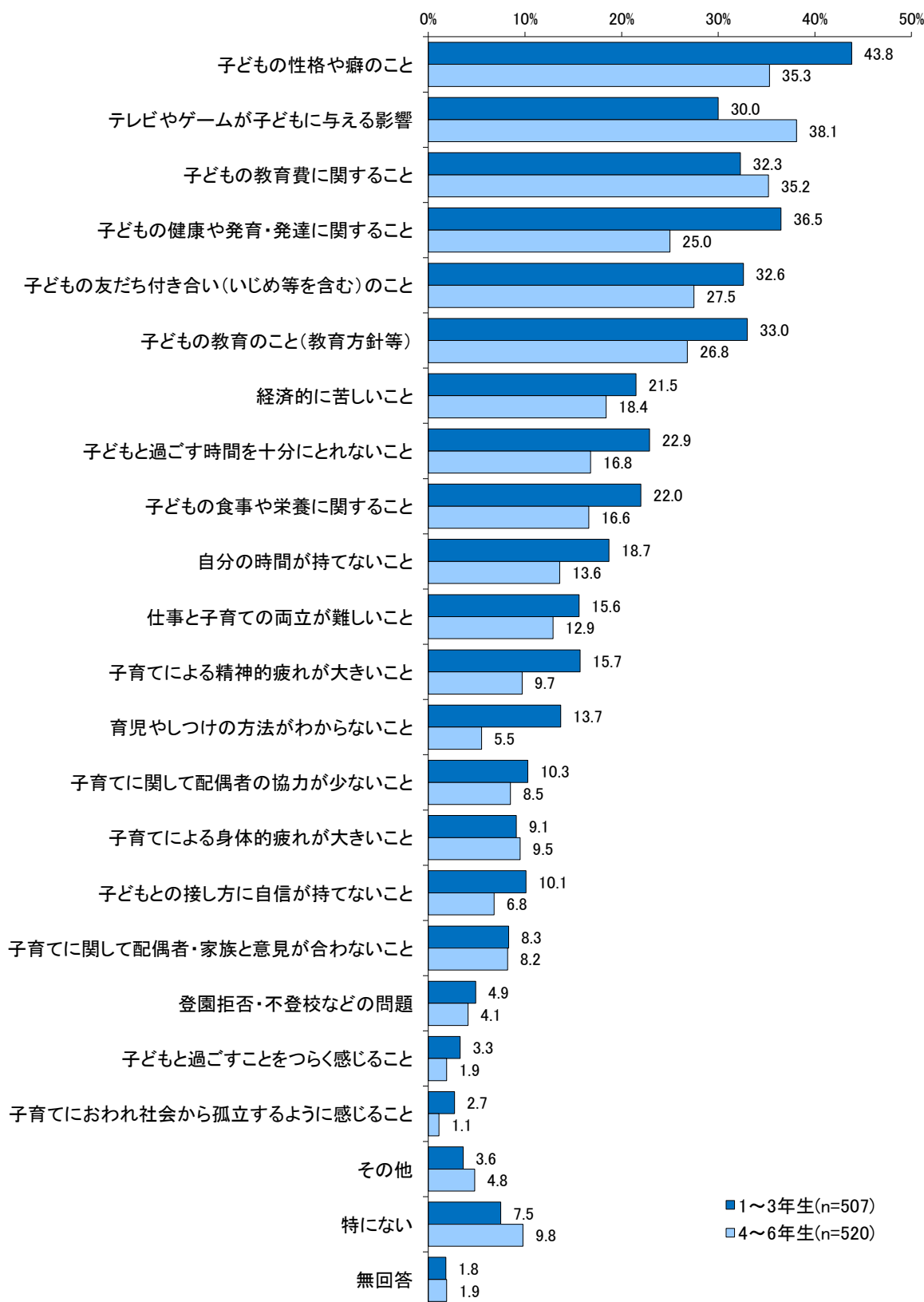
小学生では「子どもの性格や癖のこと」と回答した割合が 39.4% と最も高く、「テレビやゲームが子どもに与える影響」(33.9%)、「子どもの教育費に関すること」(33.5%)が続いている。

【子育ての悩み（就学前児童・年齢別）】



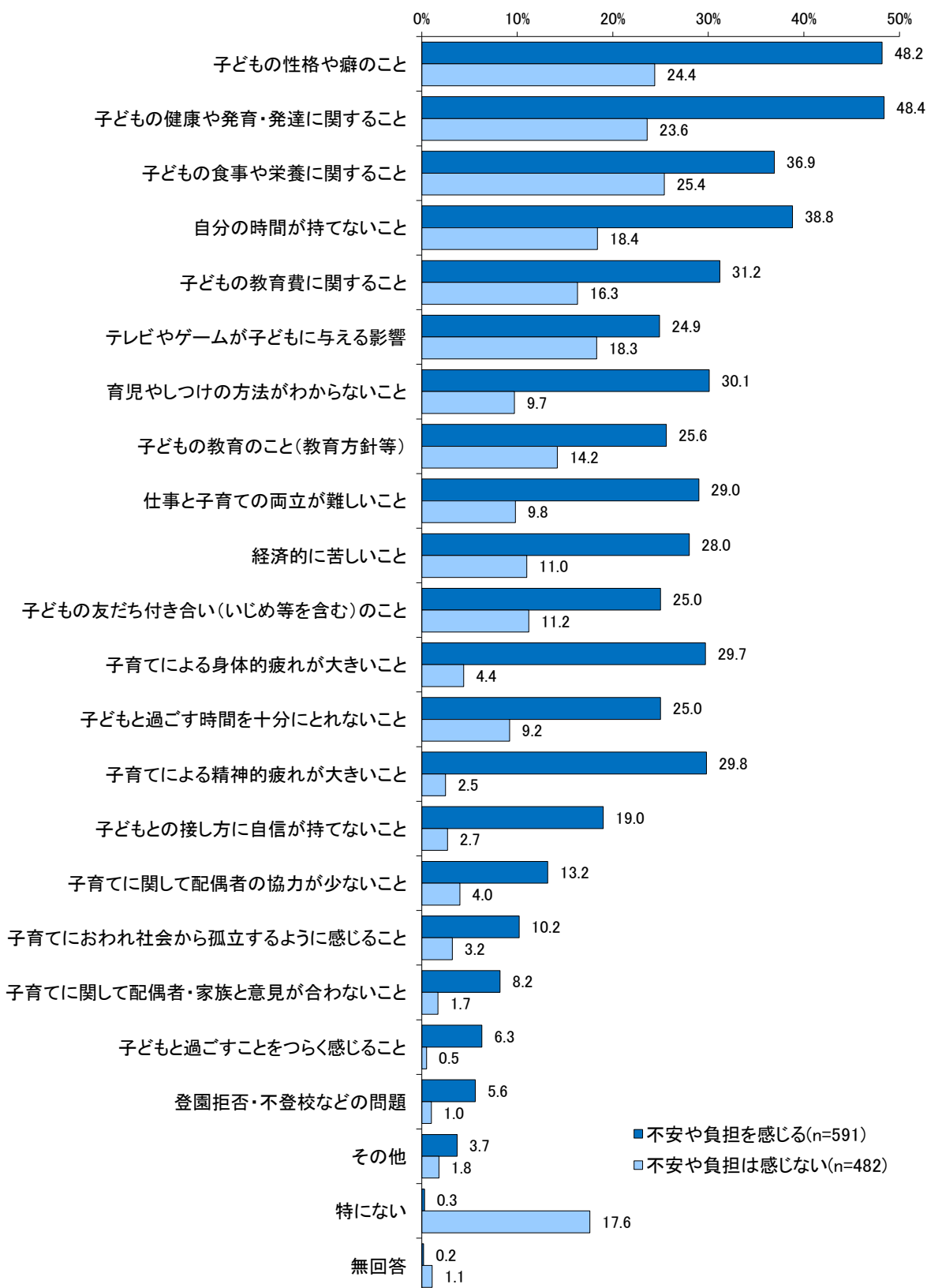
年齢別にみると、「子どもの食事や栄養に関すること」、「自分の時間が持てないこと」、「子育てによる身体的疲れが大きいこと」、「子育てにおわれ社会から孤立するようになること」と回答した割合は年齢が低いほど高く、「子どもの性格や癖のこと」、「子どもの友だち付き合い(いじめ等を含む)のこと」、「子どもと過ごす時間を十分にとれないこと」と回答した割合は年齢が高いほど高くなっている。

【子育ての悩み（小学生・学年別）】



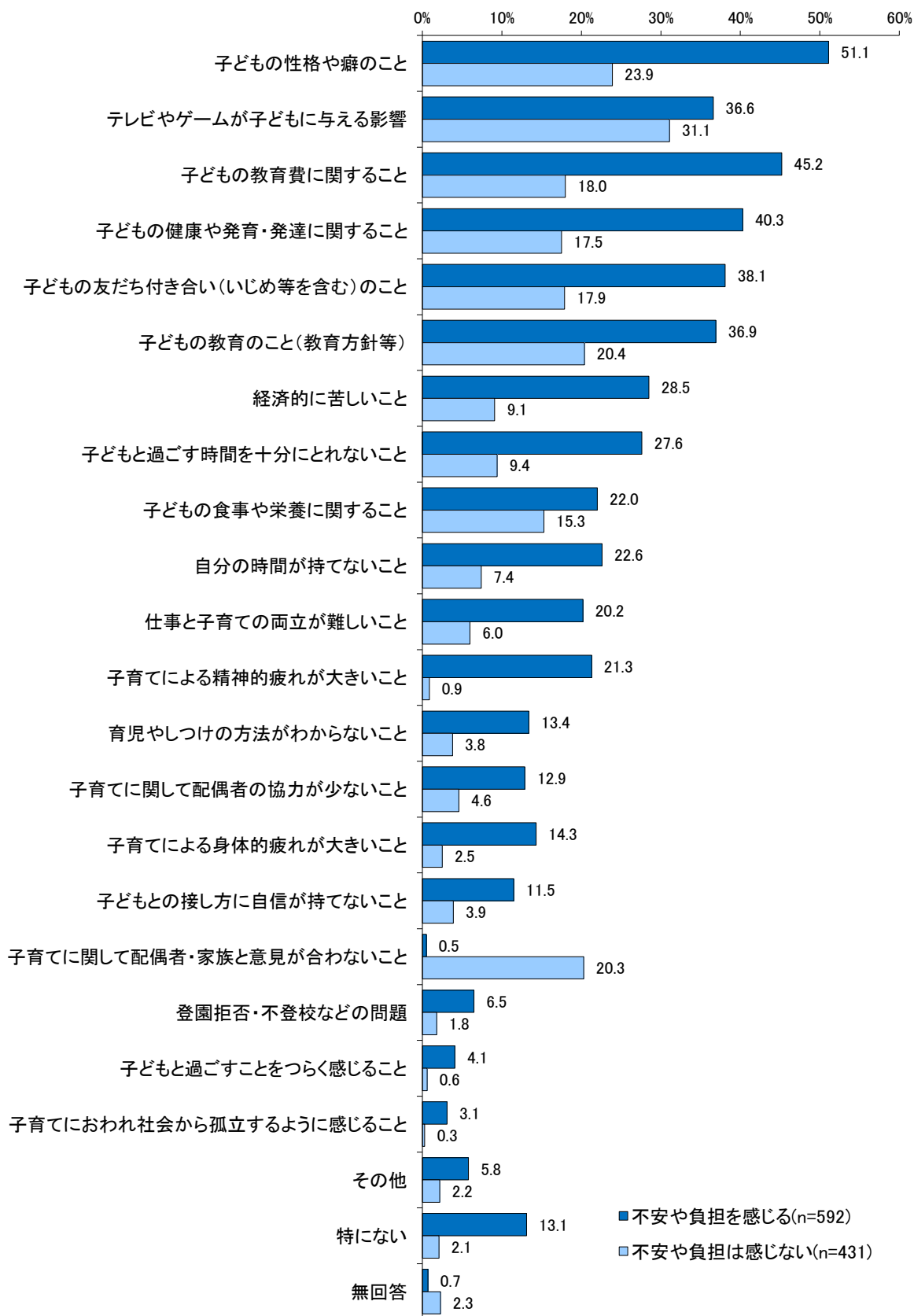
学年別にみると、多くの項目で1～3年生が4～6年生よりも高くなっているが、「テレビやゲームが子どもに与える影響」と回答した割合は4～6年生で高くなっている。

【子育ての悩み（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



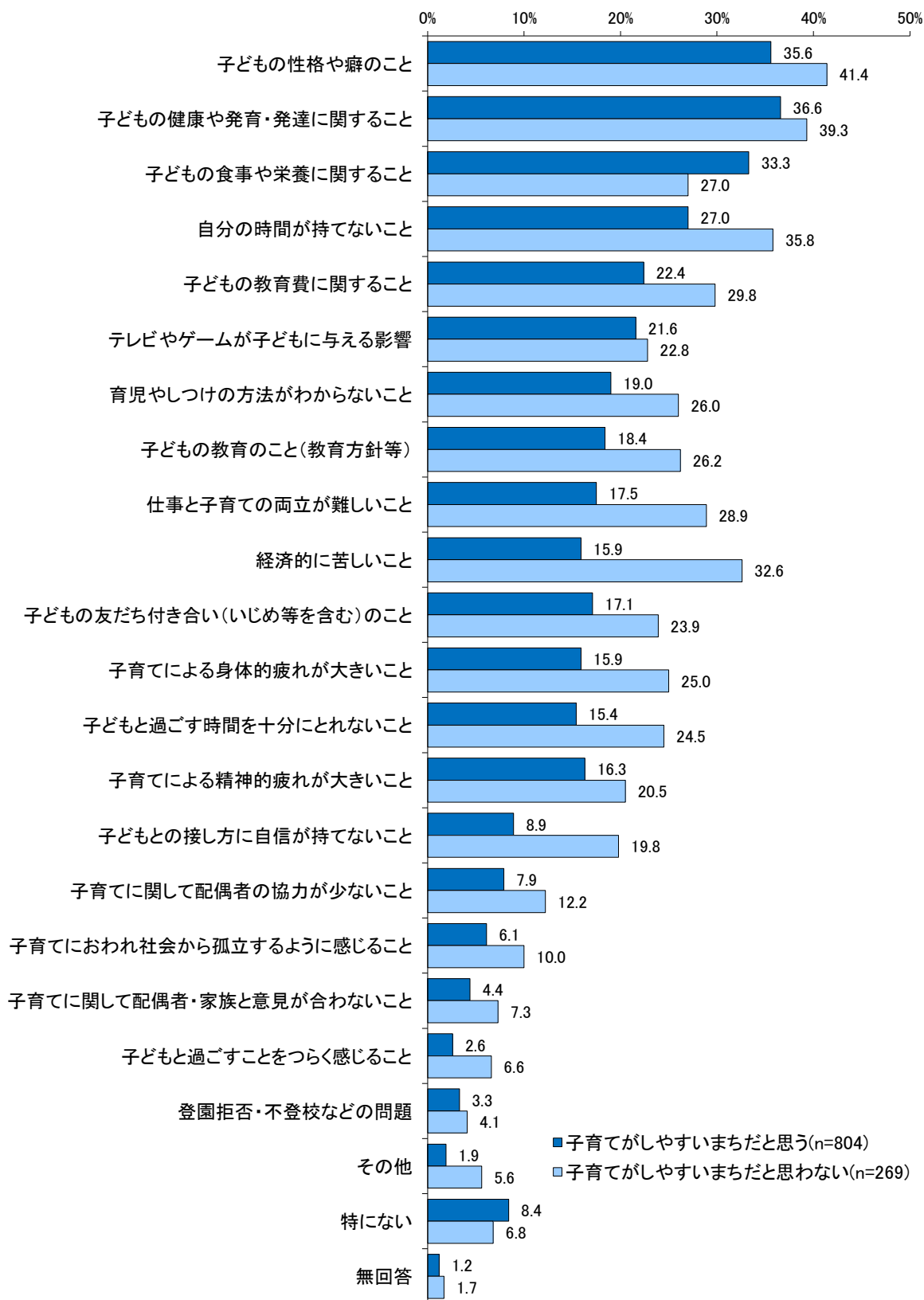
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童ではすべての項目で不安や負担を感じる層が感じない層よりも高くなっている。

【子育ての悩み（小学生・子育てに関する不安や負担の程度別）】



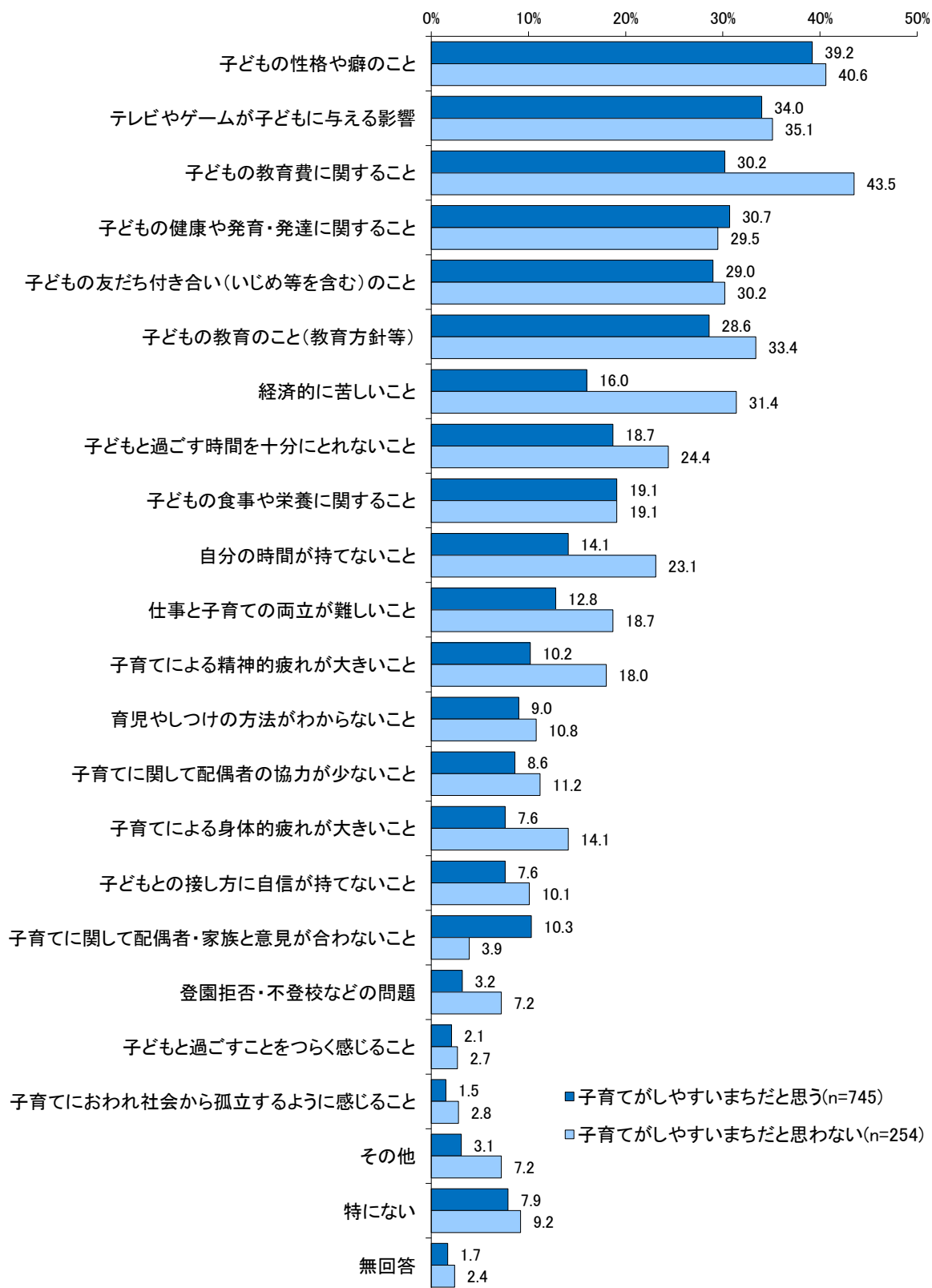
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、小学生では「子育てに関して配偶者・家族と意見が合わないこと」を除くすべての項目で、不安や負担を感じる層が感じない層よりも高くなっている。

【子育ての悩み（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「子どもの食事や栄養に関すること」を除くすべての項目で、子育てがしやすいまちだと思わない層が思う層よりも高くなっている。

【子育ての悩み（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



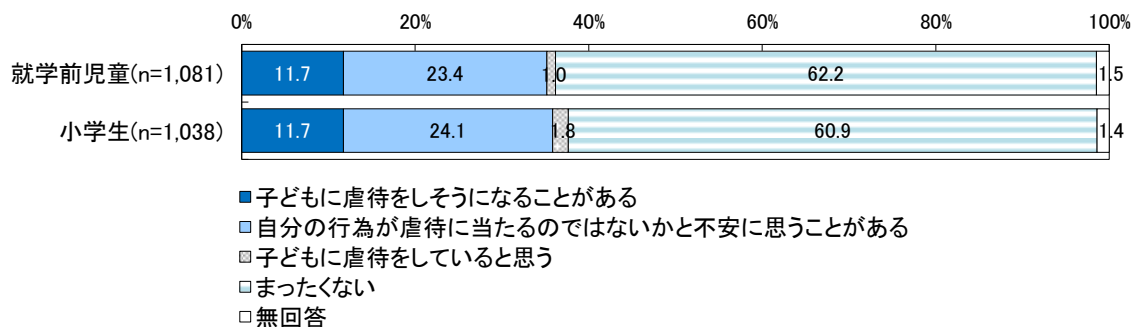
尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では「子どもの健康や発育・発達に関すること」、「子どもの食事や栄養に関すること」、「子育てに関して配偶者・家族と意見が合わないこと」を除くすべての項目で、子育てがしやすいまちだと思わない層が思う層よりも高くなっている。

(3) 虐待経験

問 31 就学前児童・問 23 小学生

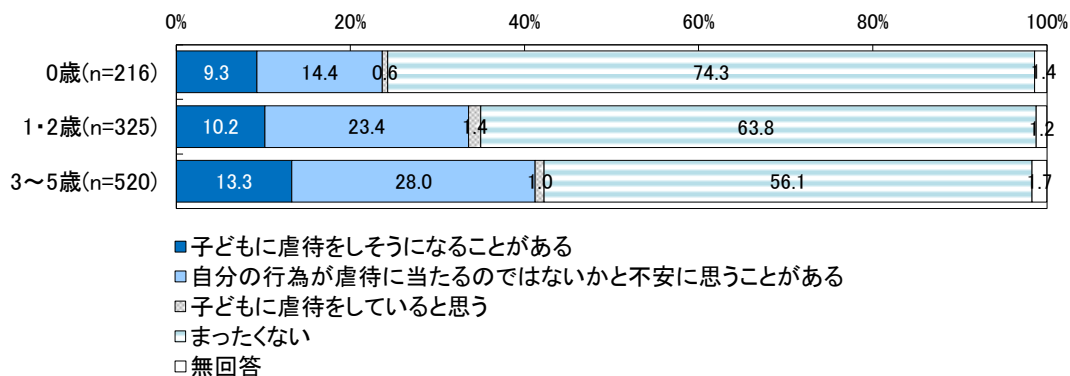
あなたは、次のような経験がありますか。【〇は1つ】

【虐待経験】



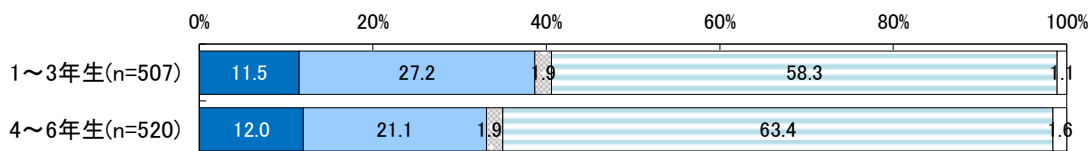
虐待経験について、「子どもに虐待をしそうになることがある」と回答した割合が就学前児童、小学生ともに 11.7%、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合が就学前児童で 23.4%、小学生で 24.1%、「子どもに虐待をしていると思う」と回答した割合が就学前児童で 1.0%、小学生で 1.8%となっている。

【虐待経験（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は年齢が高いほど高くなっている。

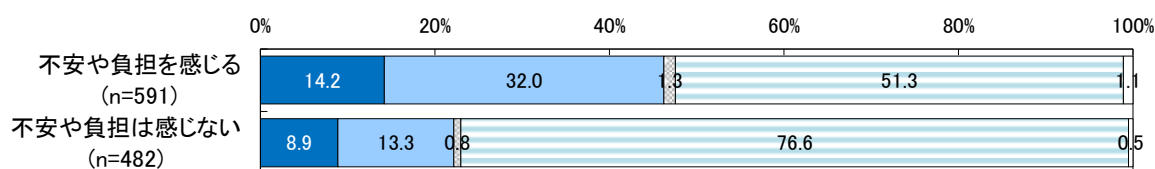
【虐待経験（小学生・学年別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

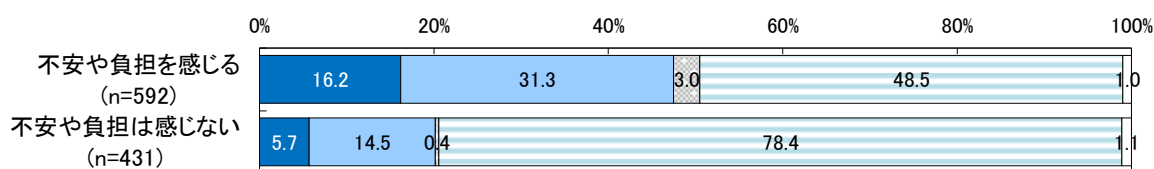
学年別にみると、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は1～3年生が4～6年生よりも高くなっている。

【虐待経験（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

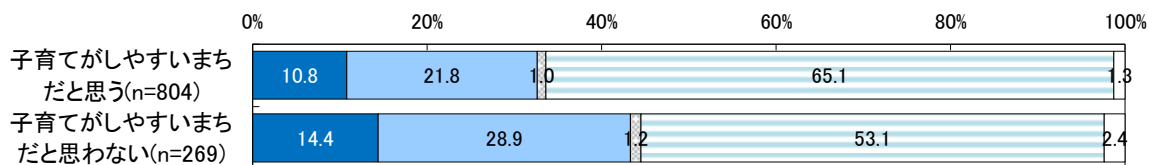
【虐待経験（小学生・子育てに関する不安や負担の程度別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

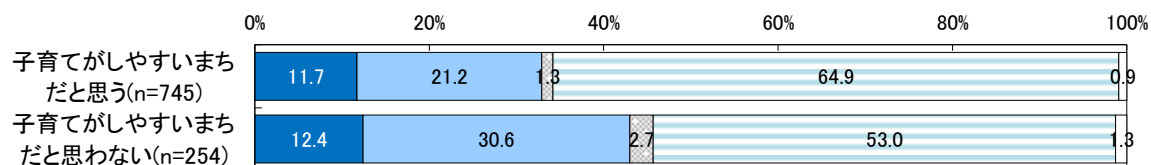
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童、小学生ともに「子どもに虐待をしそうになることがある」、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」、「子どもを虐待をしていると思う」と回答した割合は不安や負担を感じる層で高くなっている。

【虐待経験（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

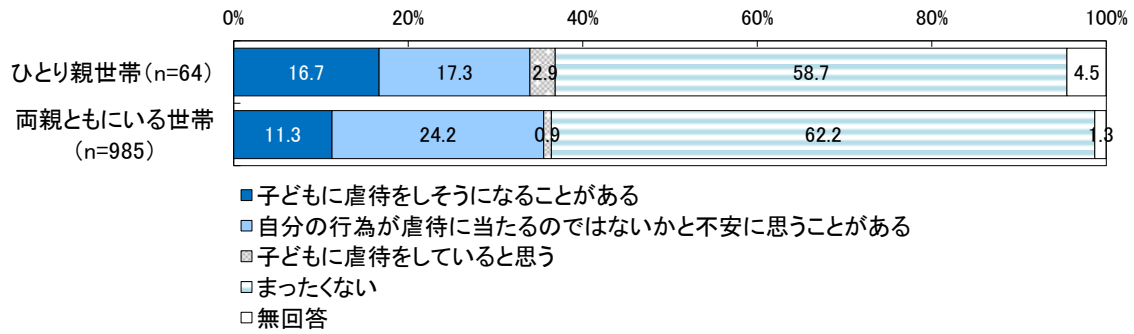
【虐待経験（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



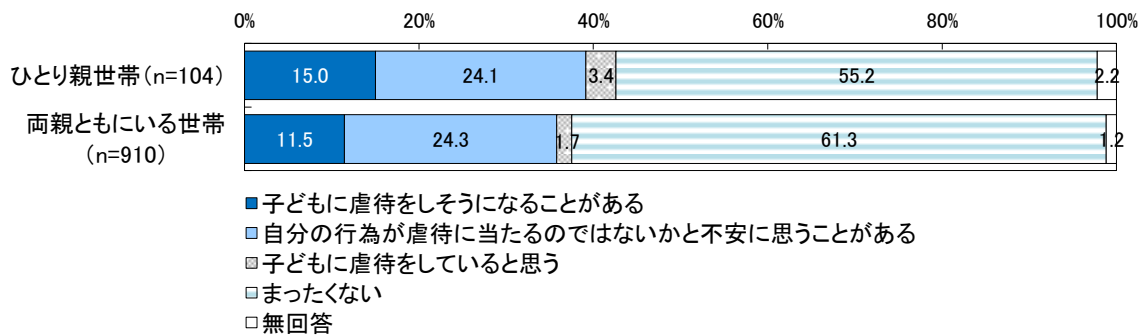
- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童、小学生ともに「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」、「子どもに虐待をしていると思う」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【虐待経験（就学前児童・世帯状況別）】

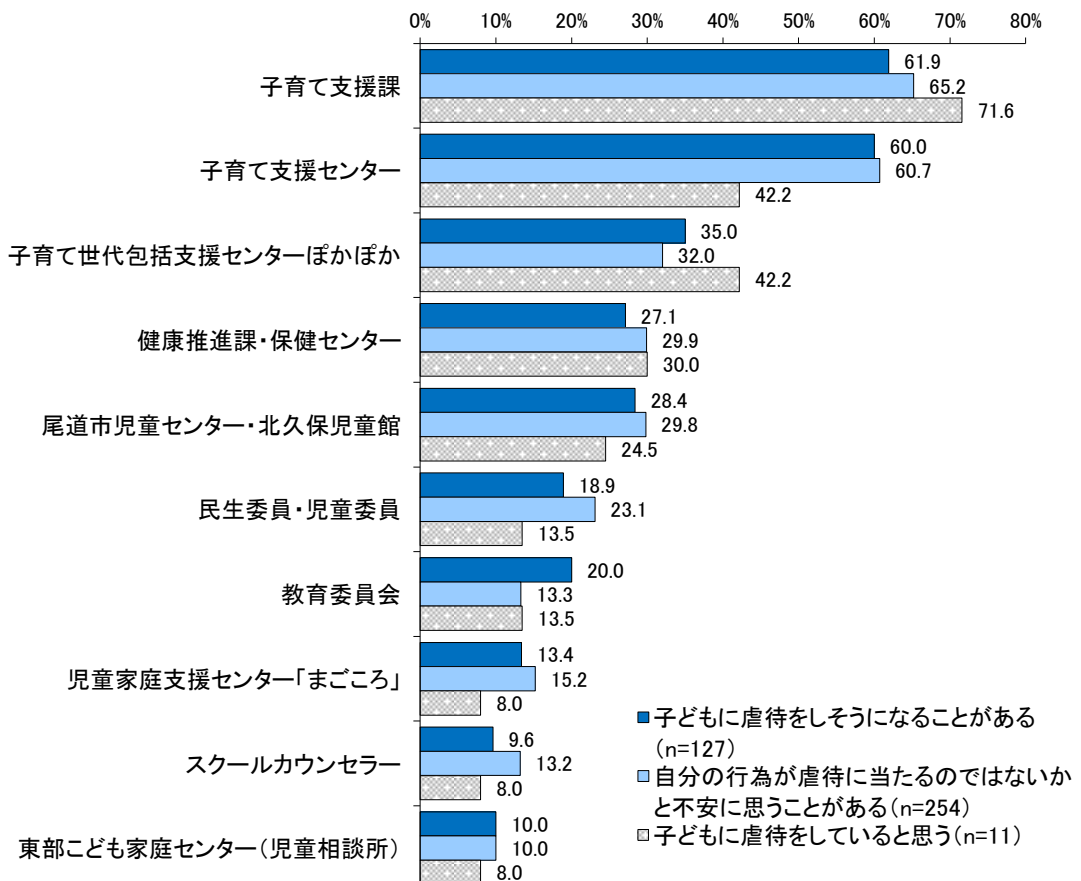


【虐待経験（小学生・世帯状況別）】

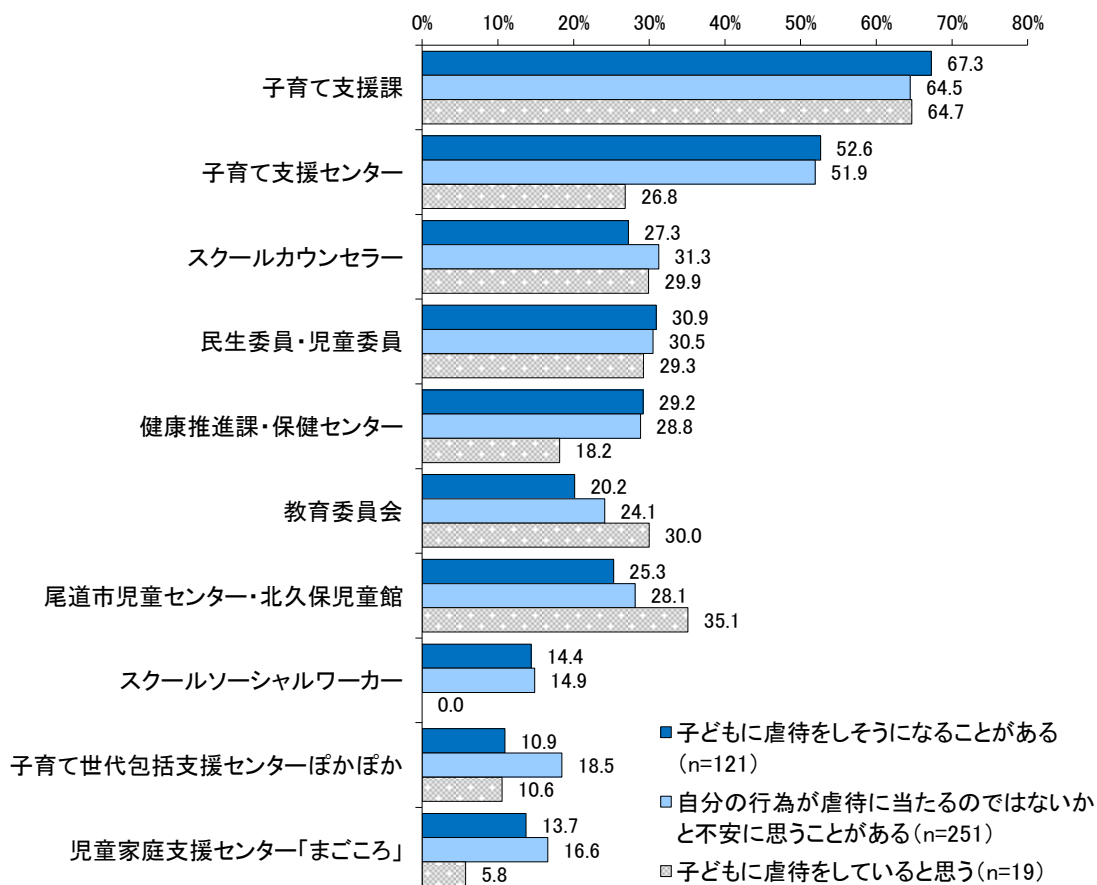


世帯状況別にみると、就学前児童、小学生ともに「子どもに虐待をしそうになることがある」、「子どもに虐待をしていると思う」と回答した割合は、ひとり親世帯で高くなっている。

【公的相談機関等の認知度/上位10項目（就学前児童・虐待経験別）】



【公的相談機関等の認知度/上位10項目（小学生・虐待経験別）】

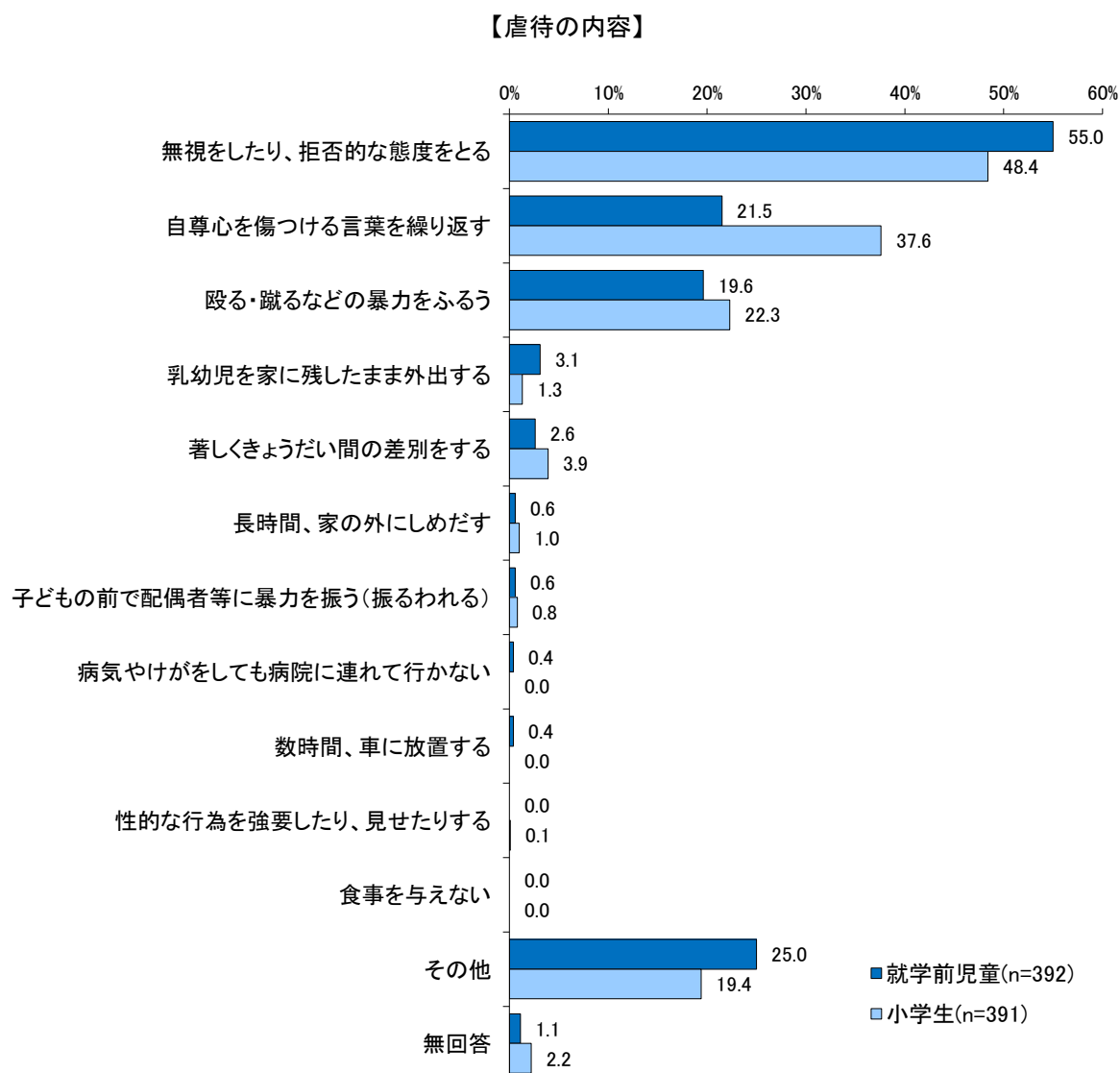


虐待経験別に公的相談機関等の認知度をみると、就学前児童、小学生ともに「子育て支援課」、「子育て支援センター」と回答した割合が高くなっているが、「子どもに虐待をしていると思う」層では「子育て支援センター」と回答した割合が他の層よりも低くなっている。

問 31・問 23 で「1」から「3」と回答した人のみ回答

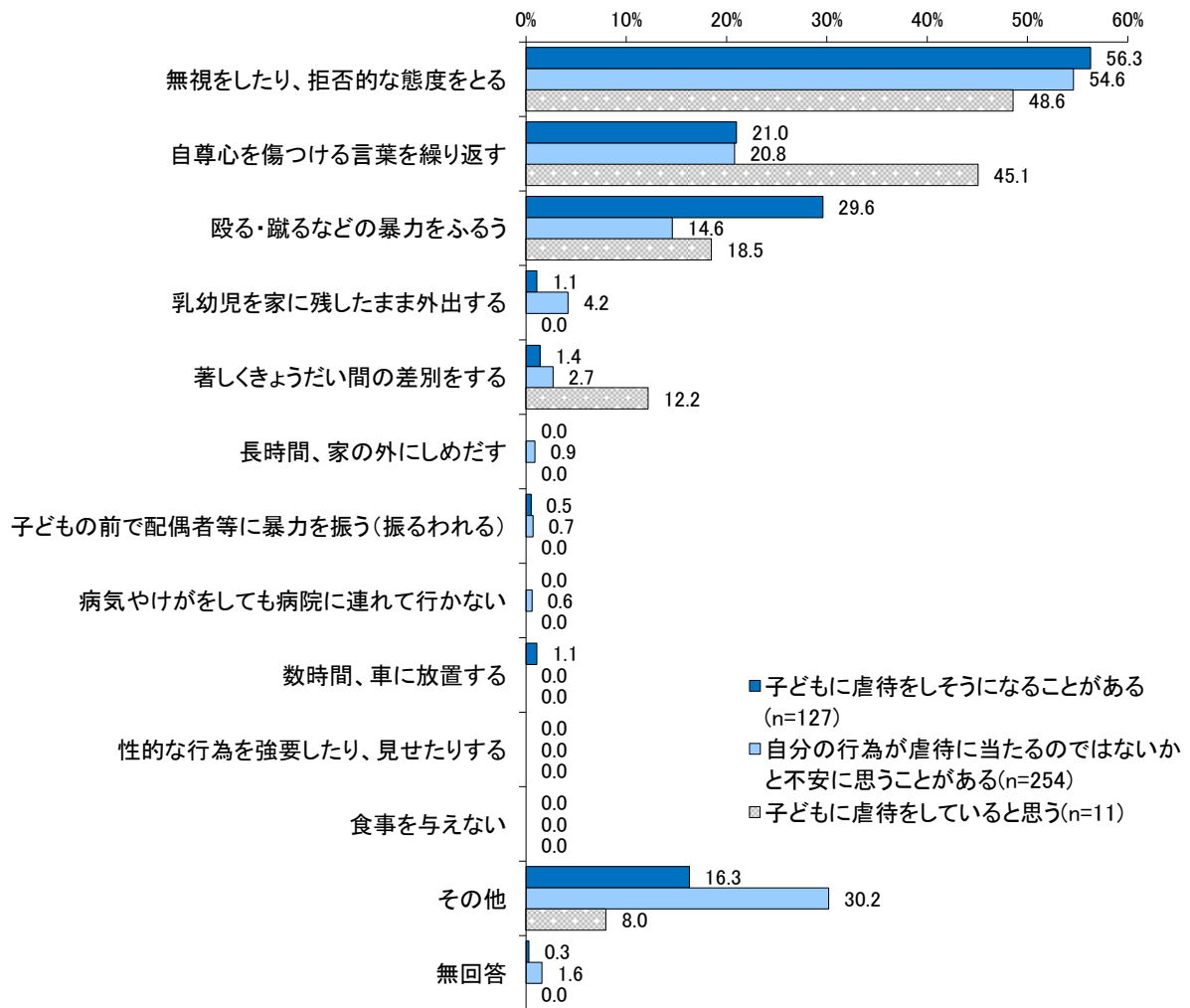
問 31-1 就学前児童・問 23-1 小学生

それはどのようなことですか。【〇は当てはまるものすべて】



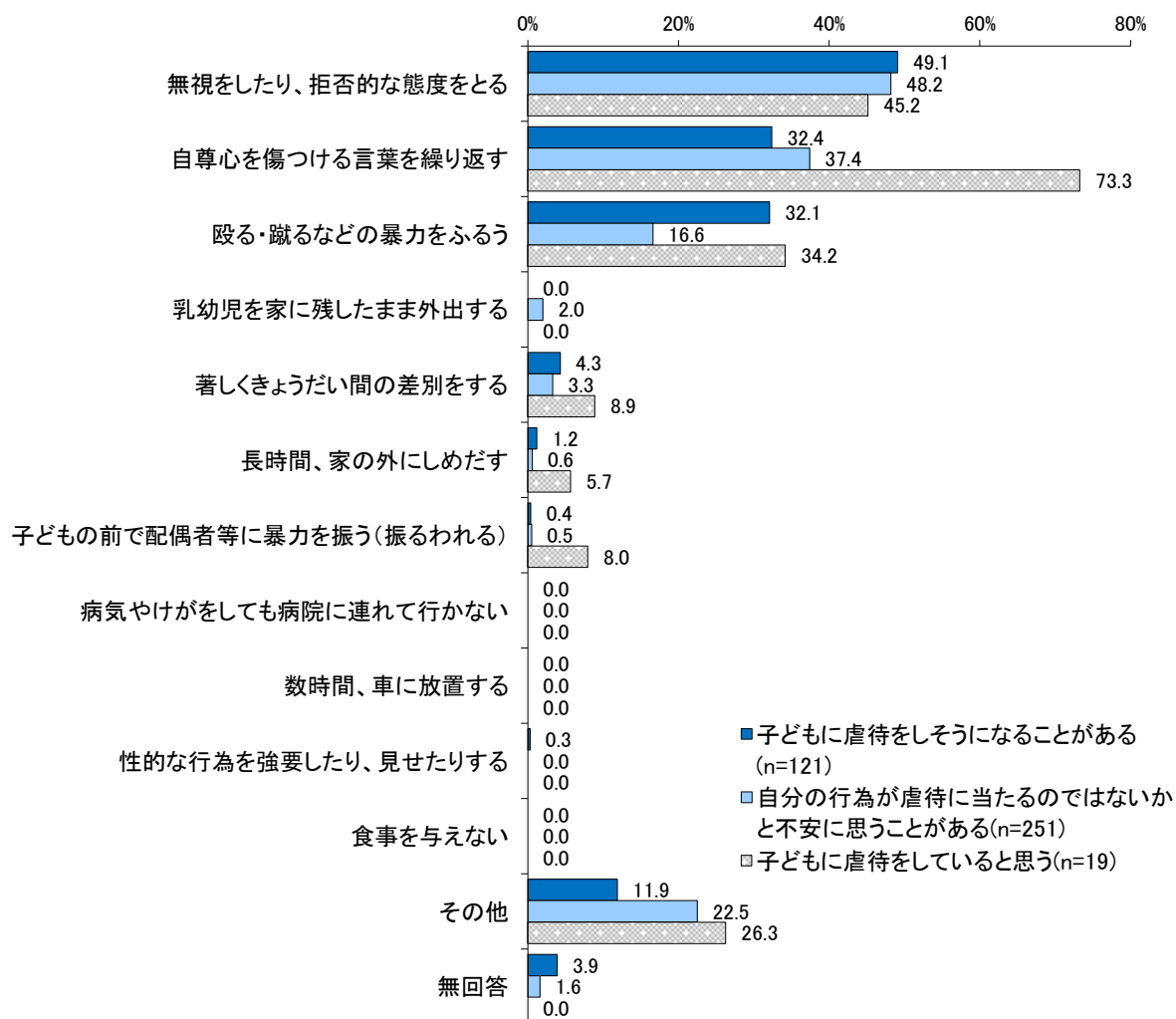
虐待の内容について、就学前児童では「無視をしたり、拒否的な態度をとる」と回答した割合が最も高く、就学前児童で 55.0%、小学生で 48.4%であり、「自尊心を傷つける言葉を繰り返す」（就学前児童 21.5%・小学生 37.6%）、「殴る・蹴るなどの暴力をふるう」（就学前児童 19.6%・小学生 22.3%）が続いている。

【虐待の内容（就学前児童・虐待経験別）】



就学前児童について虐待経験別にみると、子どもに虐待をしていると思う層では「自尊心を傷つける言葉を繰り返す」と回答した割合、子どもに虐待をしそうになることがある層では「殴る・蹴るなどの暴力をふるう」と回答した割合が高くなっている。

【虐待の内容（小学生・虐待経験別）】



小学生について虐待経験別にみると、子どもに虐待をしていると思う層では「自尊心を傷つける言葉を繰り返す」と回答した割合が高くなっている。

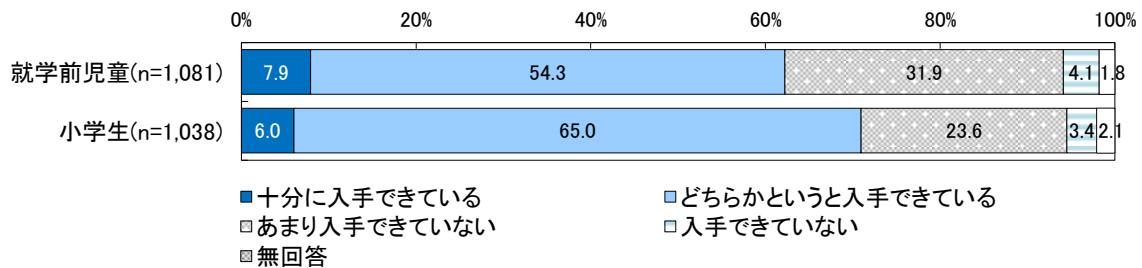
一方、自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある層では「殴る・蹴るなどの暴力をふるう」と回答した割合が低くなっている。

(4) 子育てに関する情報の入手状況

問 32 就学前児童・問 24 小学生

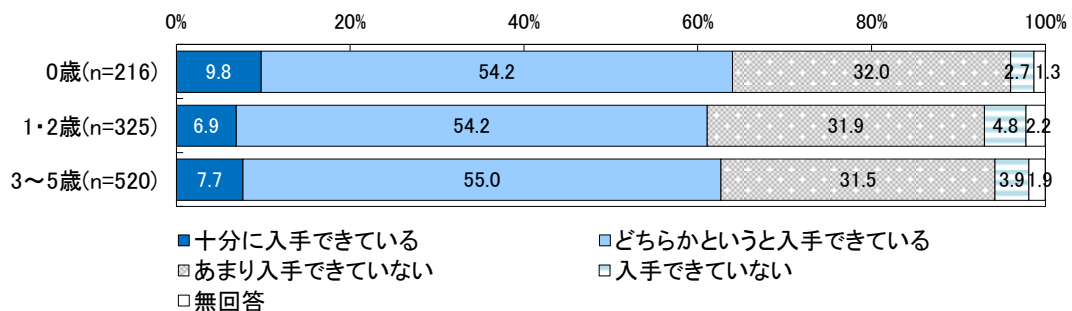
子育て支援に関する情報を十分に得られていると思いますか。【○は1つ】

【子育てに関する情報の入手状況】



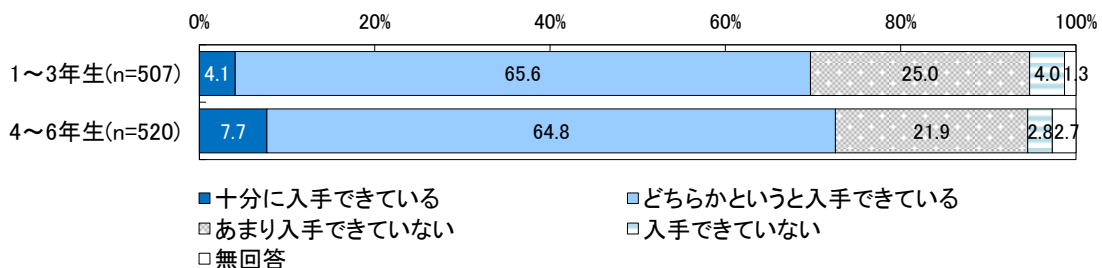
子育てに関する情報の入手状況について、『入手できている』（「十分に入手できている」＋「どちらかという入手できている」と回答した割合が就学前児童で62.2%、小学生で71.0%、『入手できていない』（「入手できていない」＋「あまり入手できていない」と回答した割合が就学前児童で36.0%、小学生で27.0%となっている。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・年齢別）】



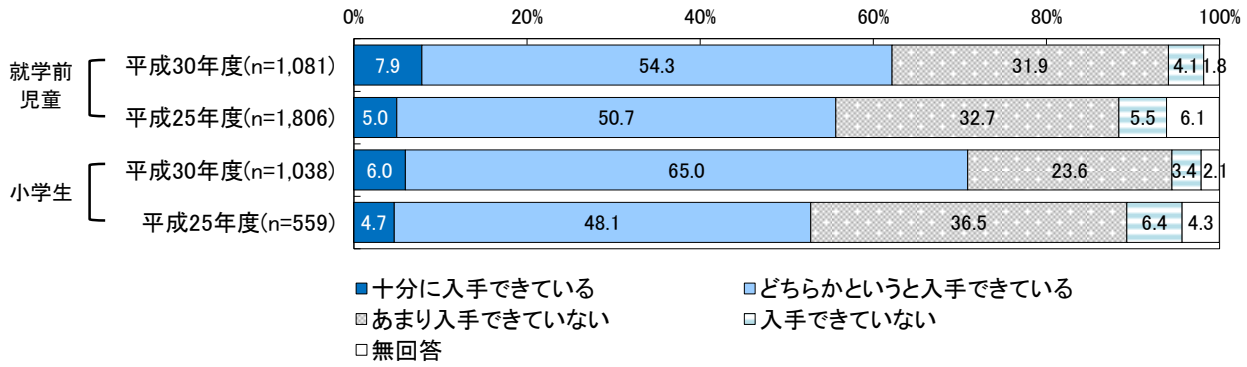
年齢別にみると、大きな差はみられない。

【子育てに関する情報の入手状況（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【子育てに関する情報の入手状況（前回調査結果との比較）】



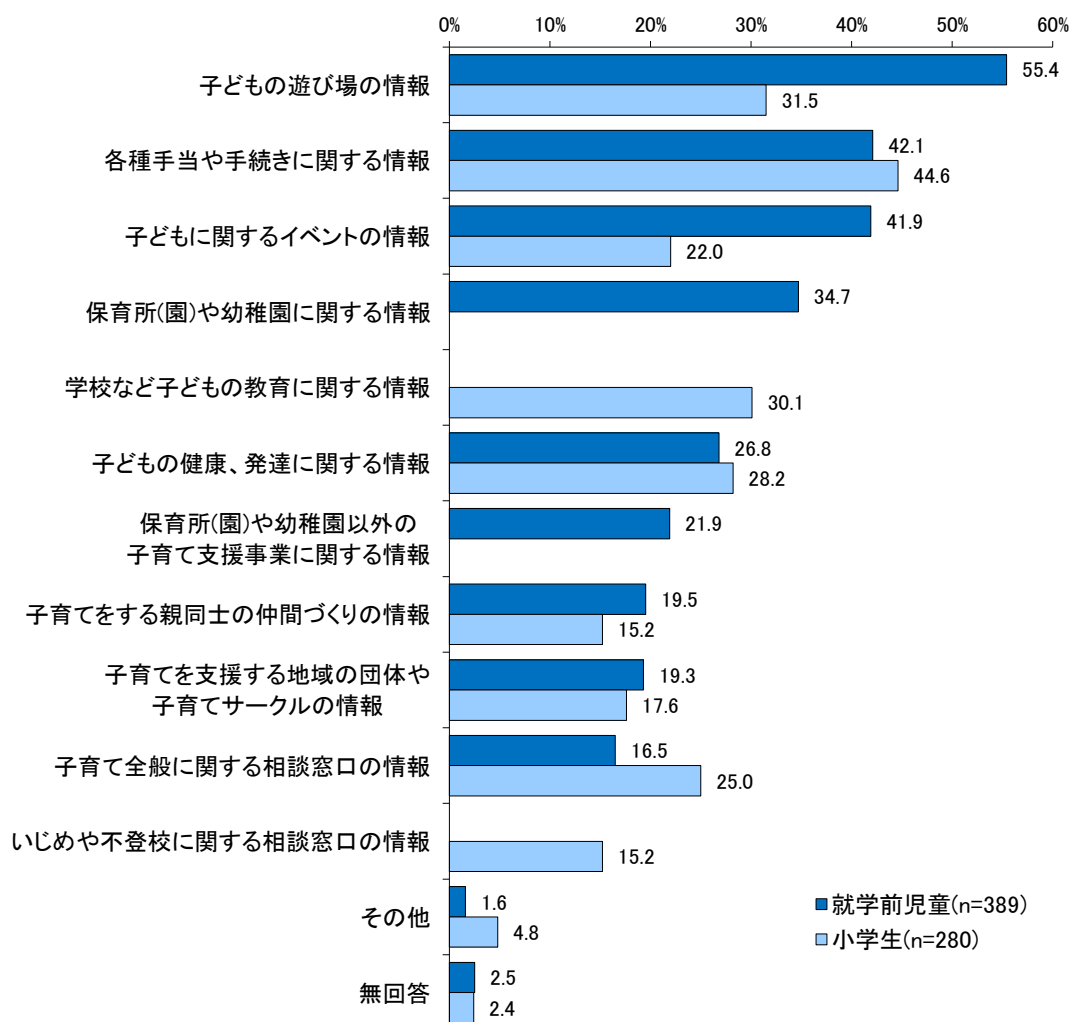
前回調査結果と比較すると、『入手できている』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに上昇している。

問 32・問 24 で「3 あまり入手できていない」または「4 入手できていない」と回答した人のみ回答

問 32-1 就学前児童・問 24-1 小学生

どのような情報が不足していると思いますか。【〇は当てはまるものすべて】

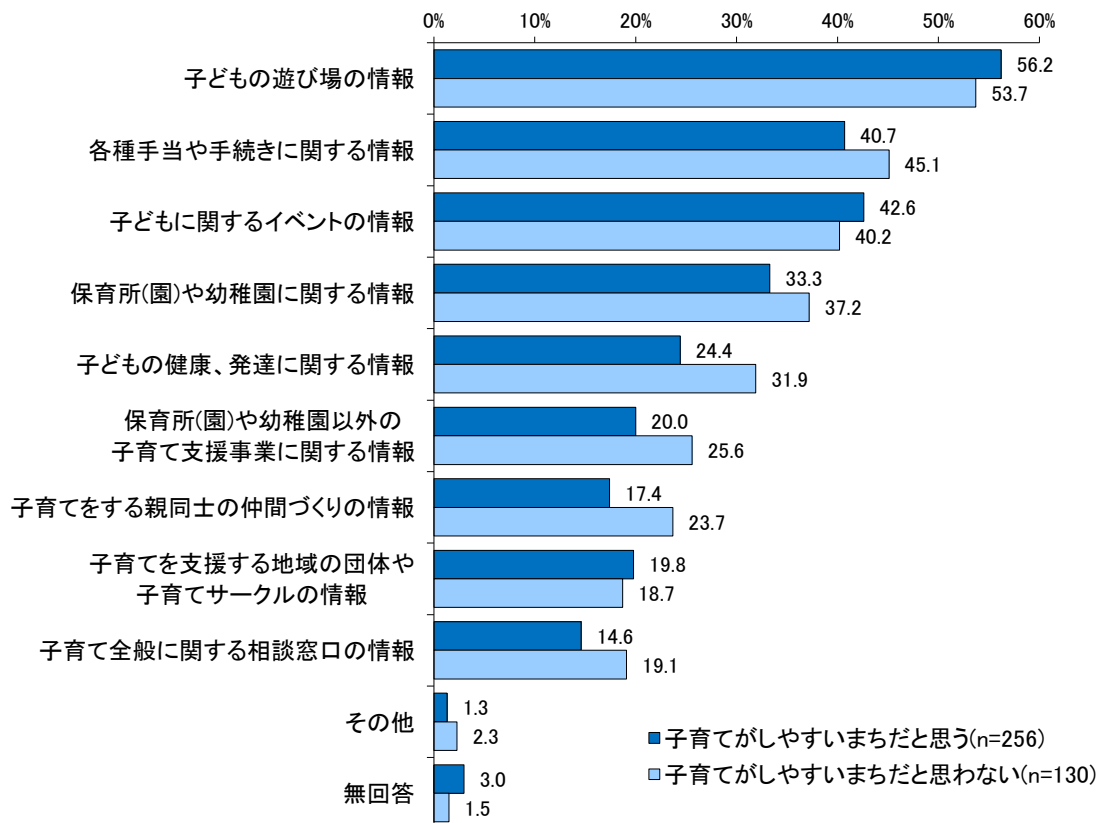
【不足を感じる子育てに関する情報】



不足を感じる子育てに関する情報について、就学前児童では「子どもの遊び場の情報」と回答した割合が 55.4%と最も高く、「各種手当や手続きに関する情報」(42.1%)、「子どもに関するイベントの情報」(41.9%)が続いている。

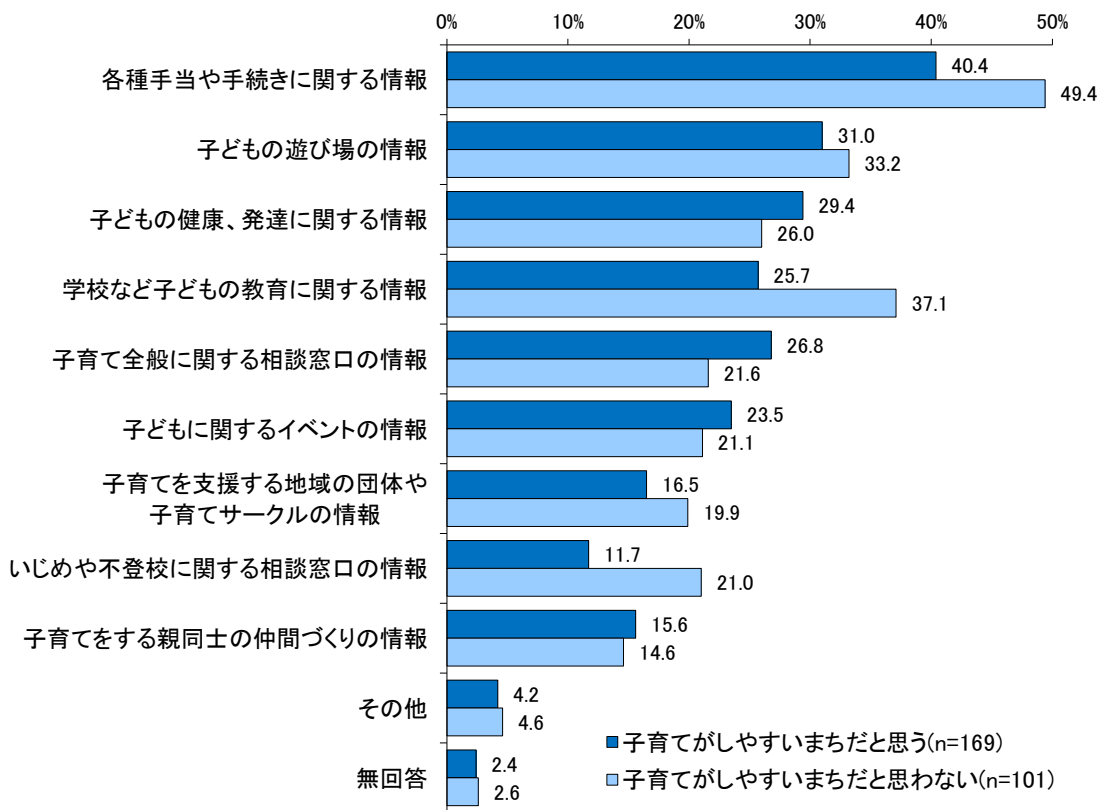
小学生では「各種手当や手続きに関する情報」と回答した割合が 44.6%と最も高く、「子どもの遊び場の情報」(31.5%)、「学校など子どもの教育に関する情報」(30.1%)が続いている。

【不足を感じる子育てに関する情報（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では多くの項目で子育てがしやすいまちだと思わない層が思う層よりも高くなっており、「子どもの健康、発達に関する情報」の割合の差が最も大きくなっている。

【不足を感じる子育てに関する情報（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では多くの項目で子育てがしやすいまちだと思わない層が思う層よりも高くなっており、「各種手当や手続きに関する情報」、「学校など子どもの教育に関する情報」、「いじめや不登校に関する相談窓口の情報」の割合の差が大きくなっている。

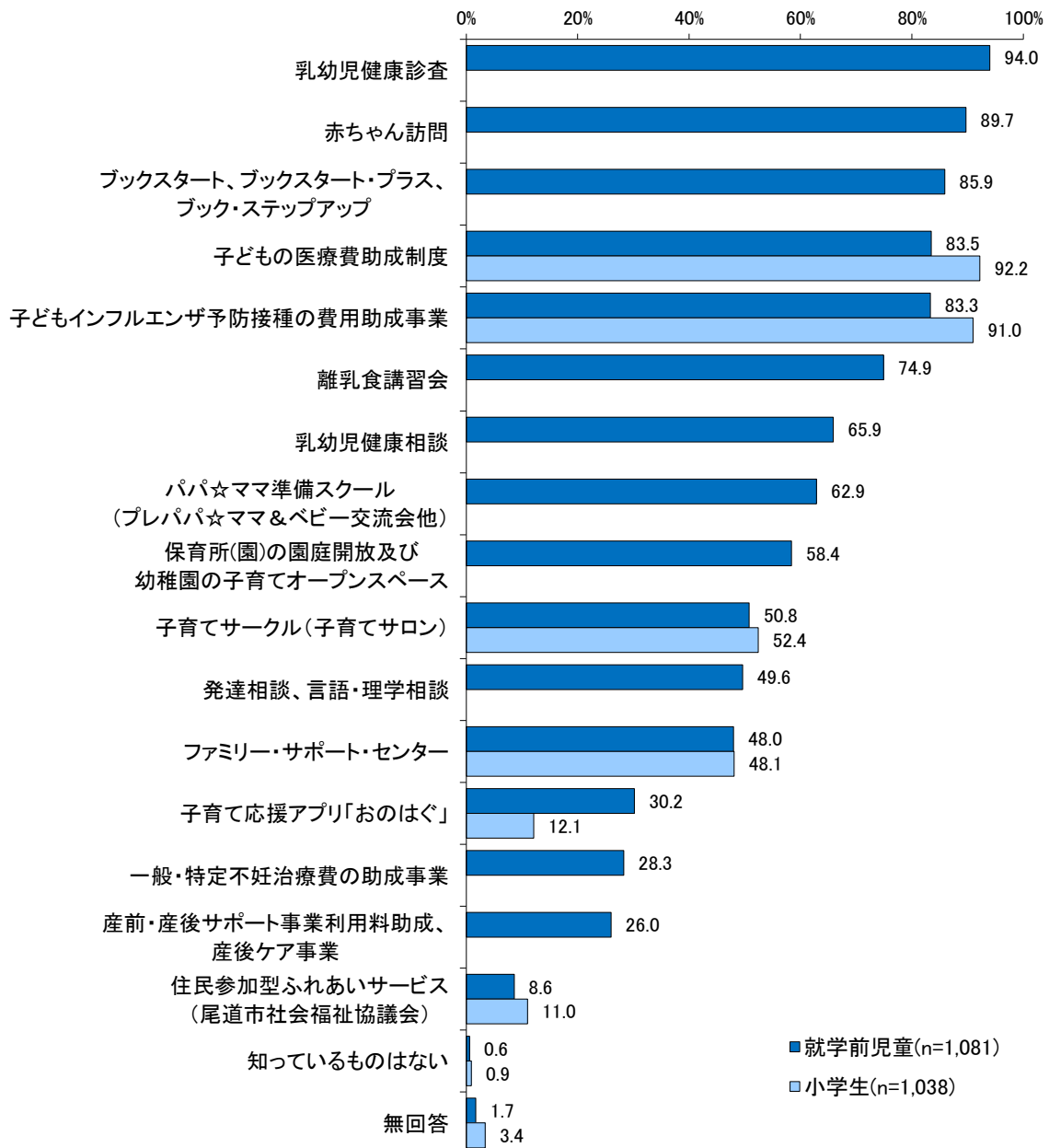
(5) 子育て支援サービスの認知度

問 33 就学前児童・問 25 小学生

下記の子育て支援サービスで知っているものを回答してください。

【〇は知っているものすべて】

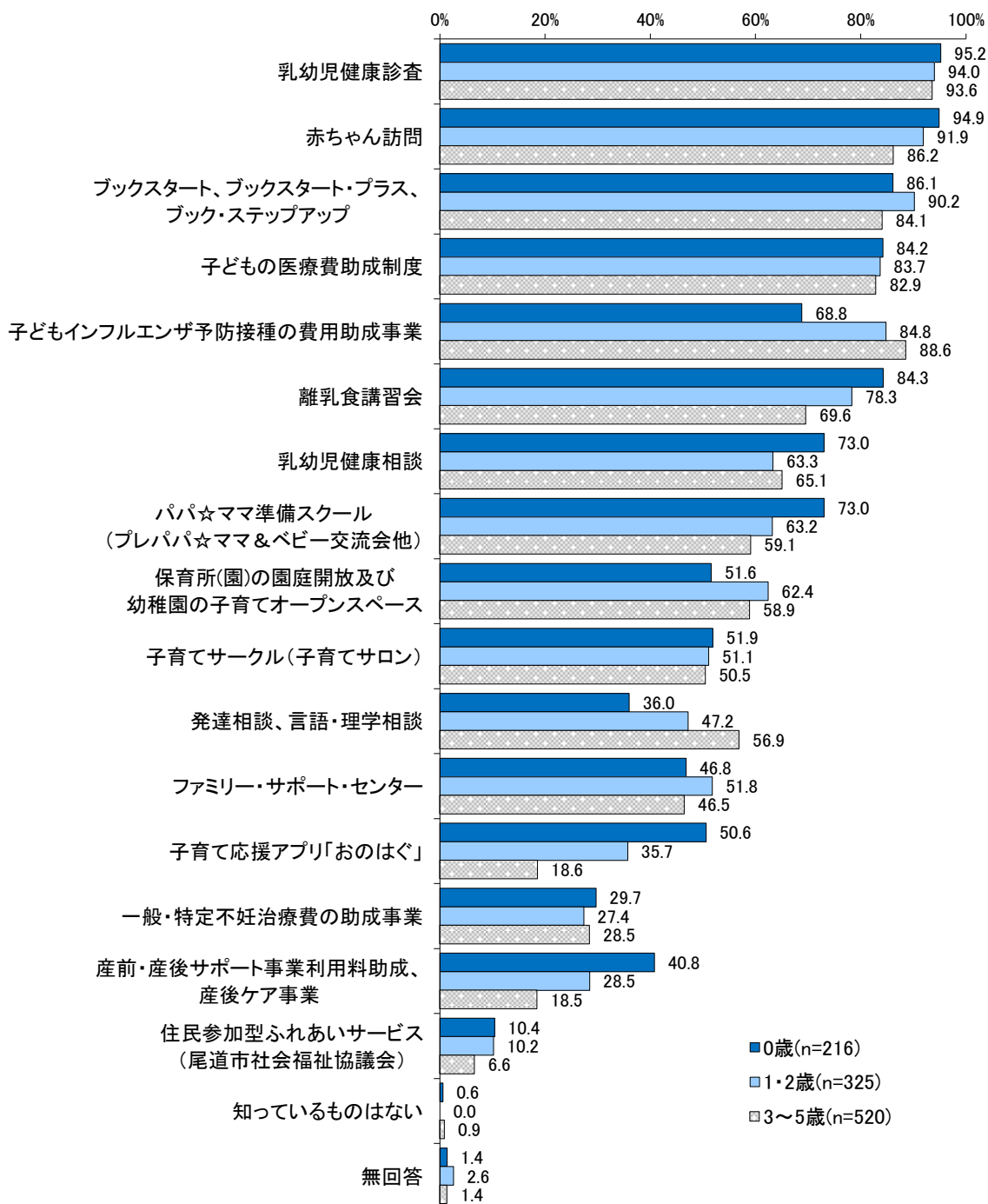
【知っている子育て支援サービス】



知っている子育て支援サービスについて、就学前児童では「乳幼児健康診査」と回答した割合が94.0%と最も高く、「赤ちゃん訪問」(89.7%)、「ブックスタート、ブックスタート・プラス、ブック・ステップアップ」(85.9%)、「子どもの医療費助成制度」(83.5%)、「子どもインフルエンザ予防接種の費用助成事業」(83.3%)が続いている。

小学生では「子どもの医療費助成制度」と回答した割合が最も高く、次いで「子どもインフルエンザ予防接種の費用助成事業」(91.0%)となっている。

【知っている子育て支援サービス（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「離乳食講習会」、「パパ☆ママ準備スクール（プレパパ☆ママ&ベビー交流会他）」、「子育て応援アプリ「おのはぐ」」、「産前・産後サポート事業利用料助成、産後ケア事業」と回答した割合は年齢が低くなるほど高くなっている。

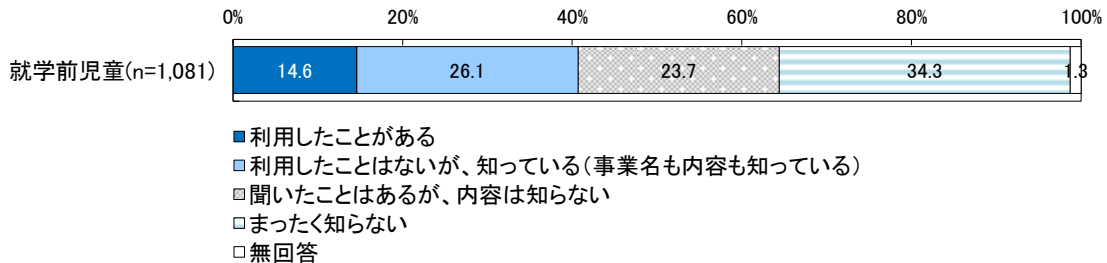
また、「子どもインフルエンザ予防接種の費用助成事業」と回答した割合は1・2歳、3～5歳で高くなっている。

(6) 「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況

問 34 就学前児童

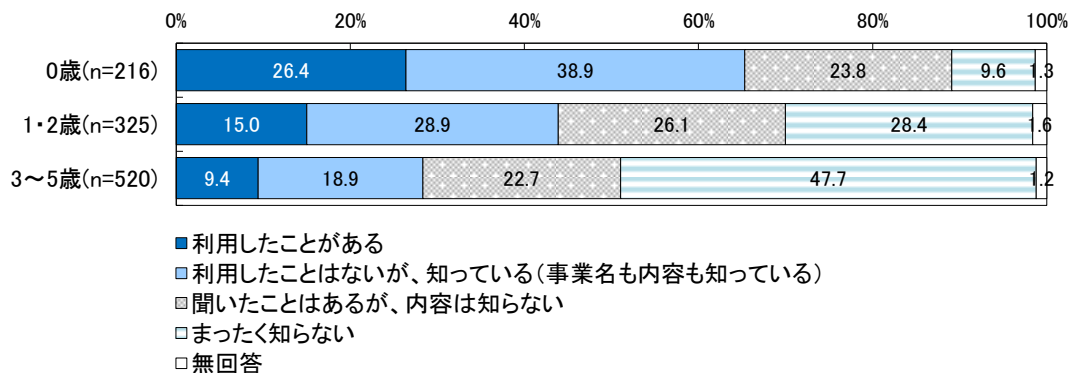
「子育て世代包括支援センターぽかぽか」を利用したことがありますか。または、知っていますか。【〇は1つ】

【「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況】



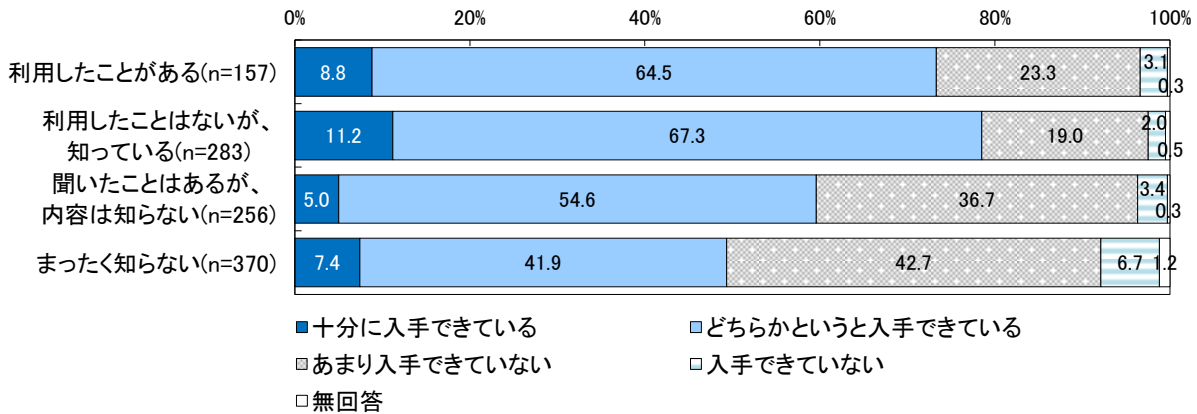
「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が 14.6%、「利用したことはないが、知っている（事業名も内容も知っている）」と回答した割合が 26.1%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合が 23.7% となっている。

【「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況（就学前児童・年齢別）】



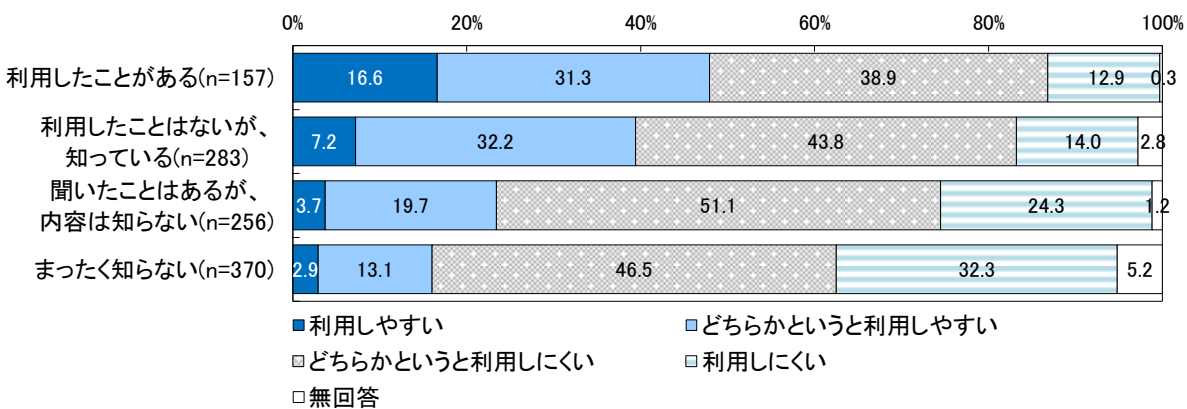
年齢別にみると、「利用したことがある」と回答した割合は年齢が低いほど高くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況別）】



子育てに関する情報の入手状況について、「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況別にみると、利用したことがある層と利用したことはないが、知っている層では子育てに関する情報を『入手できている』と回答した割合が高く、利用したことがある層で73.3%、利用したことはないが、知っている層で78.5%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（就学前児童・「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況別）】

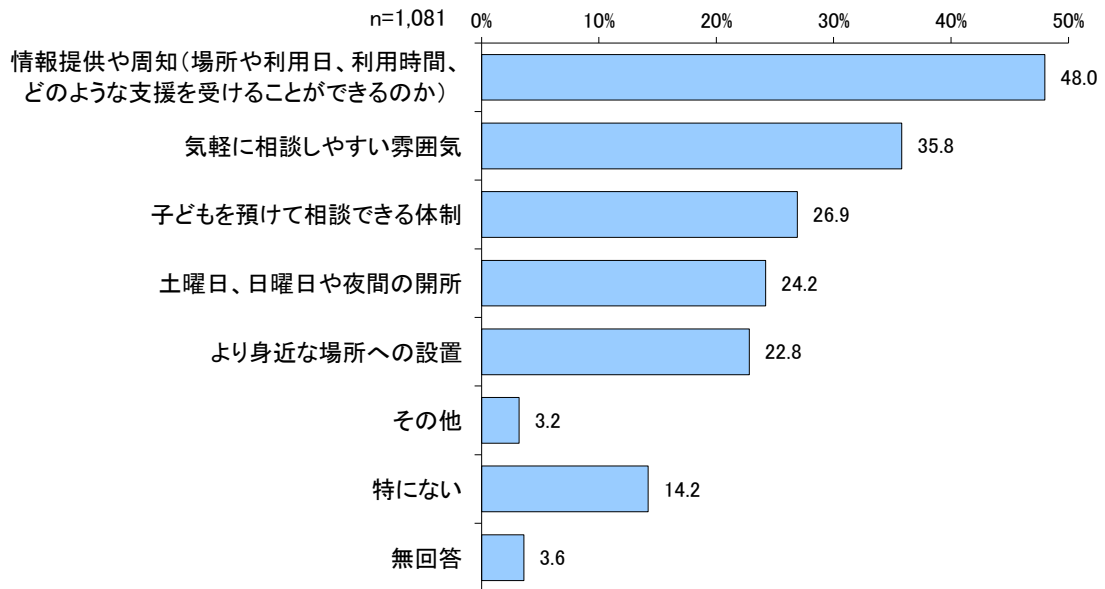


公的な相談機関の利便性について、「子育て世代包括支援センターぽかぽか」の利用状況別にみると、利用したことがある層では公的な相談窓口を『利用しやすい』と回答した割合が高く、47.9%となっている。

問 35 就学前児童

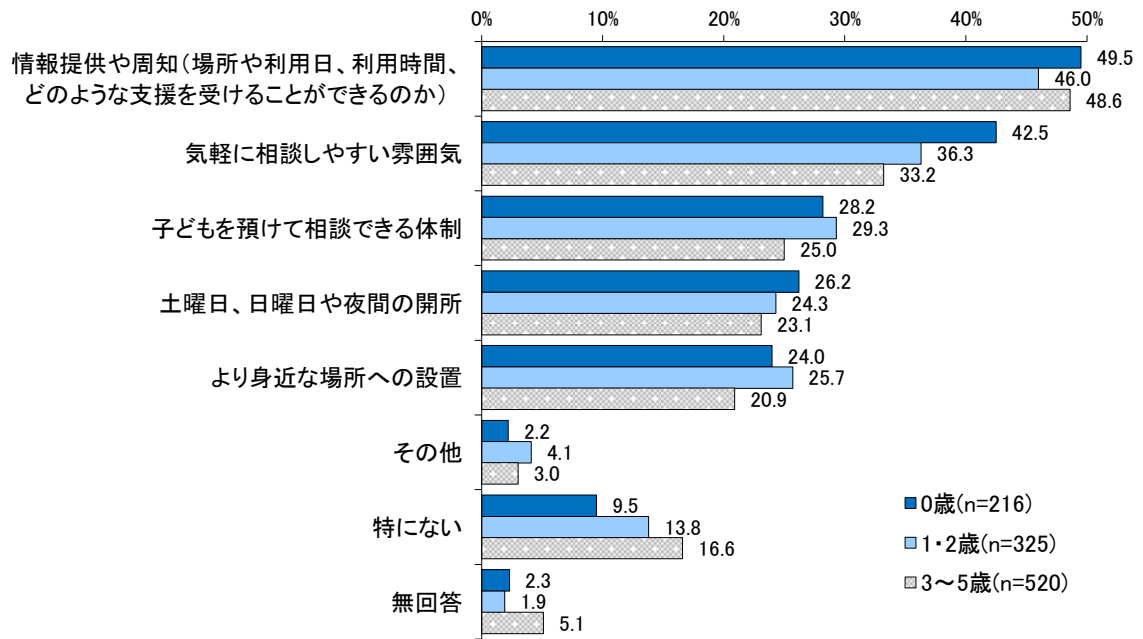
「子育て世代包括支援センターぽかぽか」について、利用しやすい場となるためにはどのようなことが必要だと思いますか。【〇は当てはまるものすべて】

【「子育て世代包括支援センターぽかぽか」が利用しやすい場となるために必要なこと】



「子育て世代包括支援センターぽかぽか」が利用しやすい場となるために必要なことについて、「情報提供や周知(場所や利用日、利用時間、どのような支援を受けることができるのか)」と回答した割合が 48.0%と最も高く、次いで「気軽に相談しやすい雰囲気」(35.8%)となっている。

【「子育て世代包括支援センターぽかぽか」が利用しやすい場となるために必要なこと（就学前児童・年齢別）】

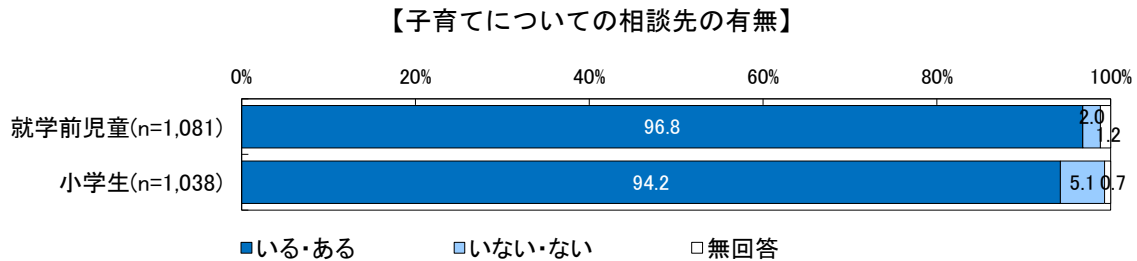


年齢別にみると、0歳では「気軽に相談しやすい雰囲気」と回答した割合が他の年齢よりも特に高くなっている。

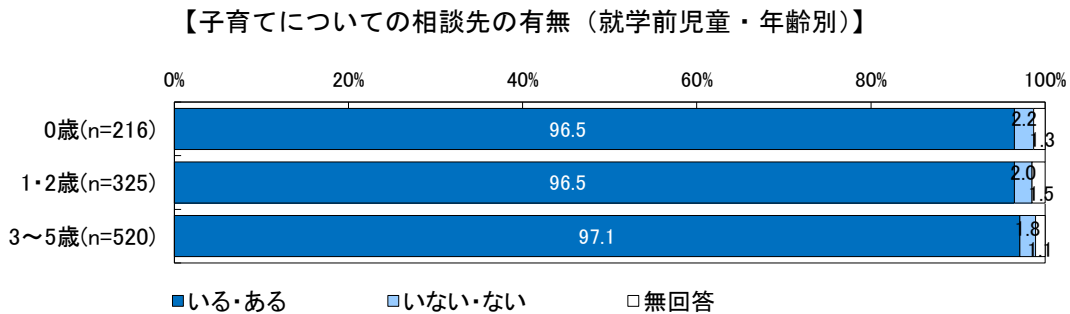
(7) 相談先の有無

問 36 就学前児童・問 26 小学生

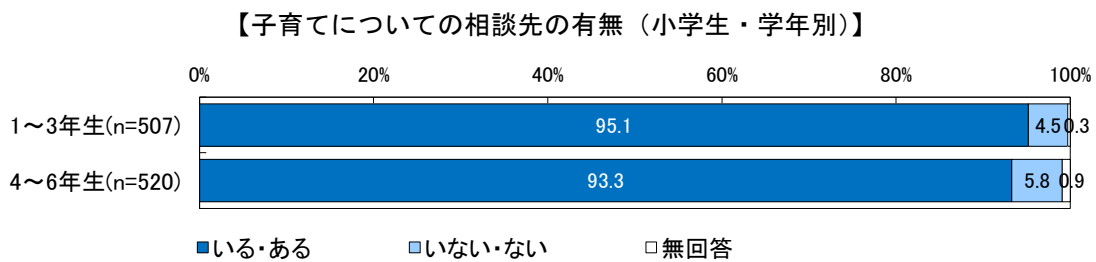
あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。【〇は1つ】



子育てについての相談先の有無について、「いる・ある」と回答した割合が就学前児童で96.8%、小学生で94.2%となっている。

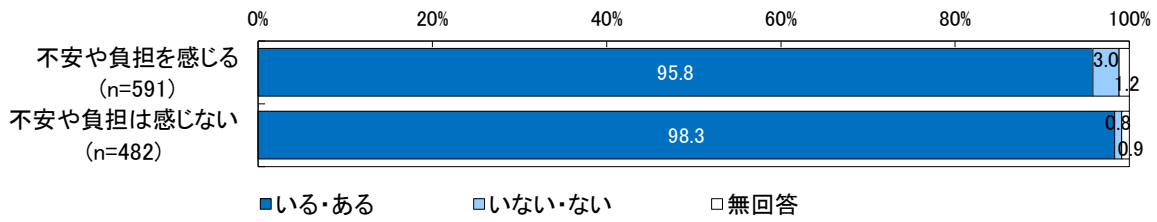


年齢別にみると、大きな差はみられない。

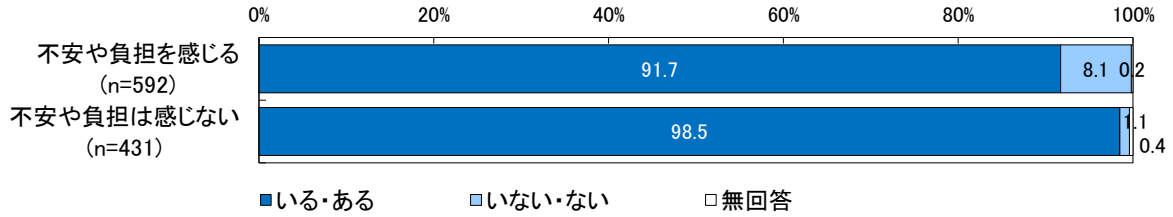


学年別にみると、大きな差はみられない。

【子育てについての相談先の有無（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



【子育てについての相談先の有無（小学生・子育てに関する不安や負担の程度別）】



子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童では大きな差はみられないが、小学生では「いない・ない」と回答した割合が不安や負担を感じる層で高くなっている。

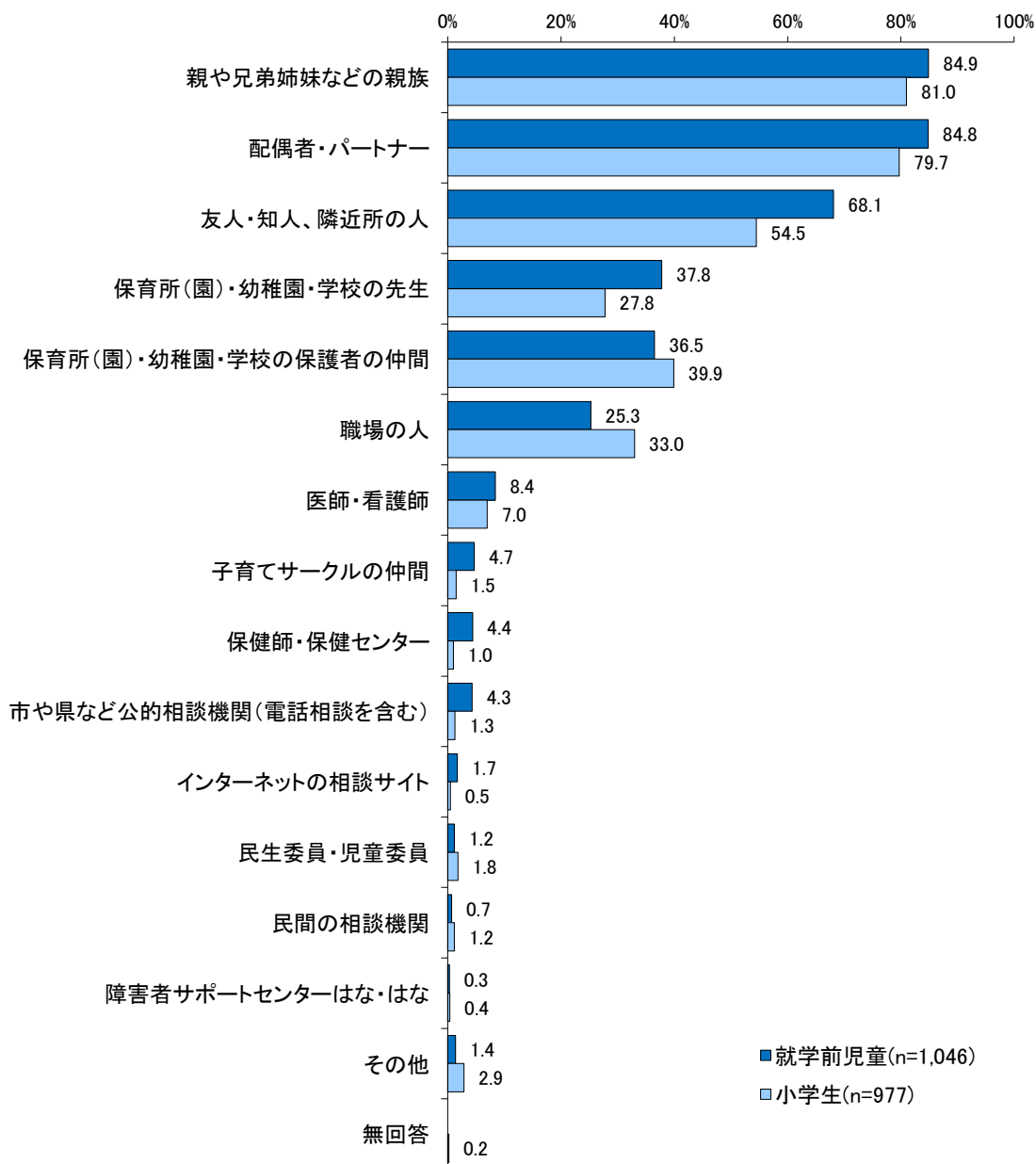
問 36・問 26 で「1 いる・ある」と回答した人のみ回答

問 36-1 就学前児童・問 26-1 小学生

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

【〇は当てはまるものすべて】

【子育てについての相談先】



子育てについての相談先について、「親や兄弟姉妹などの親族」と回答した割合が最も高く、就学前児童で 84.9%、小学生で 81.0%であり、「配偶者・パートナー」（就学前児童 84.8%・小学生 79.7%）、「友人・知人、隣近所の人」（就学前児童 68.1%・小学生 54.5%）となっている。

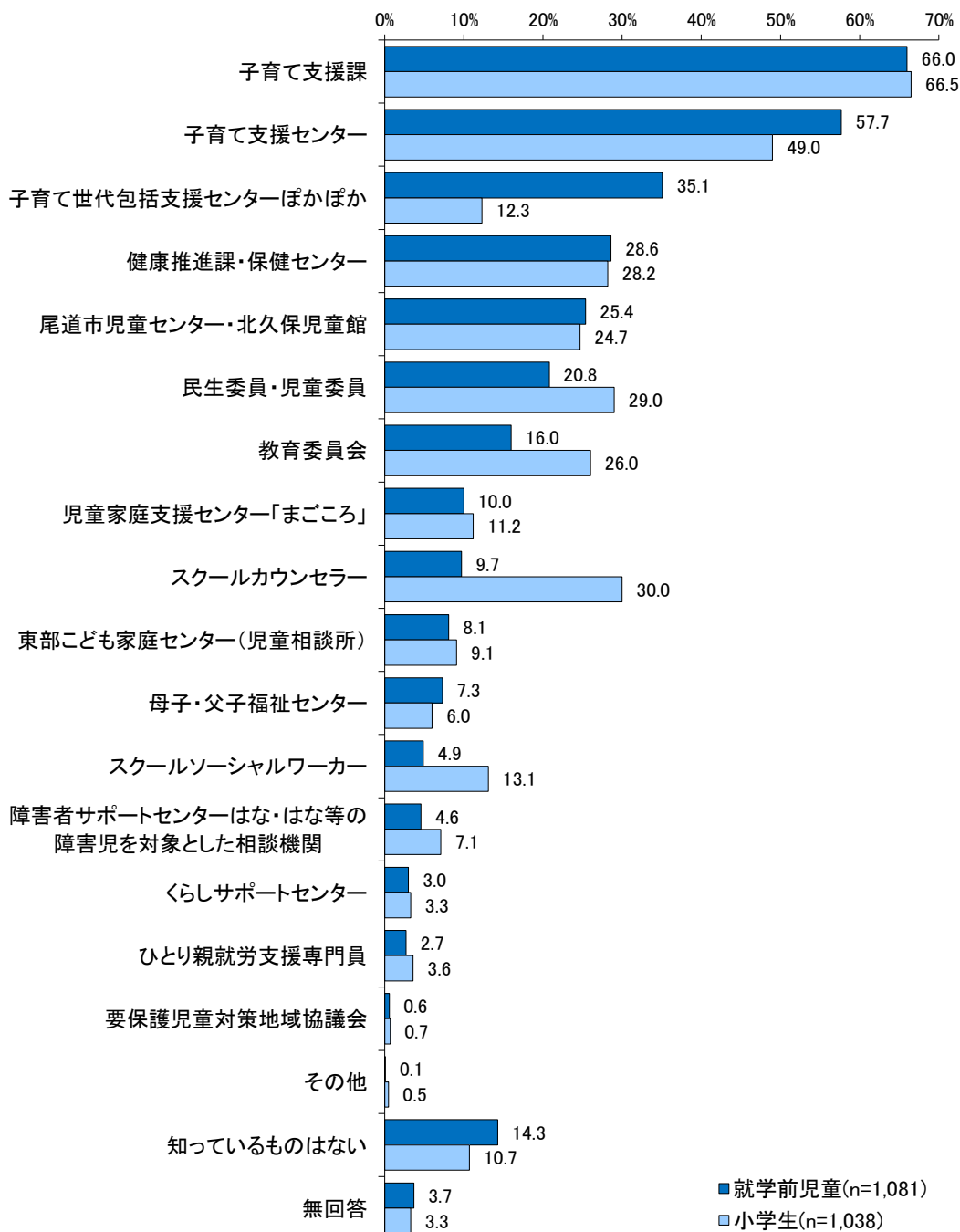
(8) 公的相談機関等の認知度・利用のしやすさ

問 37 就学前児童・問 27 小学生

次にあげる公的相談機関や相談員・電話相談について知っていますか。

【○は知っているものすべて】

【公的相談機関等の認知度】

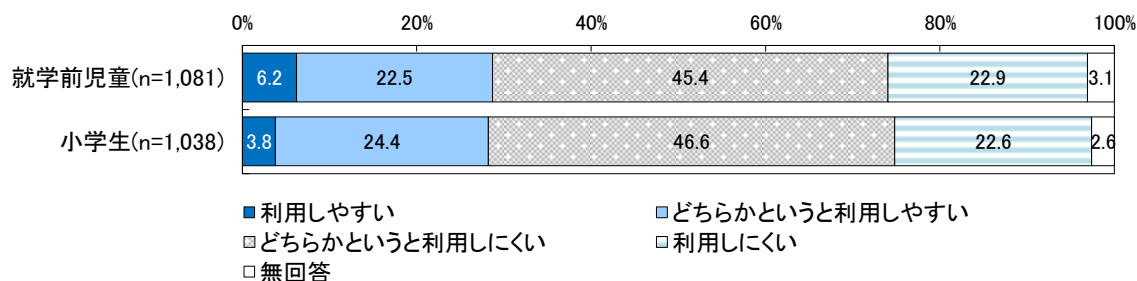


公的相談機関等の認知度について、「子育て支援課」と回答した割合が最も高く、就学前児童で66.0%、小学生で66.5%であり、次いで「子育て支援センター」（就学前児童 57.7%・小学生 49.0%）となっている。

問 38 就学前児童・問 28 小学生

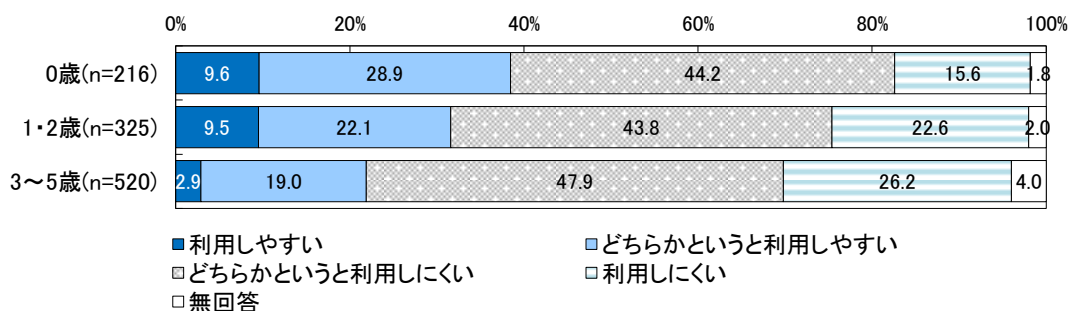
市や県の相談機関などの公的相談窓口、電話相談などの相談体制を利用しやすいと思いますか。【〇は1つ】

【公的な相談窓口の利便性】



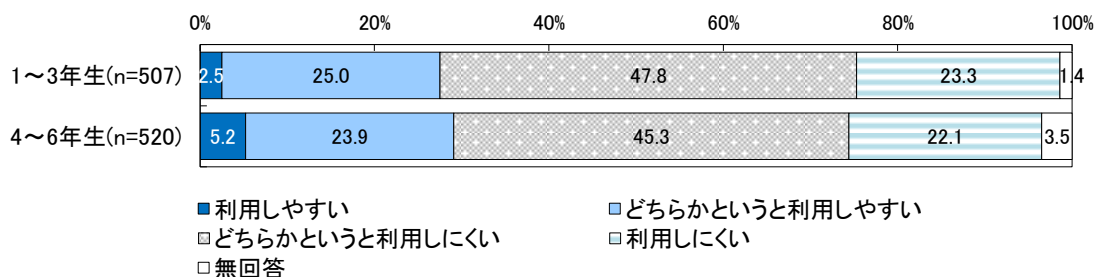
公的な相談窓口の利便性について、『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかという利用しやすい」と回答した割合が就学前児童で 28.7%、小学生では 28.2%、『利用しにくい』（「利用しにくい」＋「どちらかという利用しにくい」と回答した割合が就学前児童で 68.3%、小学生で 69.2%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（就学前児童・年齢別）】



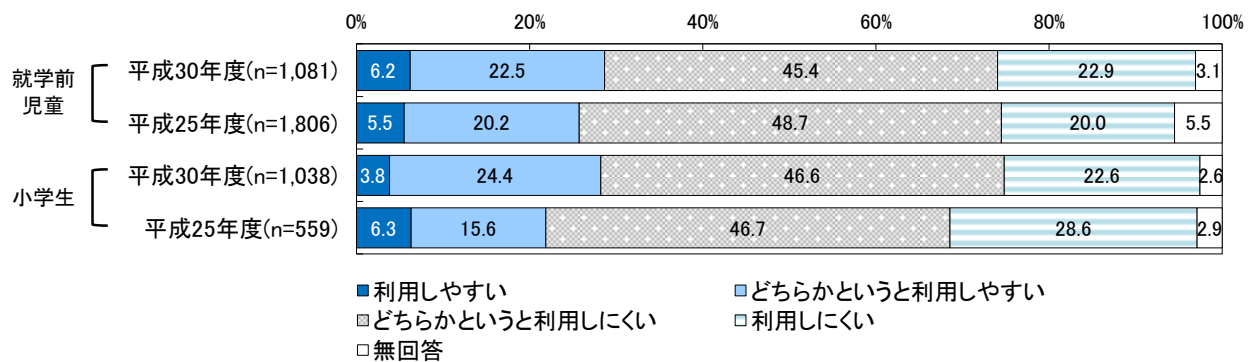
年齢別にみると、『利用しやすい』と回答した割合は年齢が低いほど高くなっている。

【公的な相談窓口の利便性（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【公的な相談窓口の利便性（前回調査結果との比較）】



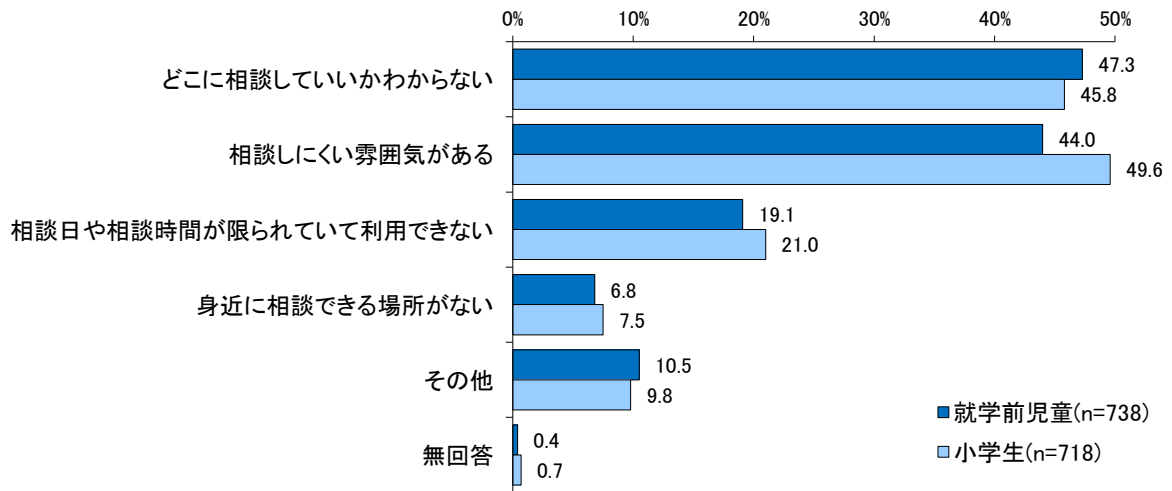
前回調査結果と比較すると、『利用しやすい』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに上昇している。

問 38・問 28 で「3 どちらかという利用しにくい」または「4 利用しにくい」と回答した人のみ回答

問 38-1 就学前児童・問 28-1 小学生

どのような点を利用しにくいと感じますか。【〇は当てはまるものすべて】

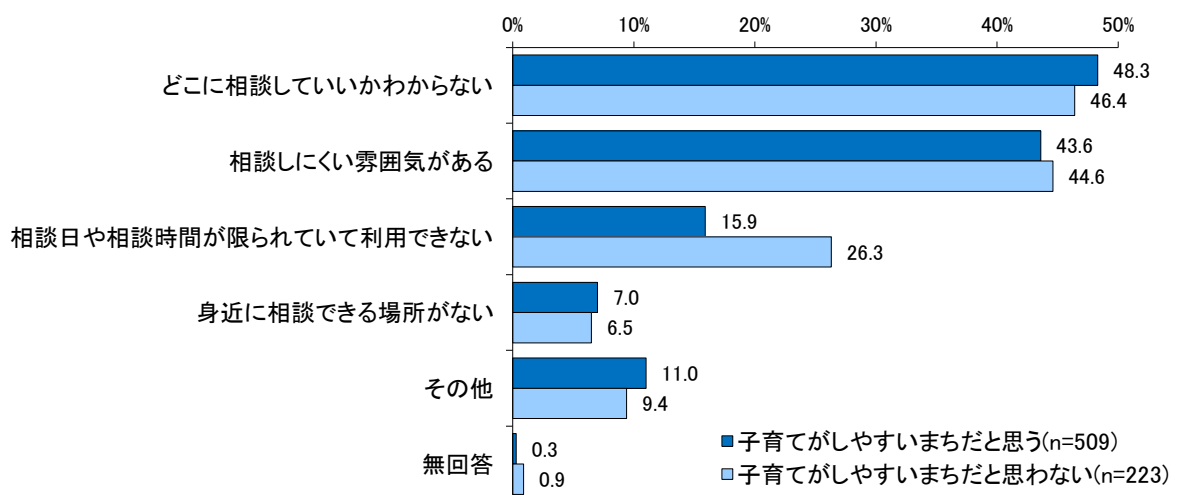
【公的な相談窓口を利用しにくい理由】



公的な相談窓口を利用しにくい理由について、就学前児童では「どこに相談していいかわからない」と回答した割合が 47.3%と最も高く、次いで「相談しにくい雰囲気がある」(44.0%)となっている。

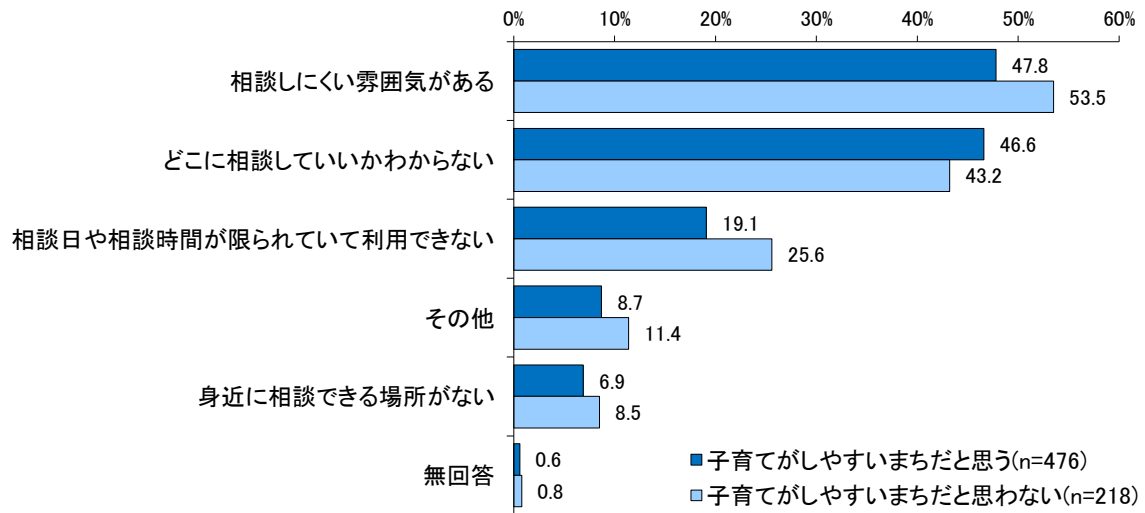
小学生では「相談しにくい雰囲気がある」と回答した割合が 49.6%と最も高く、次いで「どこに相談していいかわからない」(45.8%)となっている。

【公的な相談窓口を利用しにくい理由（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「相談日や相談時間が限られていて利用できない」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【公的な相談窓口を利用しにくい理由（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では「相談しにくい雰囲気がある」、「相談日や相談時間が限られていて利用できない」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

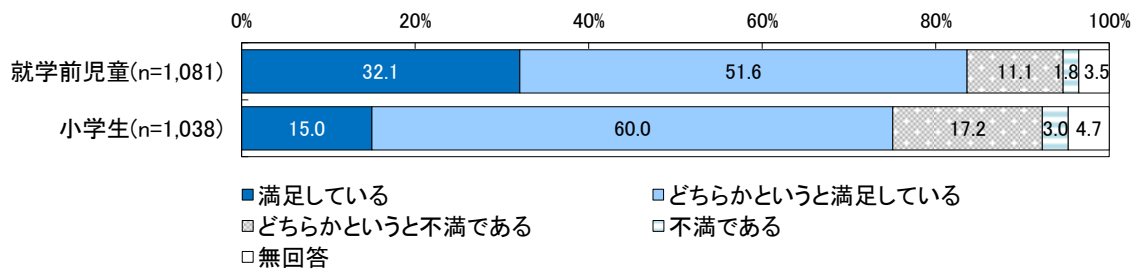
(9) 健康づくり支援の満足度

問 39 就学前児童・問 29 小学生

赤ちゃん訪問や乳幼児相談、健診など（健診や発達に関する相談、予防接種の助成など）、あて名のお子さんへの健康づくり支援や発達支援、医療支援体制に満足していますか。

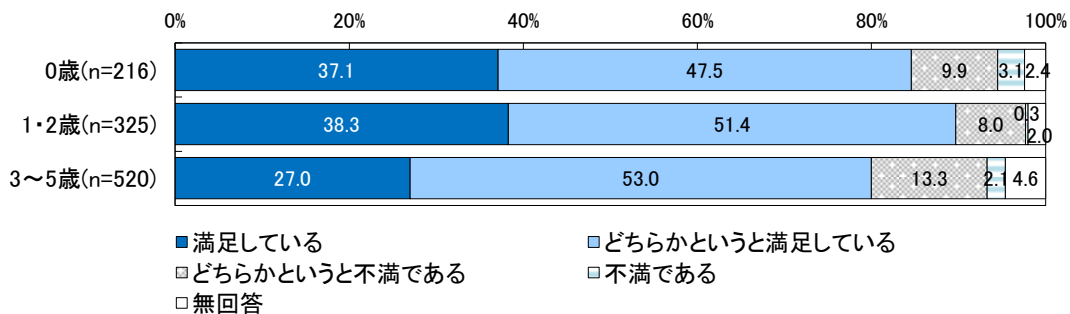
【○は1つ】

【子どもの健康づくり支援の満足度】



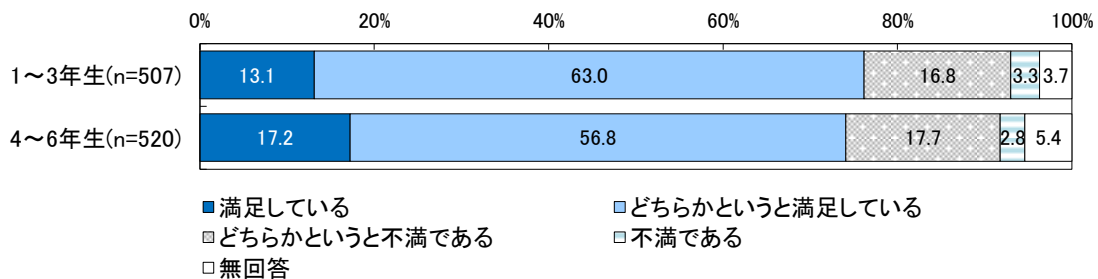
子どもの健康づくり支援の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合が就学前児童で 83.7%、小学生で 75.0%、『不満である』（「不満である」＋「どちらかという不満である」）と回答した割合が就学前児童で 12.9%、小学生で 20.2%となっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（就学前児童・年齢別）】



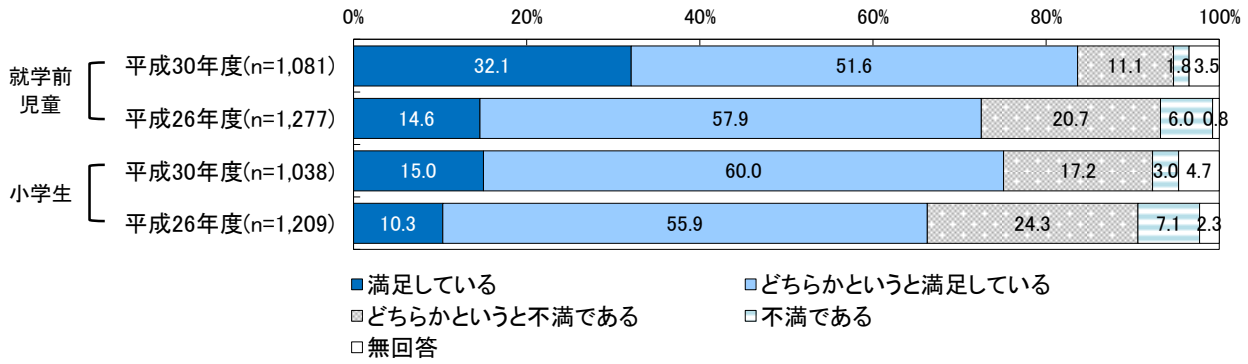
年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【子どもの健康づくり支援の満足度（前回調査結果との比較）】



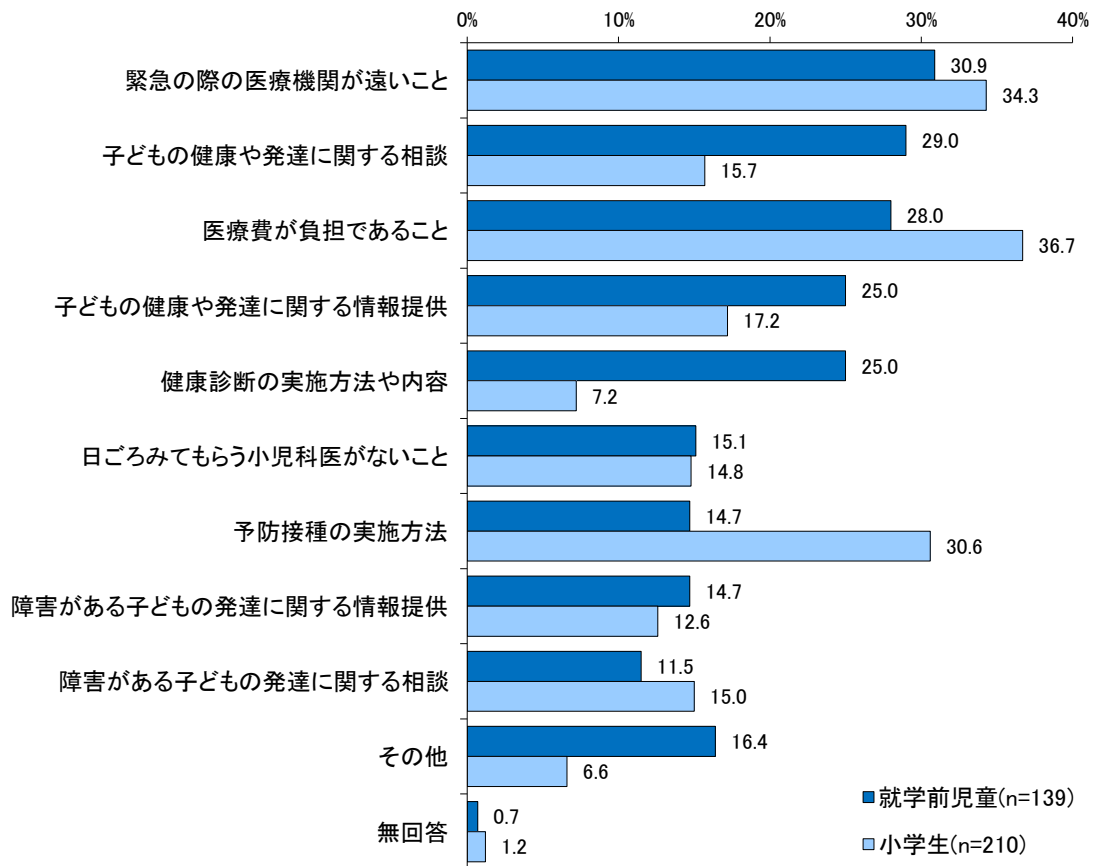
前回調査結果と比較すると、『満足している』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに上昇している。

問 39・問 29 で「3 どちらかという不満である」「4 不満である」と回答した人のみ回答

問 39-1 就学前児童・問 29-1 小学生

健康づくり支援や発達支援、医療体制支援について、どのようなことに不満を感じていますか。【主なもの3つまでに○】

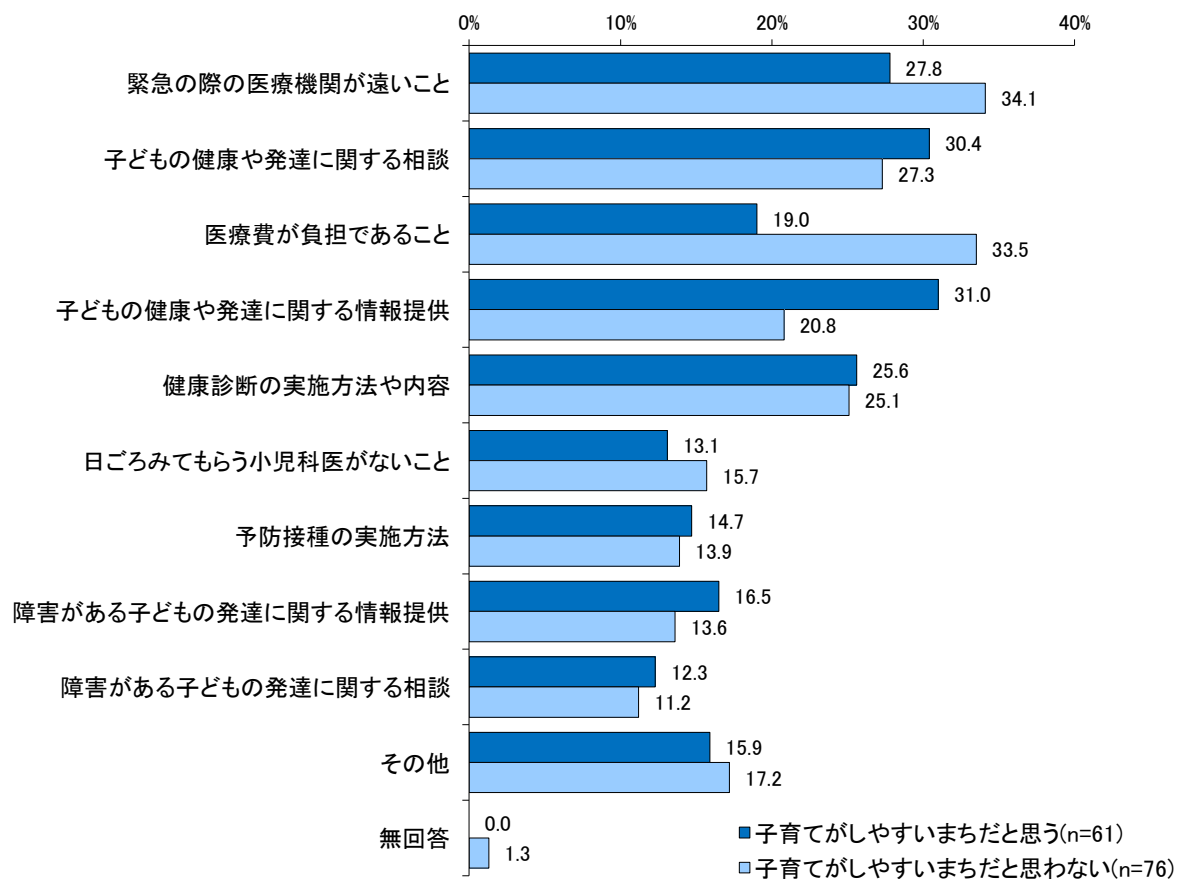
【不満を感じる健康づくり支援の内容】



不満を感じる健康づくり支援の内容について、就学前児童では「緊急の際の医療機関が遠いこと」と回答した割合が 30.9%と最も高く、「子どもの健康や発達に関する相談」(29.0%)、「医療費が負担であること」(28.0%)が続いている。

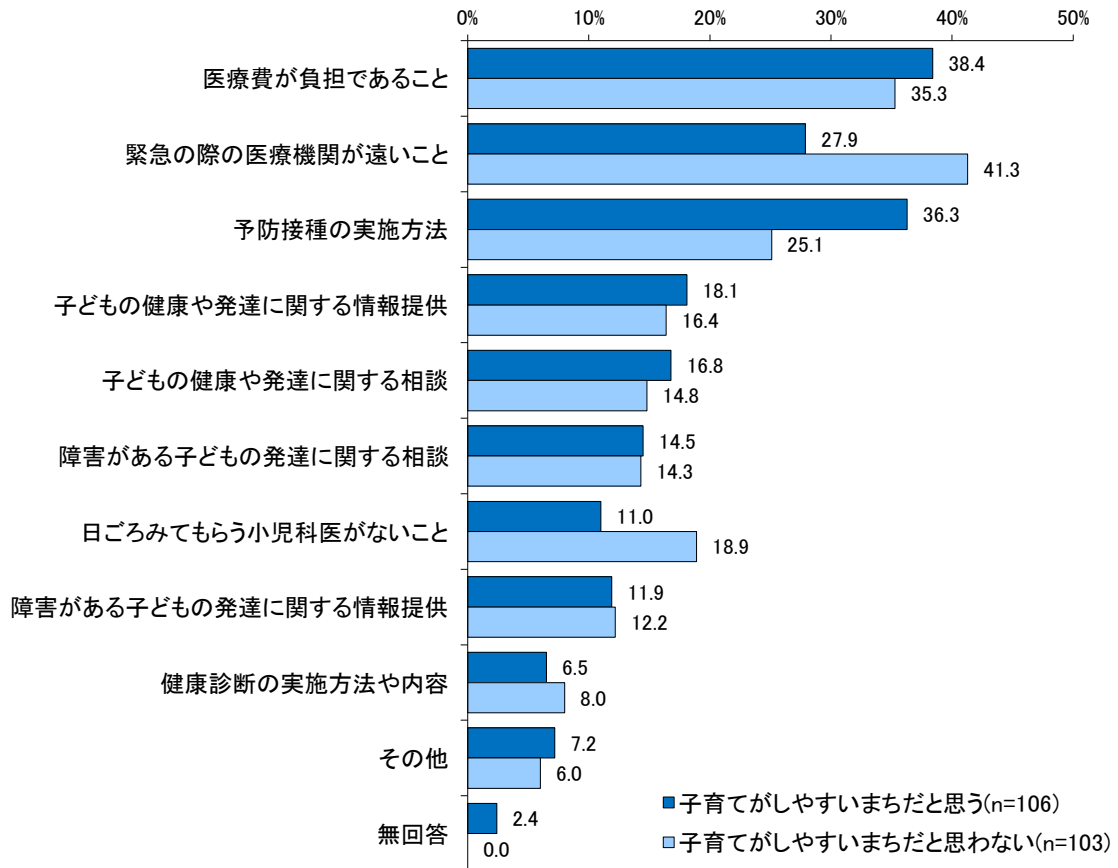
小学生では「医療費が負担であること」と回答した割合が 36.7%と最も高く、「緊急の際の医療機関が遠いこと」(34.3%)、「予防接種の実施方法」(30.6%)が続いている。

【不満を感じる健康づくり支援の内容（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「緊急の際の医療機関が遠いこと」、「医療費が負担であること」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で特に高くなっている。

【不満を感じる健康づくり支援の内容（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

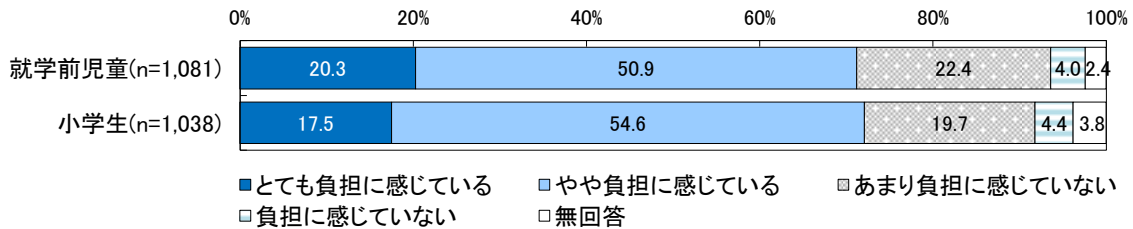


尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では「緊急の際の医療機関が遠いこと」、「日ごろみてもらう小児科医がないこと」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で特に高くなっている。

(10) 出産や子育てにかかる費用の負担の程度

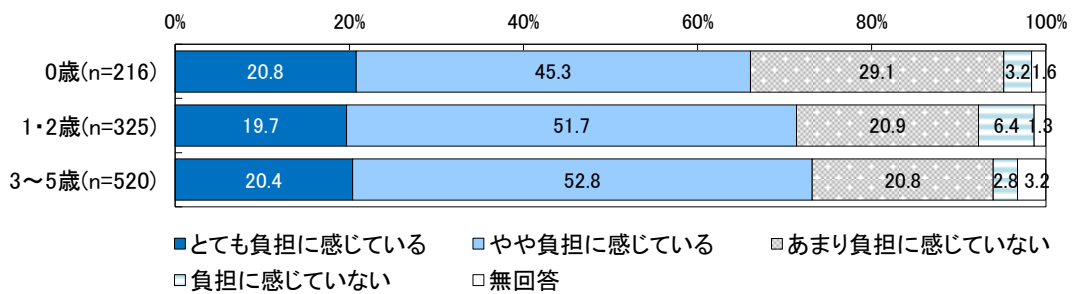
問 40 就学前児童・問 30 小学生
 出産や子育てにかかる費用を負担だと感じますか。【〇は1つ】

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度】



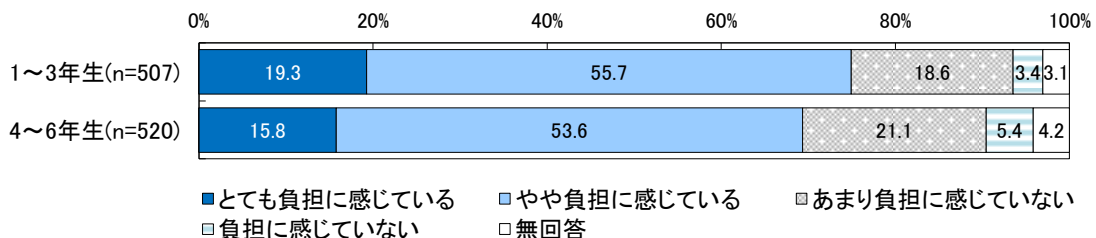
出産や子育てにかかる費用の負担の程度について、『負担に感じている』（「とても負担に感じている」＋「やや負担に感じている」）と回答した割合が就学前児童で71.2%、小学生で72.1%、『負担に感じている』（「負担に感じている」＋「あまり負担に感じている」）と回答した割合が就学前児童で26.4%、小学生で24.1%となっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（就学前児童・年齢別）】



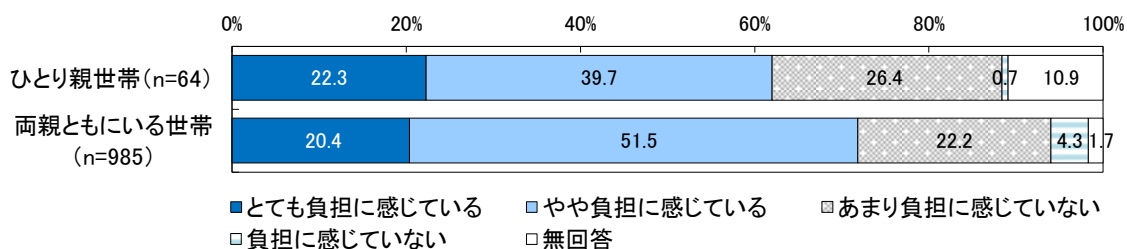
年齢別にみると、『負担に感じている』と回答した割合は1・2歳、3～5歳で高くなっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（小学生・学年別）】

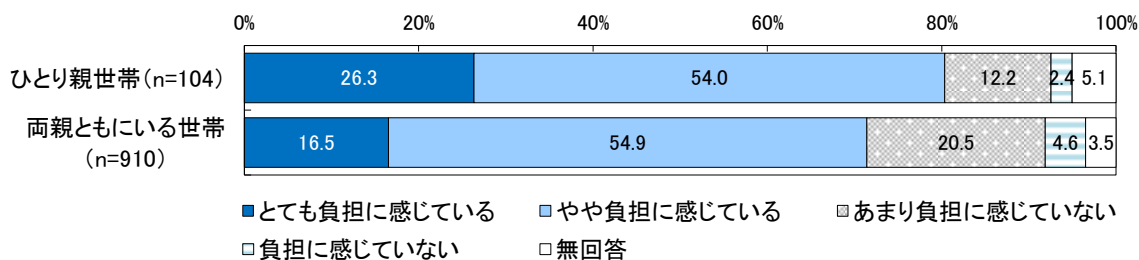


学年別にみると、『負担に感じている』と回答した割合は1～3年生が4～6年生よりも高くなっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（就学前児童・世帯状況別）】

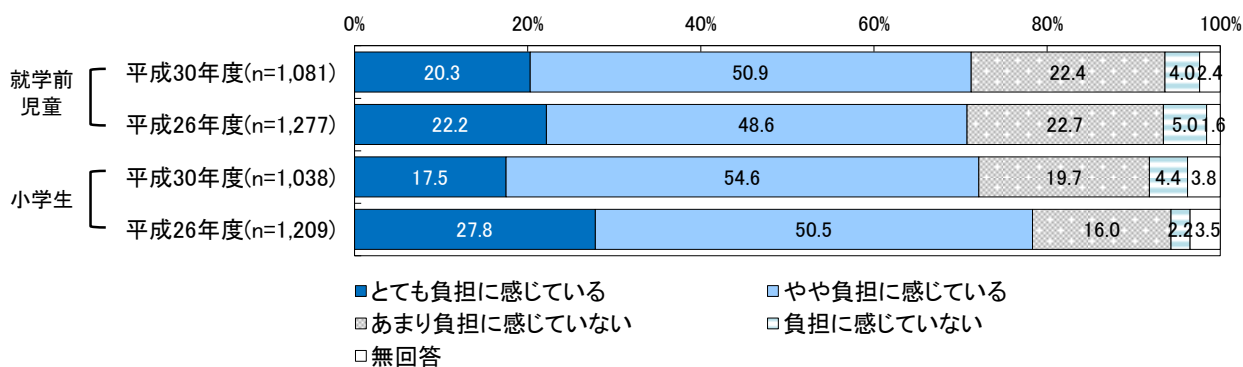


【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（小学生・世帯状況別）】



世帯状況別にみると、「とても負担に感じている」と回答した割合は、小学生のひとり親世帯で高くなっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（前回調査結果との比較）】

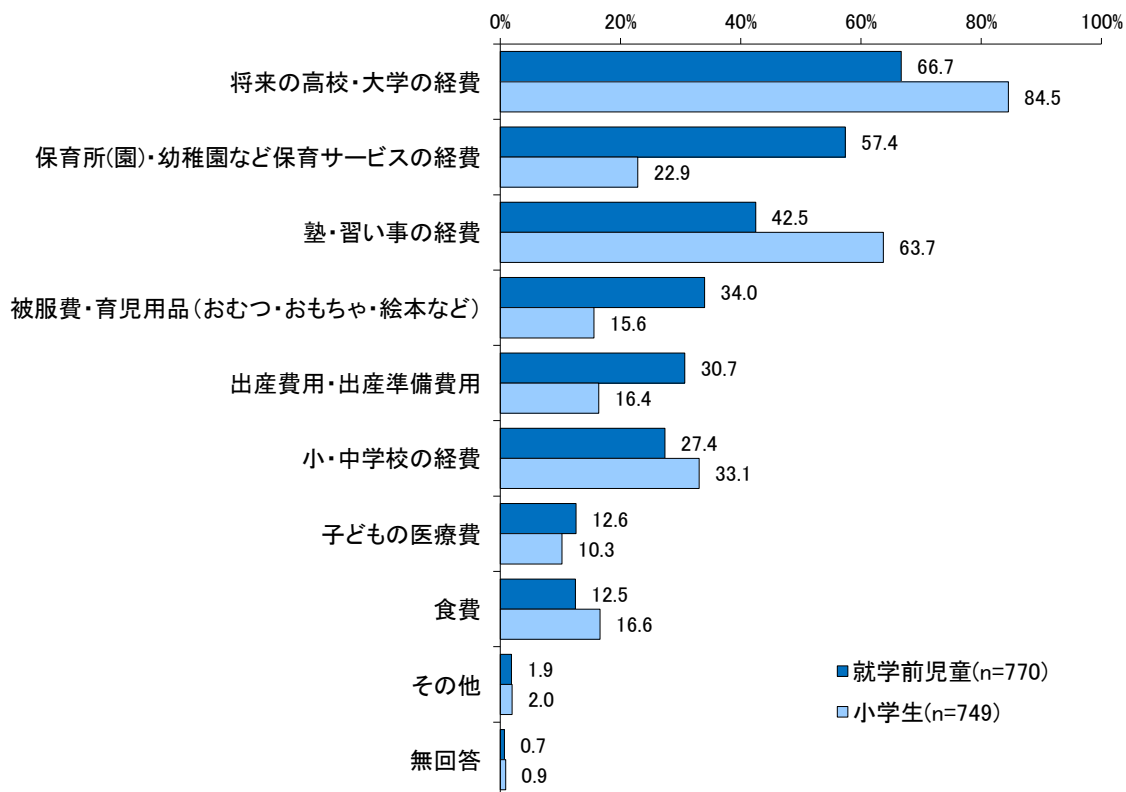


前回調査結果と比較すると、『負担に感じている』と回答した割合は小学生で低下している。

問 40-1 就学前児童・問 30-1 小学生

出産や子育てにかかる費用のうち、何を負担だと感じていますか。【主なもの3つまでに○】

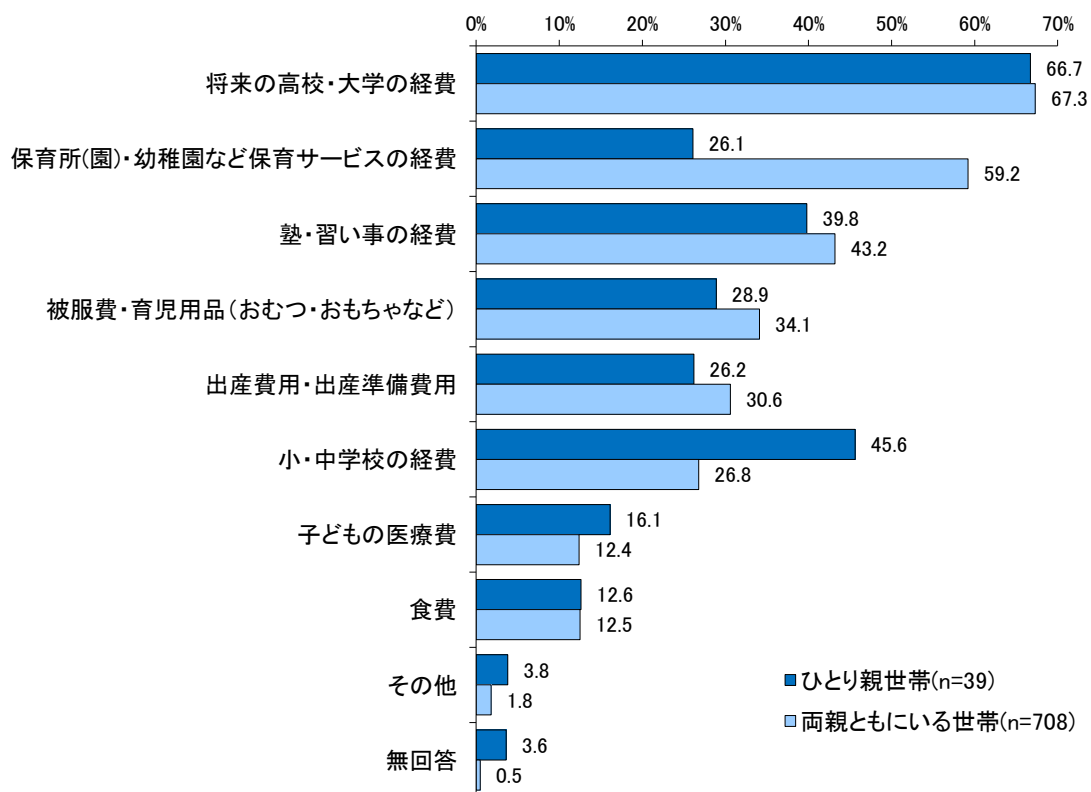
【出産や子育てにかかる費用で負担を感じるもの】



出産や子育てにかかる費用で負担を感じるものについて、就学前児童では「将来の高校・大学の経費」と回答した割合が 66.7%と最も高く、次いで「保育所(園)・幼稚園など保育サービスの経費」(57.4%)となっている。

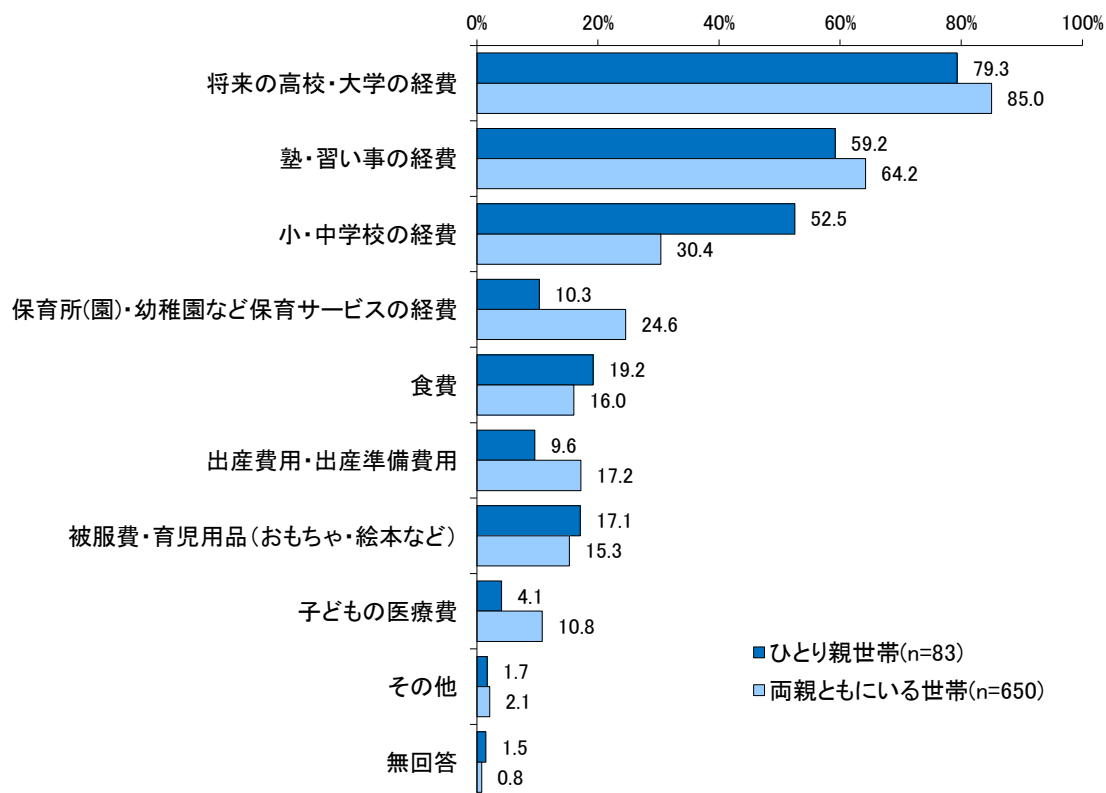
小学生では「将来の高校・大学の経費」と回答した割合が 84.5%と最も高く、次いで「塾・習い事の経費」(63.7%)となっている。

【出産や子育てにかかる費用で負担を感じるもの（就学前児童・世帯状況別）】



世帯状況別にみると、就学前児童では「保育所（園）・幼稚園など保育サービスの経費」と回答した割合は両親ともにいる世帯がひとり親世帯よりも高く、「小・中学校の経費」と回答した割合はひとり親世帯が両親ともにいる世帯よりも高くなっている。

【出産や子育てにかかる費用で負担を感じるもの（小学生・世帯状況別）】



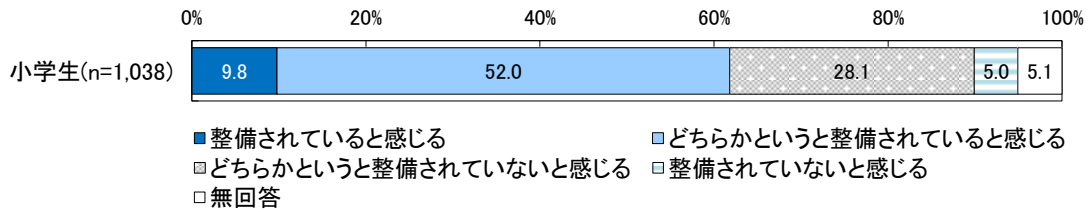
世帯状況別にみると、小学生では「小・中学校の経費」と回答した割合はひとり親世帯が両親ともにいる世帯よりも高く、「保育所（園）・幼稚園など保育サービスの経費」と回答した割合は両親ともにいる世帯がひとり親世帯よりも高くなっている。

(11) 子どもの成長にとって良好な情報環境の整備状況

問 31 小学生

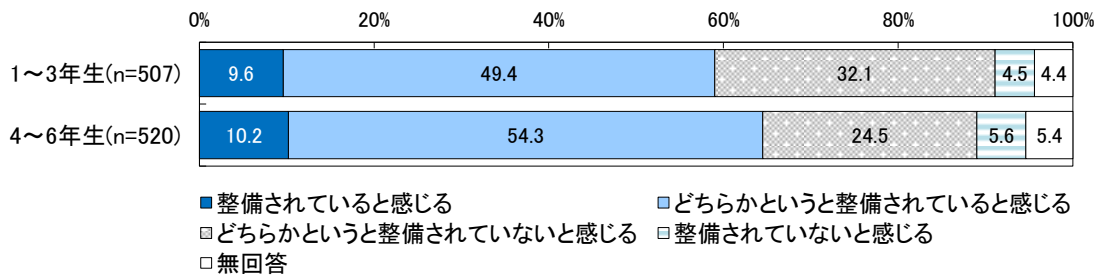
子どもの成長にとって良好な情報環境が整備されていると感じますか。【〇は1つ】

【子どもの成長に良好な情報環境の整備状況】



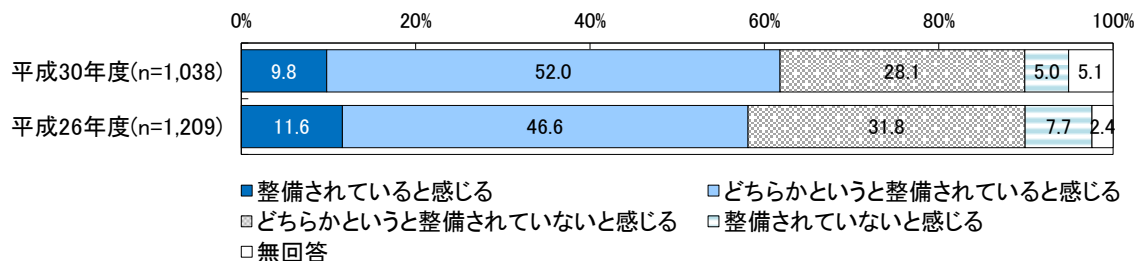
子どもの成長に良好な情報環境の整備状況について、『整備されていると感じる』（「整備されていると感じる」+「どちらかという整備されていると感じる」）と回答した割合が 61.8%、『整備されていないと感じる』（「整備されていないと感じる」+「どちらかという整備されていないと感じる」）と回答した割合が 33.1%となっている。

【子どもの成長に良好な情報環境の整備状況（小学生・学年別）】



学年別にみると、『整備されていると感じる』と回答した割合は4～6年生が1～3年生よりも高くなっている。

【子どもの成長に良好な情報環境の整備状況（小学生・前回調査結果との比較）】



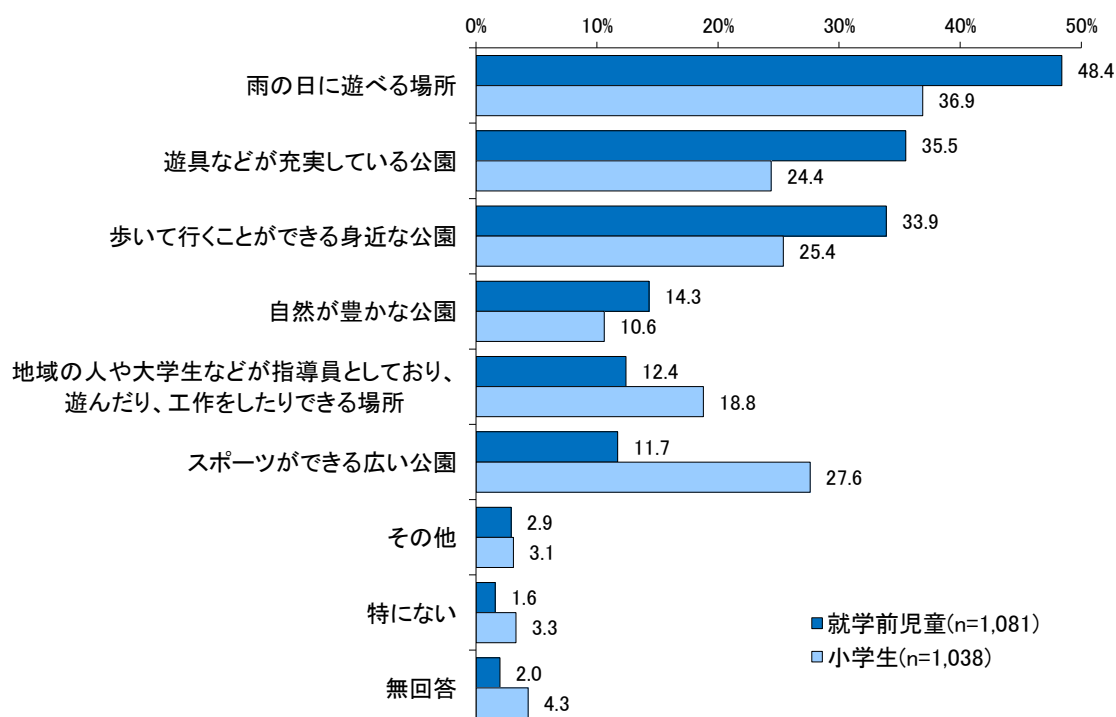
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

(12) 子どもの遊び場について

問 41 就学前児童・問 32 小学生

子どもの遊び場について、新たにどのような場所があったらよいと思いますか。【〇は1つ】

【新たにあったらよいと思う子どもの遊び場】



新たにあったらよいと思う子どもの遊び場について、就学前児童では「雨の日に遊べる場所」と回答した割合が就学前児童で48.4%と最も高く、「遊具などが充実している公園」(35.5%)、「歩いて行くことができる身近な公園」(33.9%)が続いている。

小学生では「雨の日に遊べる場所」と回答した割合が36.9%と最も高く、「スポーツができる広い公園」(27.6%)、「歩いて行くことができる身近な公園」(25.4%)、「遊具などが充実している公園」(24.4%)が続いている。

【新たにあつたらよいと思う子どもの遊び場（就学前児童・居住地域別）】

	回答数	雨の日に遊べる場所	遊具などが充実している公園	歩いて行くことができる身近な公園	自然が豊かな公園	地域の人や大学生などが指導員としており、遊んだり、工作をしたりできる場所	スポーツができる広い公園	その他	特になし	無回答
尾道地域	672	52.2%	32.3%	32.1%	15.7%	14.1%	11.4%	2.4%	1.7%	2.2%
御調地域	46	50.2%	33.5%	25.5%	7.0%	13.5%	11.6%	4.1%	1.6%	1.6%
向島地域	170	45.6%	40.6%	33.4%	13.6%	11.4%	14.5%	6.2%	1.4%	1.0%
因島地域	116	37.0%	44.6%	46.0%	10.4%	7.6%	9.7%	0.8%	0.8%	2.7%
生口島地域	48	29.0%	51.2%	43.5%	11.8%	8.9%	13.3%	1.8%	2.2%	-

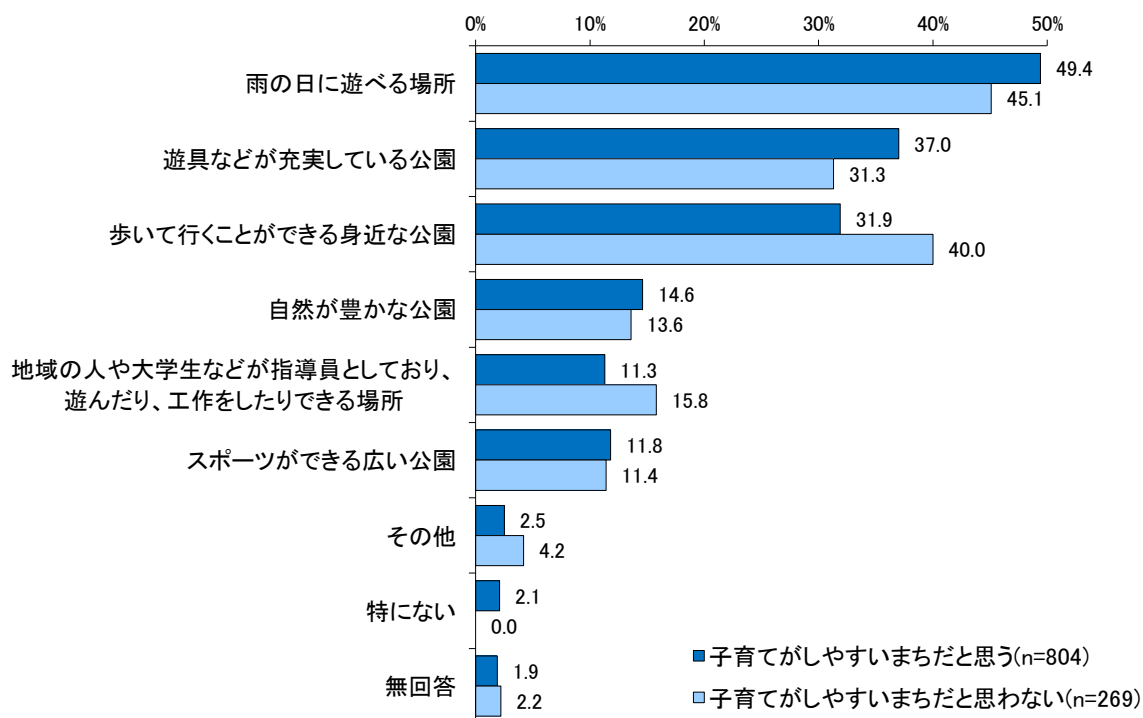
居住地域別にみると、就学前児童では「遊具などが充実している公園」と回答した割合は生口島地域で、「歩いて行くことができる身近な公園」と回答した割合は因島地域、生口島地域で高くなっている。

【新たにあつたらよいと思う子どもの遊び場（小学生・居住地域別）】

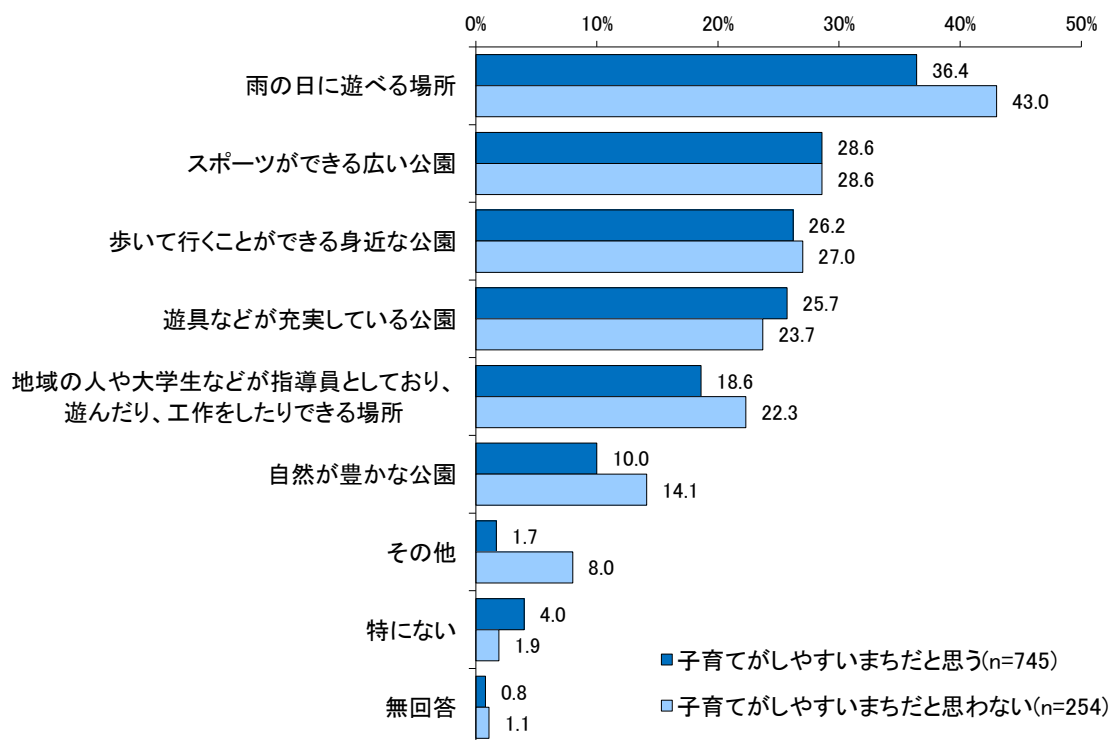
	回答数	雨の日に遊べる場所	遊具などが充実している公園	歩いて行くことができる身近な公園	自然が豊かな公園	地域の人や大学生などが指導員としており、遊んだり、工作をしたりできる場所	スポーツができる広い公園	その他	特になし	無回答
尾道地域	627	38.2%	19.1%	22.9%	10.3%	21.6%	26.2%	3.5%	3.7%	4.6%
御調地域	45	45.2%	19.6%	14.0%	6.4%	23.6%	26.0%	2.4%	2.8%	5.2%
向島地域	158	37.1%	30.2%	23.5%	9.0%	13.0%	32.0%	4.0%	3.1%	1.7%
因島地域	123	32.8%	37.7%	37.0%	12.8%	12.6%	30.3%	1.7%	1.7%	5.7%
生口島地域	52	20.1%	40.6%	36.8%	13.3%	14.6%	17.6%	-	2.4%	3.8%

居住地域別にみると、小学生では、「雨の日に遊べる場所」と回答した割合は御調地域で、「遊具などが充実している公園」、「歩いて行くことができる身近な公園」と回答した割合は因島地域、生口島地域で高くなっている。

【新たにあったらよいと思う子どもの遊び場（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



【新たにあったらよいと思う子どもの遊び場（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「歩いて行くことができる身近な公園」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で特に高くなっている。

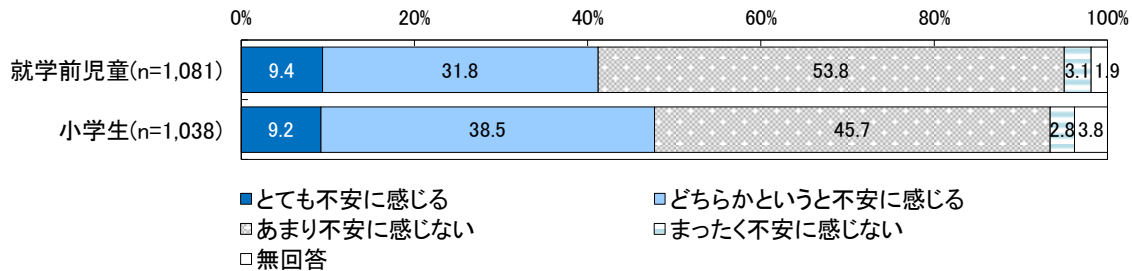
小学生では、「雨の日に遊べる場所」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で特に高くなっている。

(13) 地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度

問 42 就学前児童・問 33 小学生

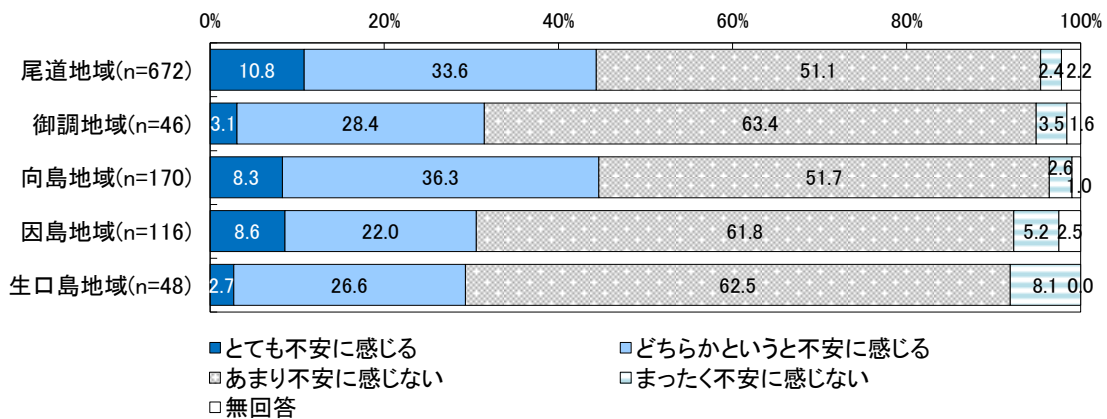
あて名のお子さんが住んでいる地域は、子どもが被害となる事故や犯罪への不安を感じますか。【○は1つ】

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度】



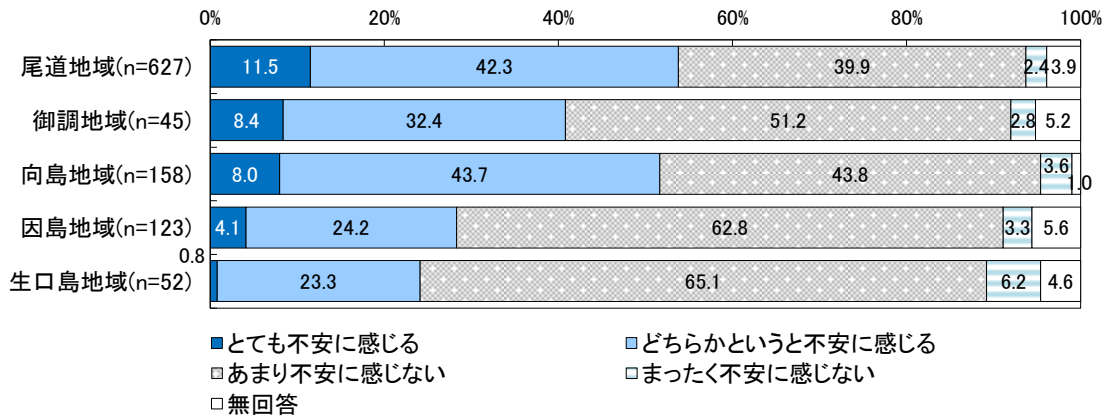
地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度について、『不安を感じる』（「とても不安を感じる」＋「どちらかという不安を感じる」）と回答した割合が就学前児童で41.2%、小学生で47.7%、『不安に感じない』（「まったく不安に感じない」＋「あまり不安に感じない」）と回答した割合が就学前児童で56.9%、小学生で48.5%となっている。

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度（就学前児童・居住地域別）】



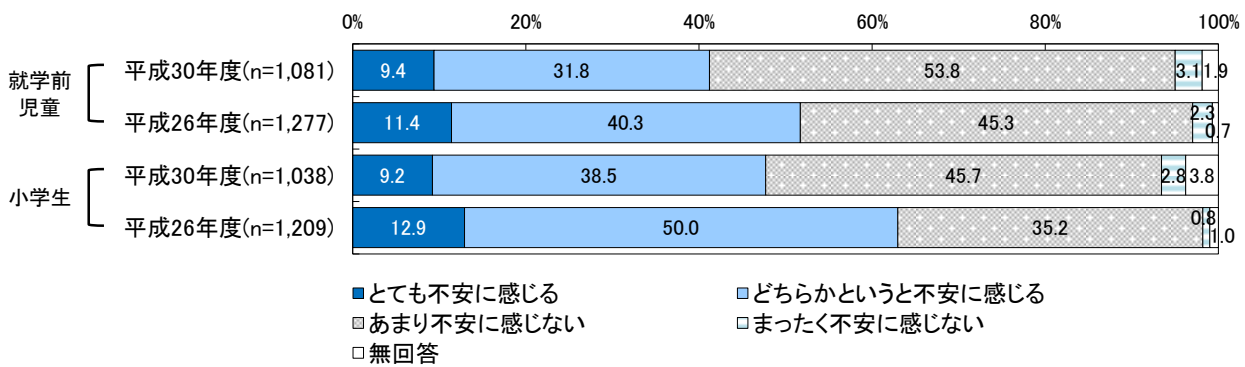
居住地域別にみると、就学前児童では『不安を感じる』と回答した割合は尾道地域、向島地域で高くなっている。

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度（小学生・居住地域別）】



居住地域別にみると、小学生では『不安を感じる』と回答した割合は尾道地域、向島地域で高くなっている。

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度（前回調査結果との比較）】



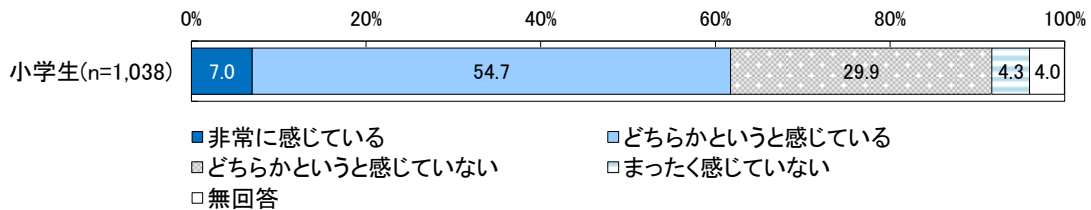
前回調査結果と比較すると、『不安を感じる』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに低下している。

(14) 子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか

問 34 小学生

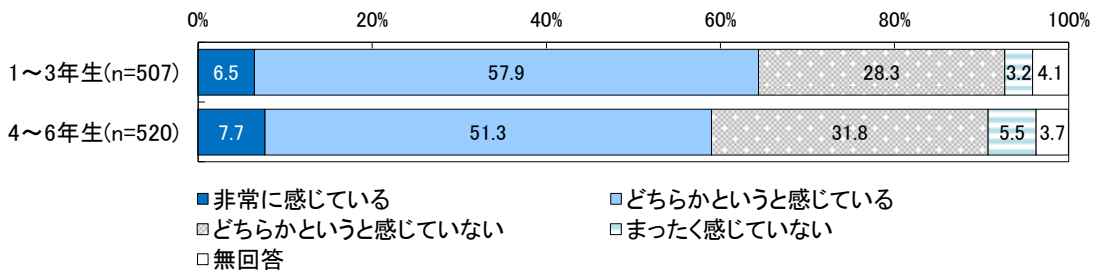
子どもが自然・社会・文化などのいろいろな経験をできる地域だと感じますか。【〇は1つ】

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか】



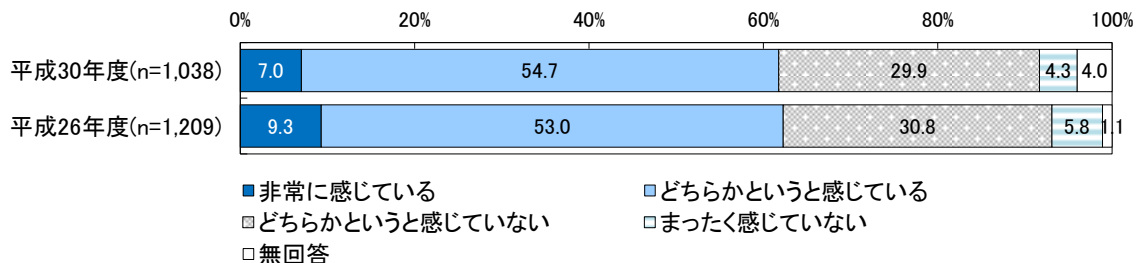
子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるかについて、『感じている』（「非常に感じている」＋「どちらかというと感じている」）と回答した割合が61.7%、『感じていない』（「まったく感じていない」＋「どちらかというと感じていない」）と回答した割合が34.2%となっている。

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか（小学生・学年別）】



学年別にみると、『感じている』と回答した割合は1～3年生が4～6年生よりも高くなっている。

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか（小学生・前回調査結果との比較）】



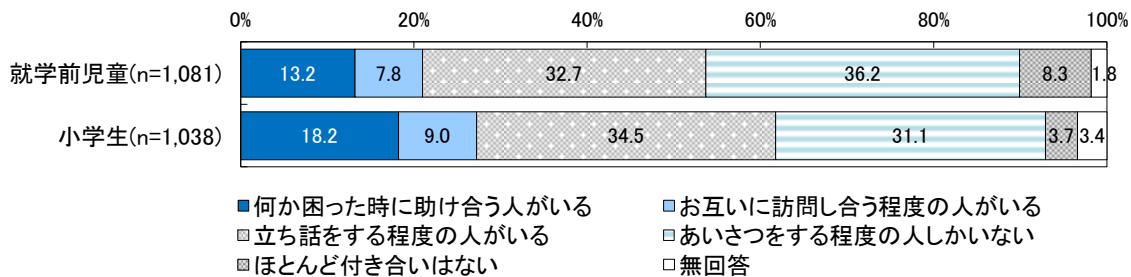
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

(15) 近所付き合いの程度

問 43 就学前児童・問 35 小学生

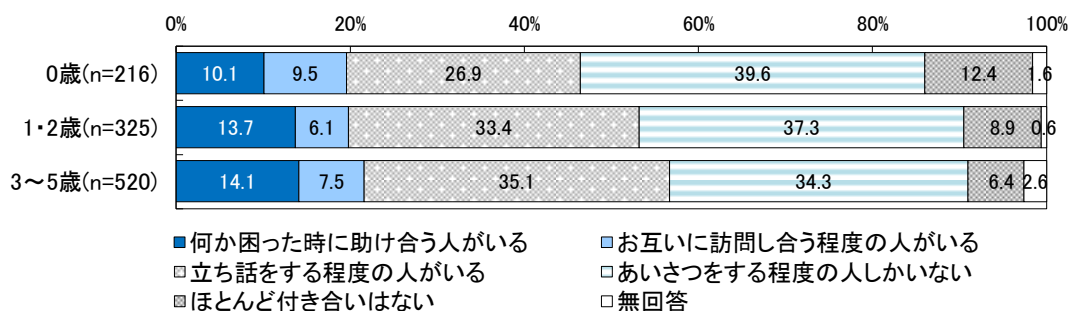
あて名のお子さんのご家族は、近所の人とどの程度付き合いがありますか。【〇は1つ】

【近所付き合いの程度】



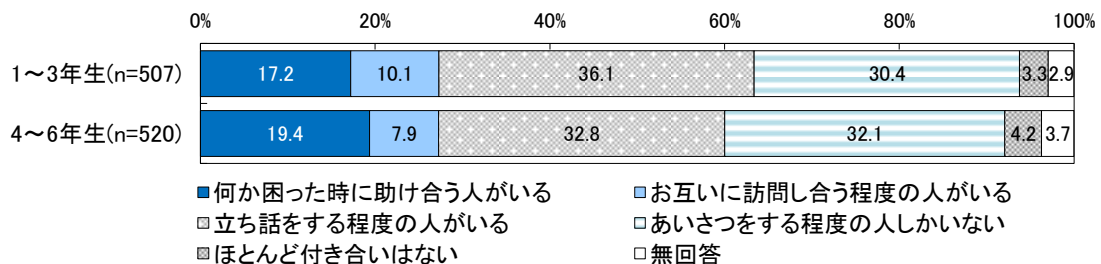
近所付き合いの程度について、「何か困った時に助け合う人がいる」と回答した割合が就学前児童で13.2%、小学生で18.2%、「お互いに訪問し合う程度の人がある」と回答した割合が就学前児童で7.8%、小学生で9.0%であり、『深い付き合いがある』（「何か困った時に助け合う人がいる」＋「お互いに訪問し合う程度の人がある」）家庭の割合は小学生が就学前児童よりも高くなっている。

【近所付き合いの程度（就学前児童・年齢別）】



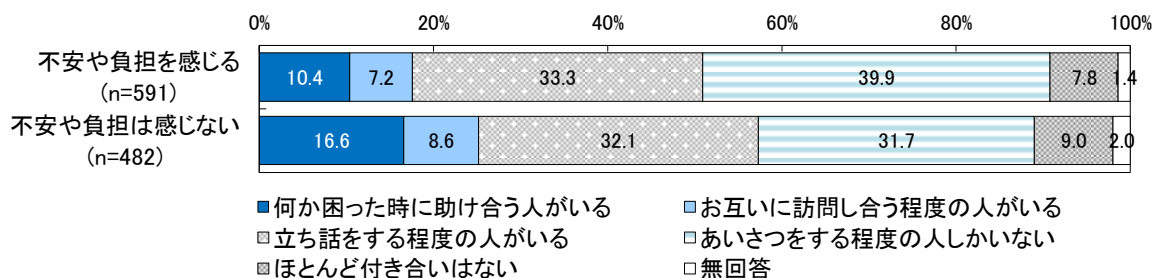
年齢別にみると、『深い付き合いがある』家庭の割合に大きな差はみられない。

【近所付き合いの程度（小学生・学年別）】

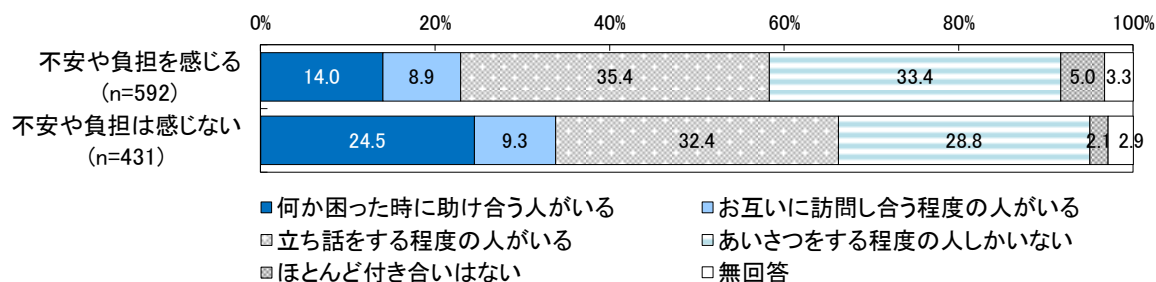


学年別にみると、『深い付き合いがある』家庭の割合に大きな差はみられない。

【近所付き合いの程度（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



【近所付き合いの程度（小学生・子育てに関する不安や負担の程度別）】

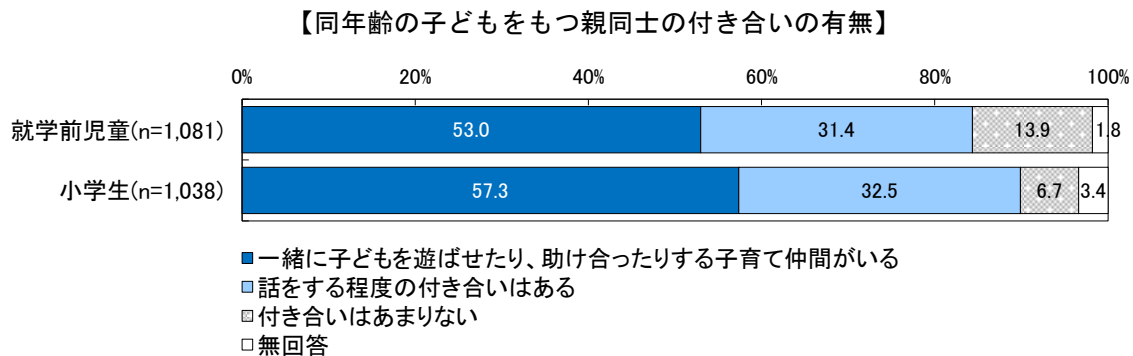


子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童、小学生ともに『深い付き合いがある』家庭の割合は不安や負担を感じる層で低くなっている。

(16) 同年齢の子どもをもつ親同士の付き合いの有無

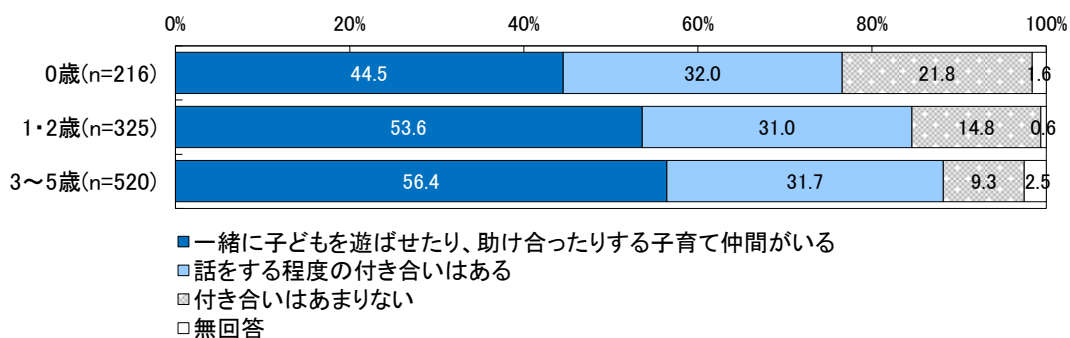
問 44 就学前児童・問 36 小学生

あなたは同じぐらいの年齢の子どもをもつ親同士の付き合いがありますか。【○は1つ】



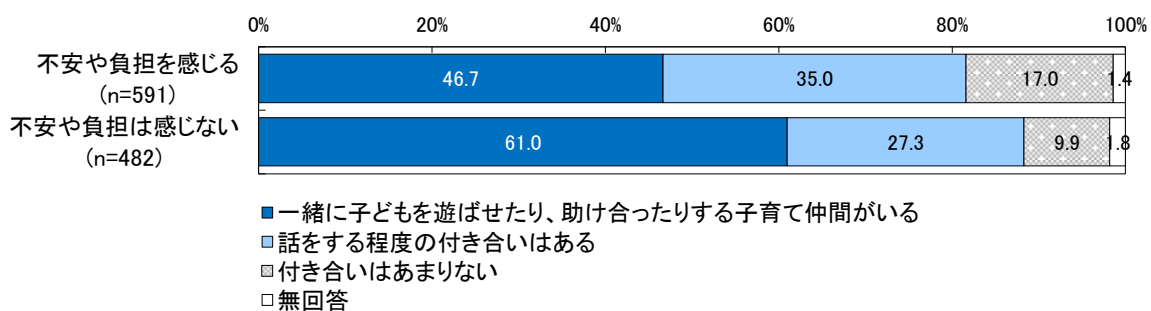
同年齢の子どもをもつ親同士の付き合いの有無について、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合が就学前児童で 53.0%、小学生で 57.3%、「話をする程度の付き合いはある」と回答した割合が就学前児童で 31.4%、小学生で 32.5% となっている。

【同年齢の子どもをもつ親同士の付き合いの有無（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合は1・2歳、3～5歳で高くなっている。

【同年齢の子どもをもつ親同士の付き合いの有無（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



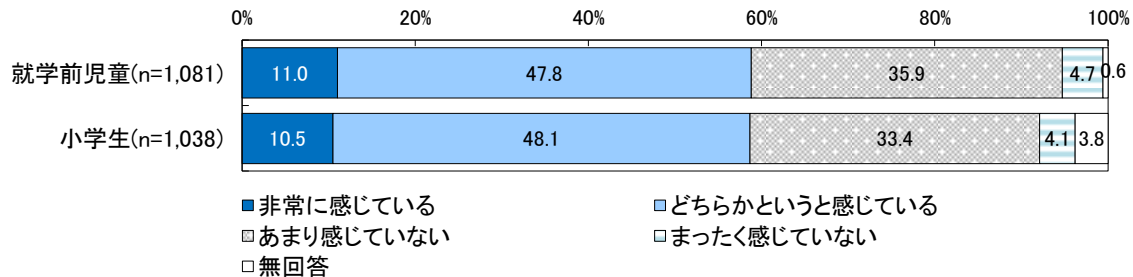
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合は不安や負担を感じる層で低くなっている。

(17) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方

問 45 就学前児童・問 37 小学生

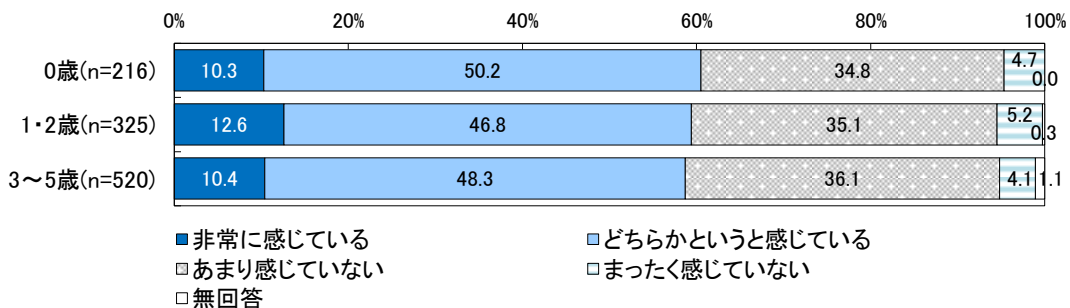
自分自身の子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。【〇は1つ】

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方】



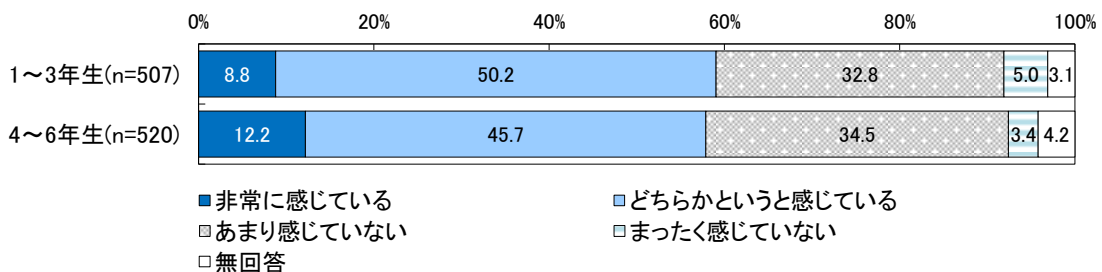
地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、『感じている』（「非常に感じている」＋「どちらかというと感じている」）と回答した割合が就学前児童で 58.8%、小学生で 58.6%、『感じていない』（「まったく感じていない」＋「あまり感じていない」）と回答した割合が就学前児童で 40.6%、小学生で 37.5%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（就学前児童・年齢別）】



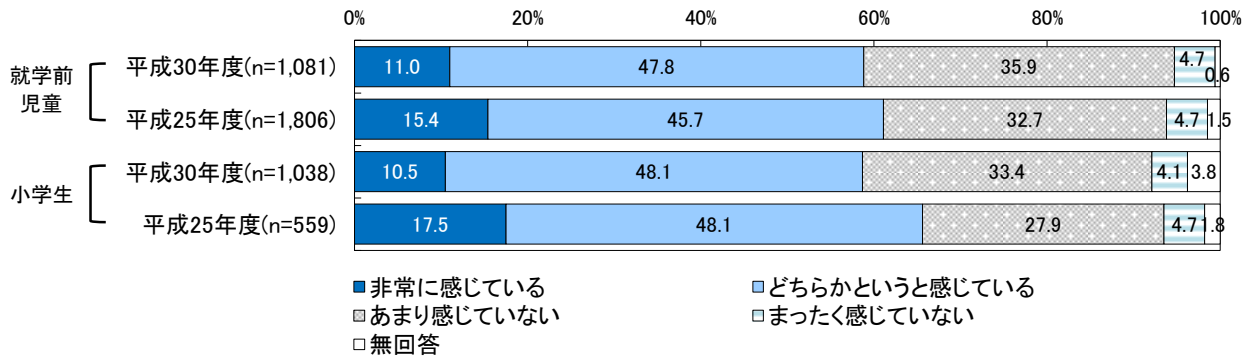
年齢別にみると、大きな差はみられない。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（前回調査結果との比較）】



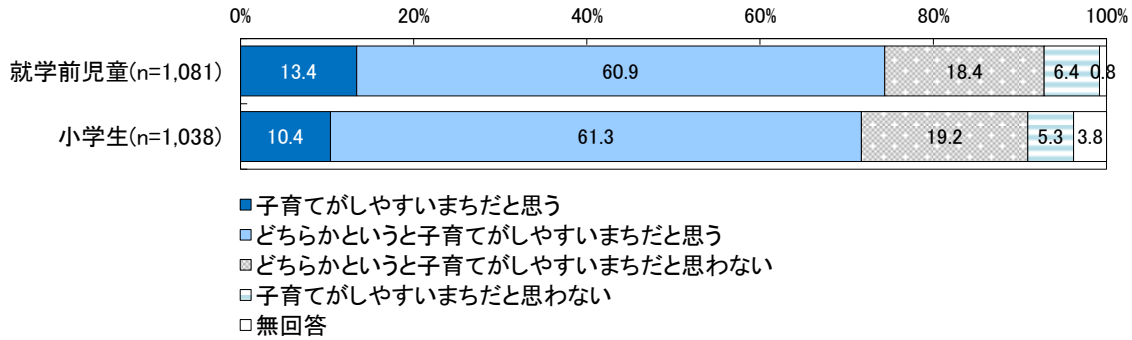
前回調査結果と比較すると、「非常に感じている」と回答した割合が低下している。

(18) 尾道市の子育てのしやすさの評価

問 46 就学前児童・問 38 小学生

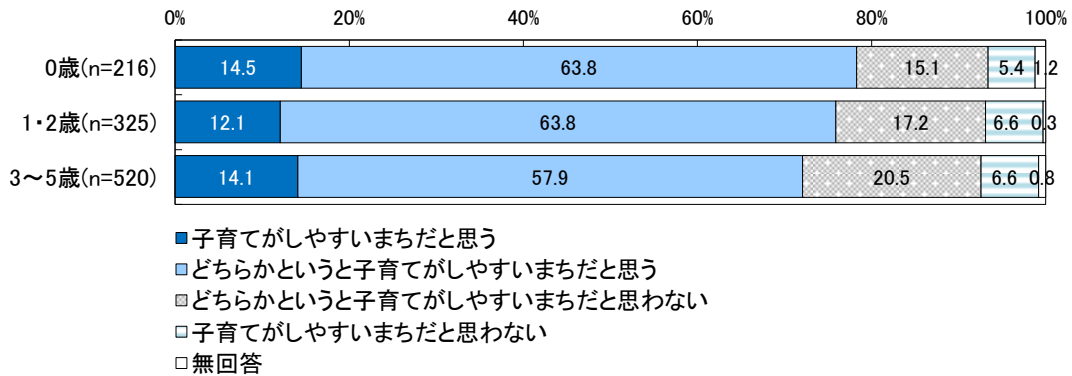
尾道市は子育てがしやすいまちだと思いますか。【〇は1つ】

【尾道市の子育てのしやすさの評価】



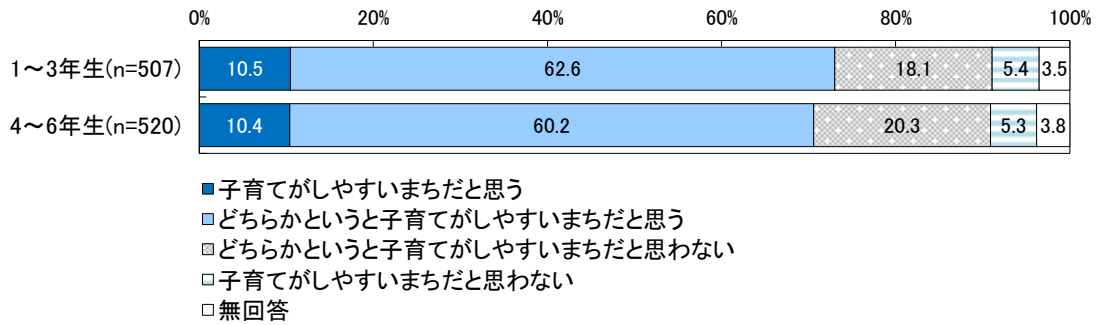
尾道市の子育てのしやすさの評価について、『子育てがしやすいまちだと思う』（「子育てがしやすいまちだと思う」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思う」）と回答した割合が就学前児童で74.3%、小学生で71.7%、『子育てがしやすいまちだと思わない』（「子育てがしやすいまちだと思わない」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思わない」）と回答した割合が就学前児童で24.8%、小学生で24.5%となっている。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（就学前児童・年齢別）】



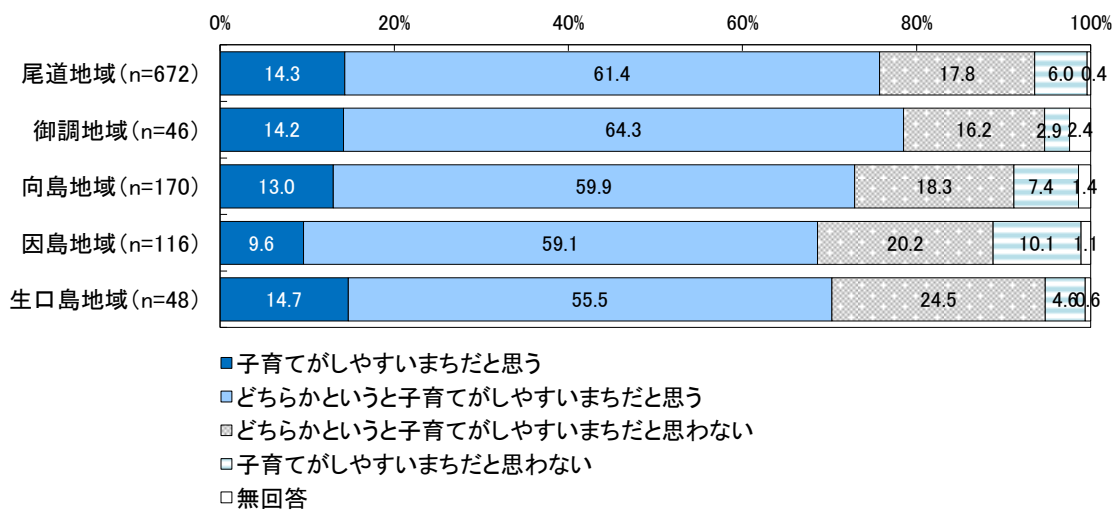
年齢別にみると、大きな差はみられない。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（小学生・学年別）】

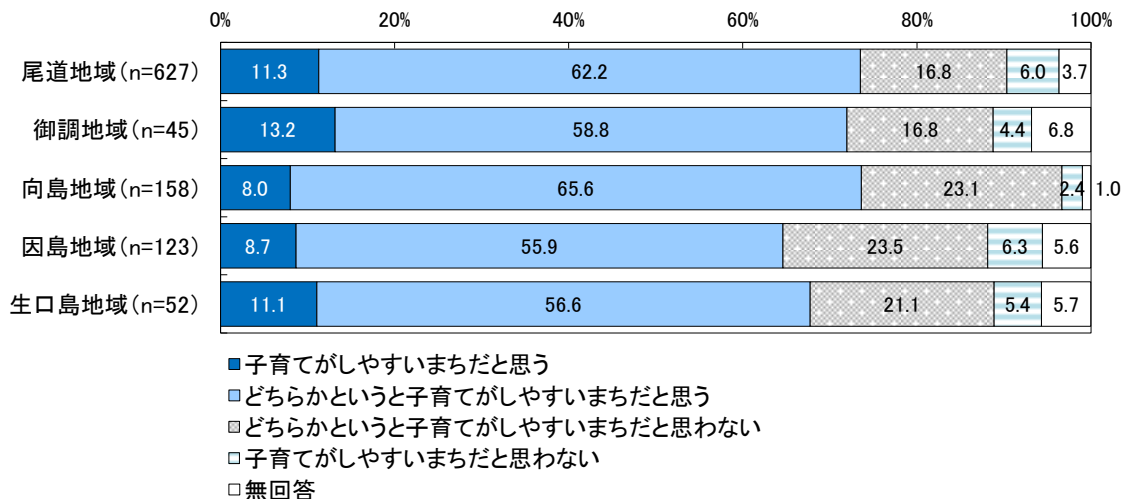


学年別にみると、大きな差はみられない。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（就学前児童・居住地域別）】



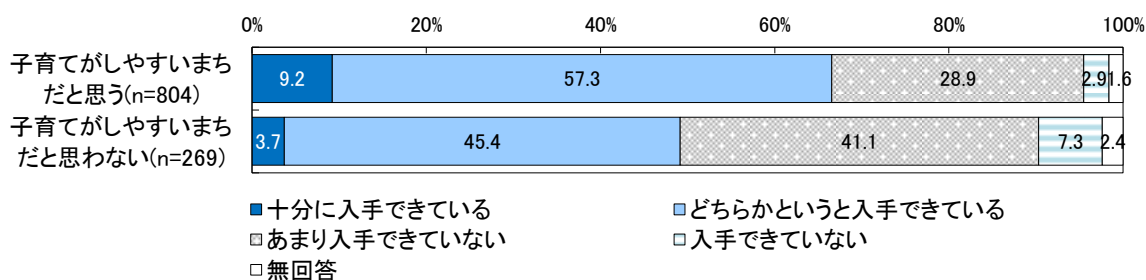
【尾道市の子育てのしやすさの評価（小学生・居住地域別）】



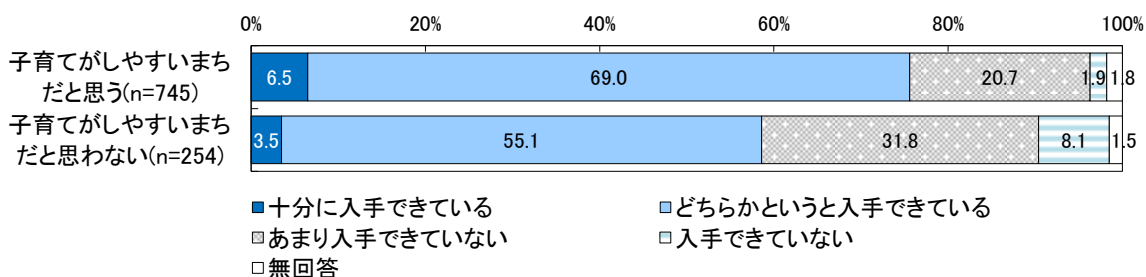
居住地域別にみると、『子育てがしやすいまちだと思う』と回答した割合は因島地域、生口島地域で低くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



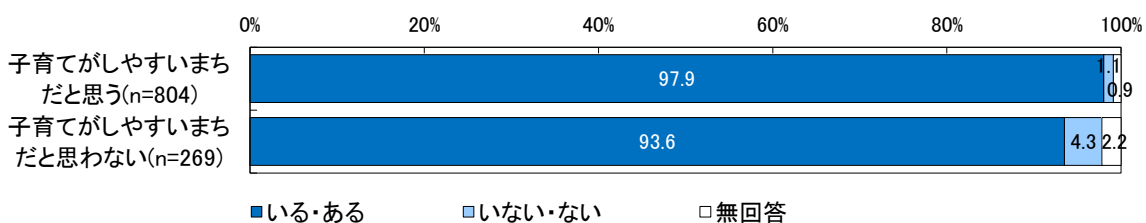
（小学生）



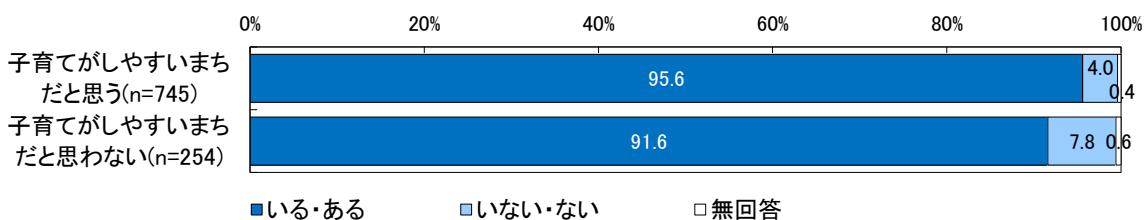
子育てに関する情報の入手状況について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『入手できている』と回答した割合が低く、就学前児童で49.1%、小学生で58.6%となっている。

【子育てについての相談先の有無（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



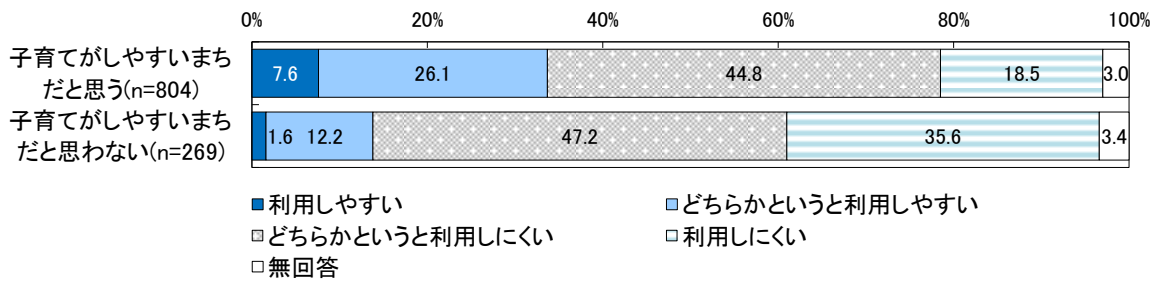
（小学生）



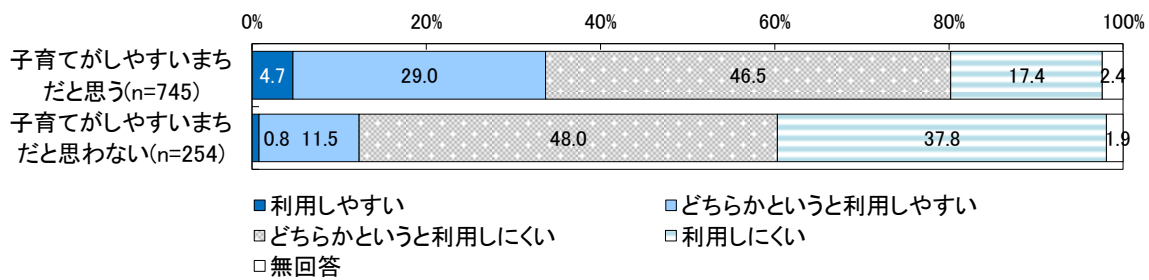
子育てについての相談先の有無について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では「いない・ない」と回答した割合がやや高く、就学前児童で4.3%、小学生で7.8%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



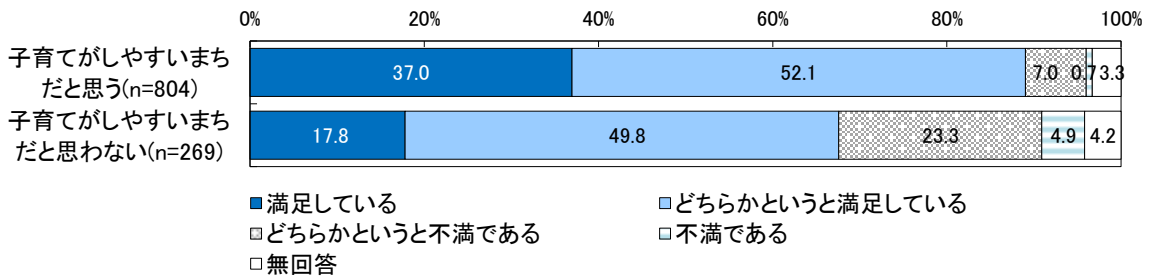
（小学生）



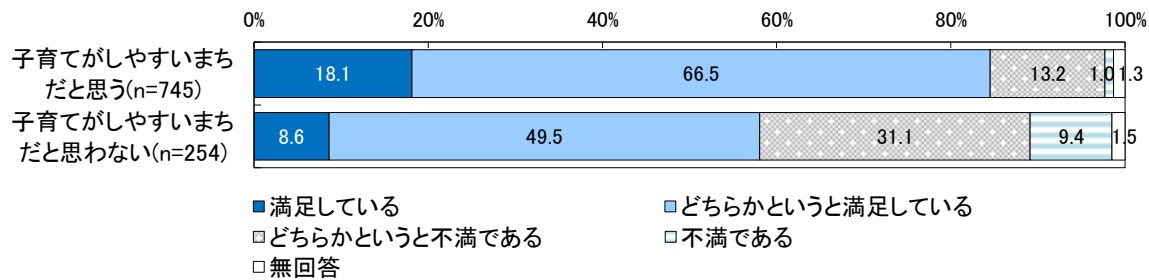
公的な相談窓口の利便性について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『利用しやすい』と回答した割合が低く、就学前児童で 13.8%、小学生で 12.3%となっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



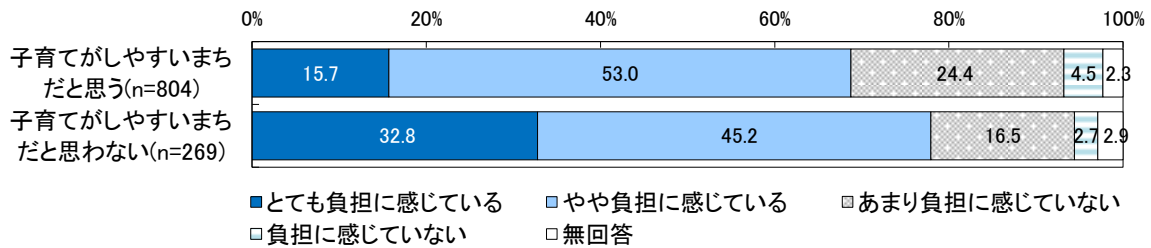
（小学生）



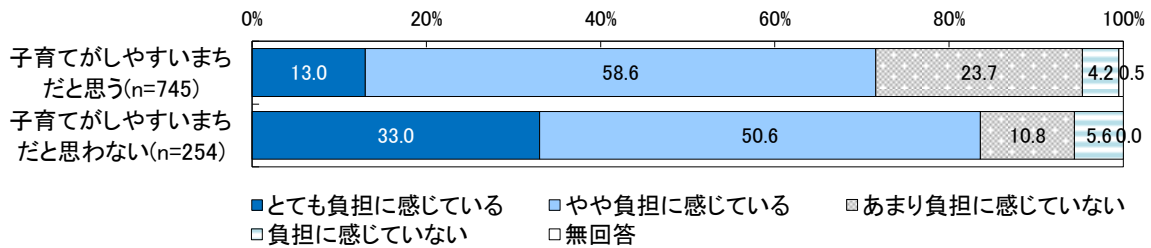
子どもの健康づくり支援の満足度について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、就学前児童で 67.6%、小学生で 58.1%となっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



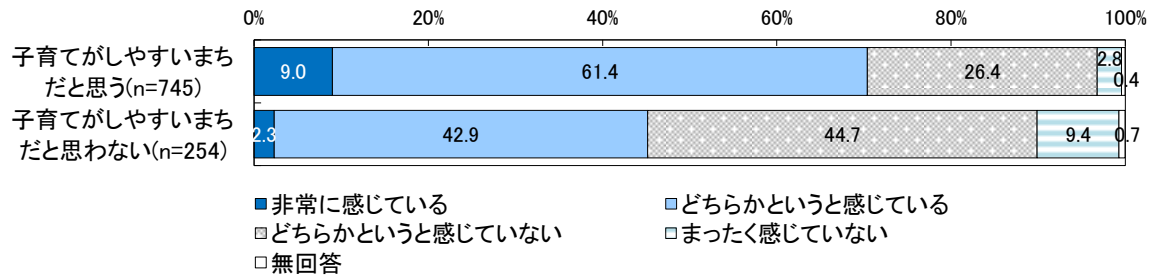
（小学生）



出産や子育てにかかる費用の負担の程度について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『負担に感じている』と回答した割合が高く、就学前児童で78.0%、小学生で83.6%となっている。

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか

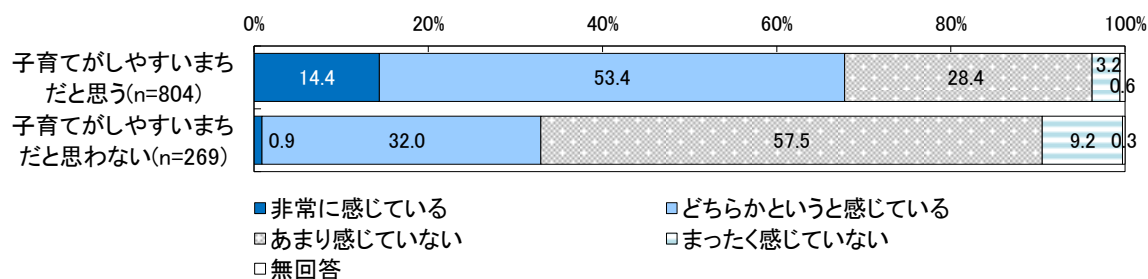
（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



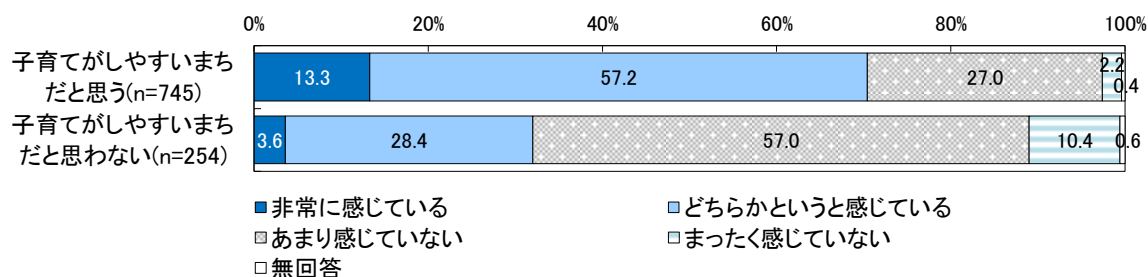
子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるかについて、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『感じている』と回答した割合が低く、45.2%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）

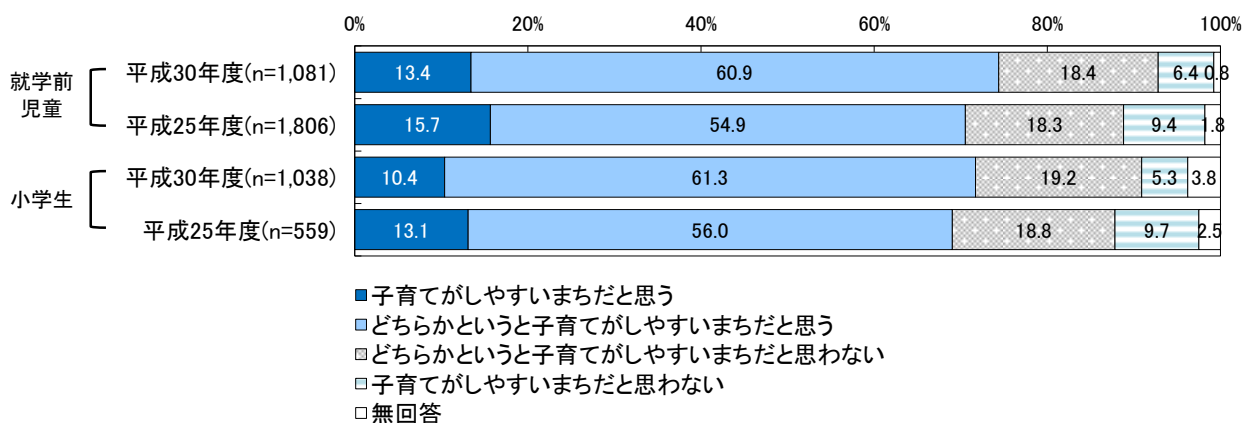


（小学生）



地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『感じている』と回答した割合が低く、就学前児童で32.9%、小学生で32.0%となっている。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

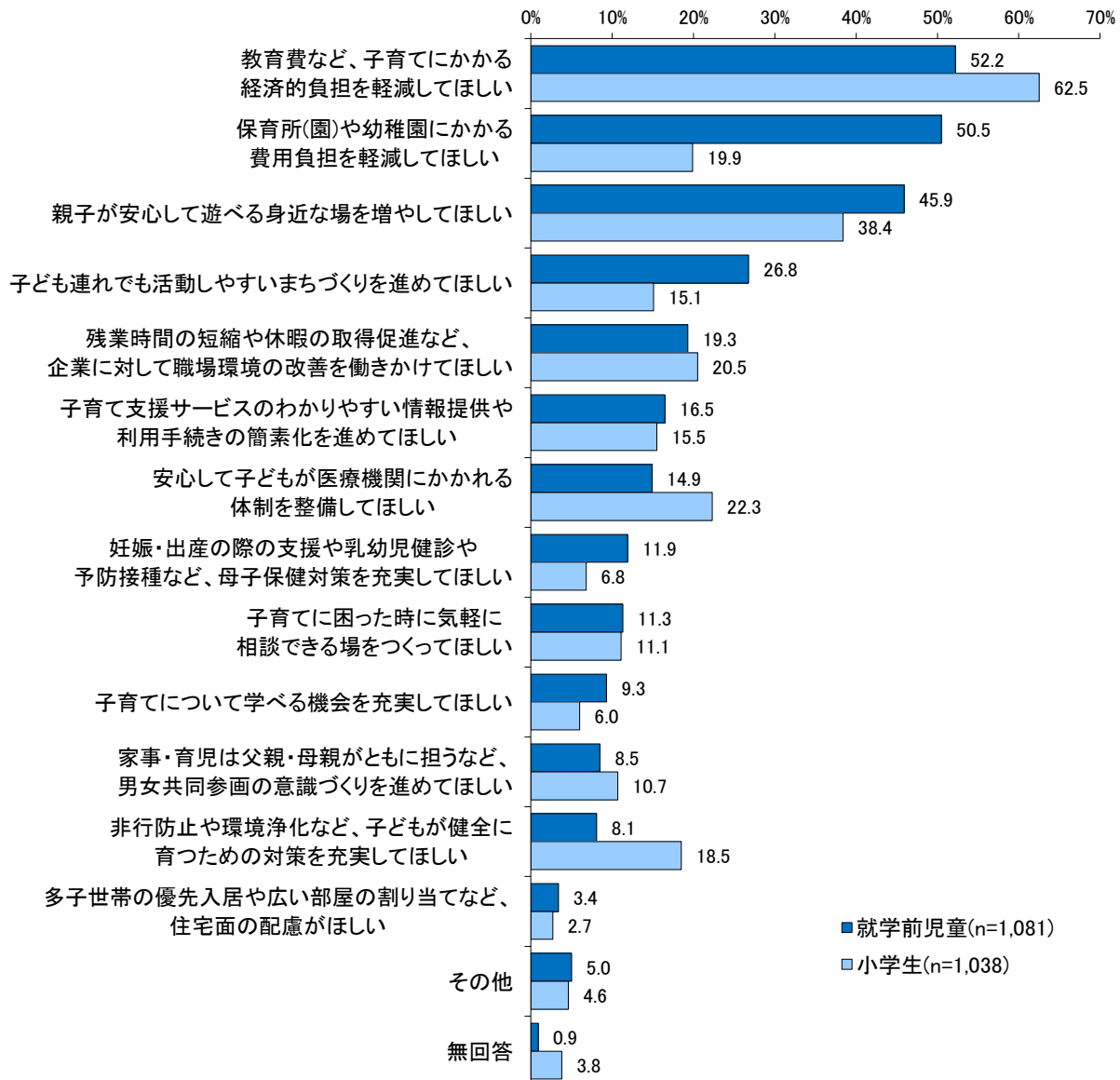
(19) 充実を期待する子育て支援の内容

問 47 就学前児童・問 39 小学生

市に対して、特に充実を期待する子育て支援はどのようなことですか。

【主なもの3つまでに○】

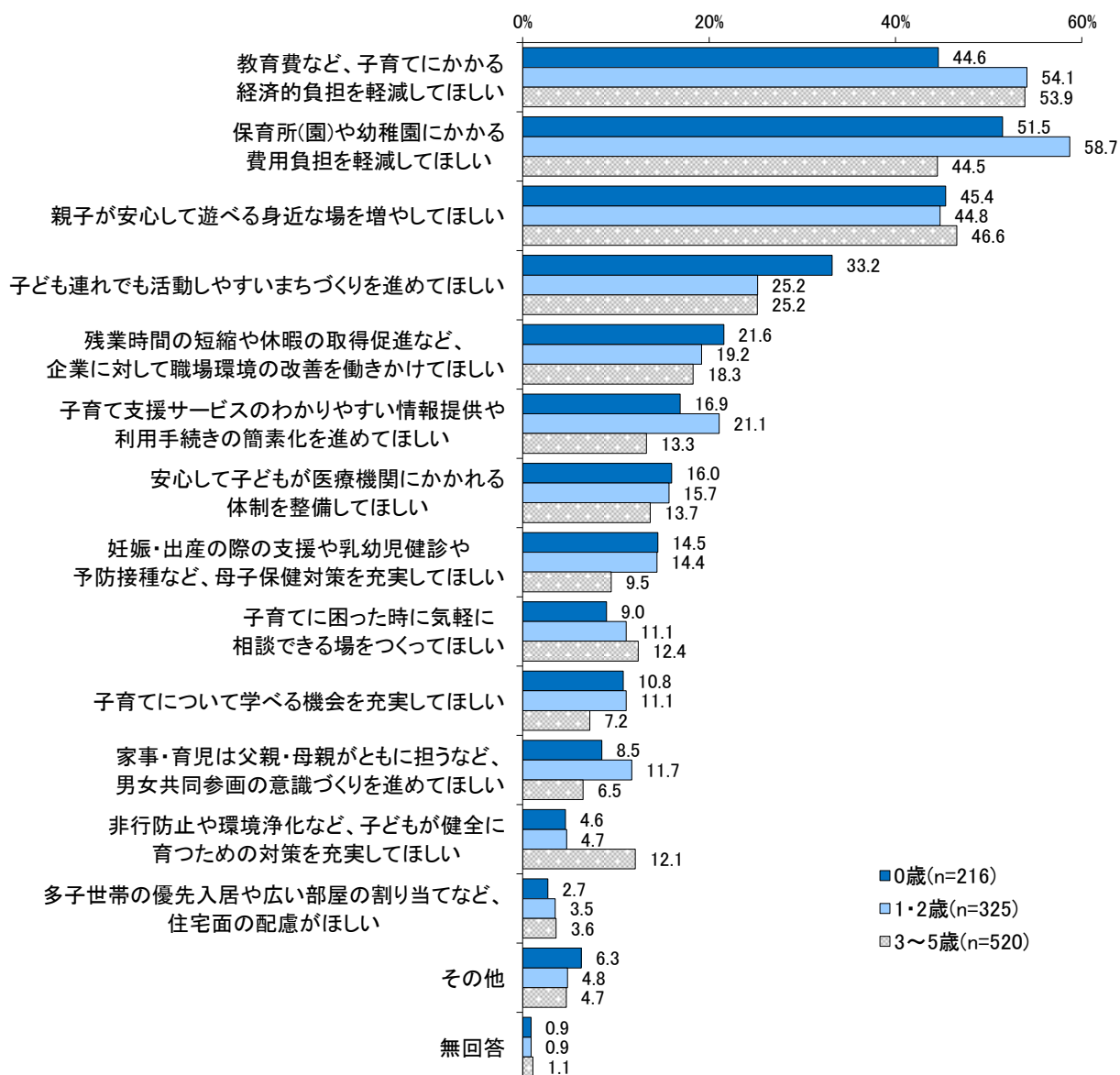
【充実を期待する子育て支援の内容】



充実を期待する子育て支援の内容について、就学前児童では「教育費など、子育てにかかる経済的負担を軽減してほしい」と回答した割合が52.2%と最も高く、「保育所(園)や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」(50.5%)、「親子が安心して遊べる身近な場を増やしてほしい」(45.9%)が続いている。

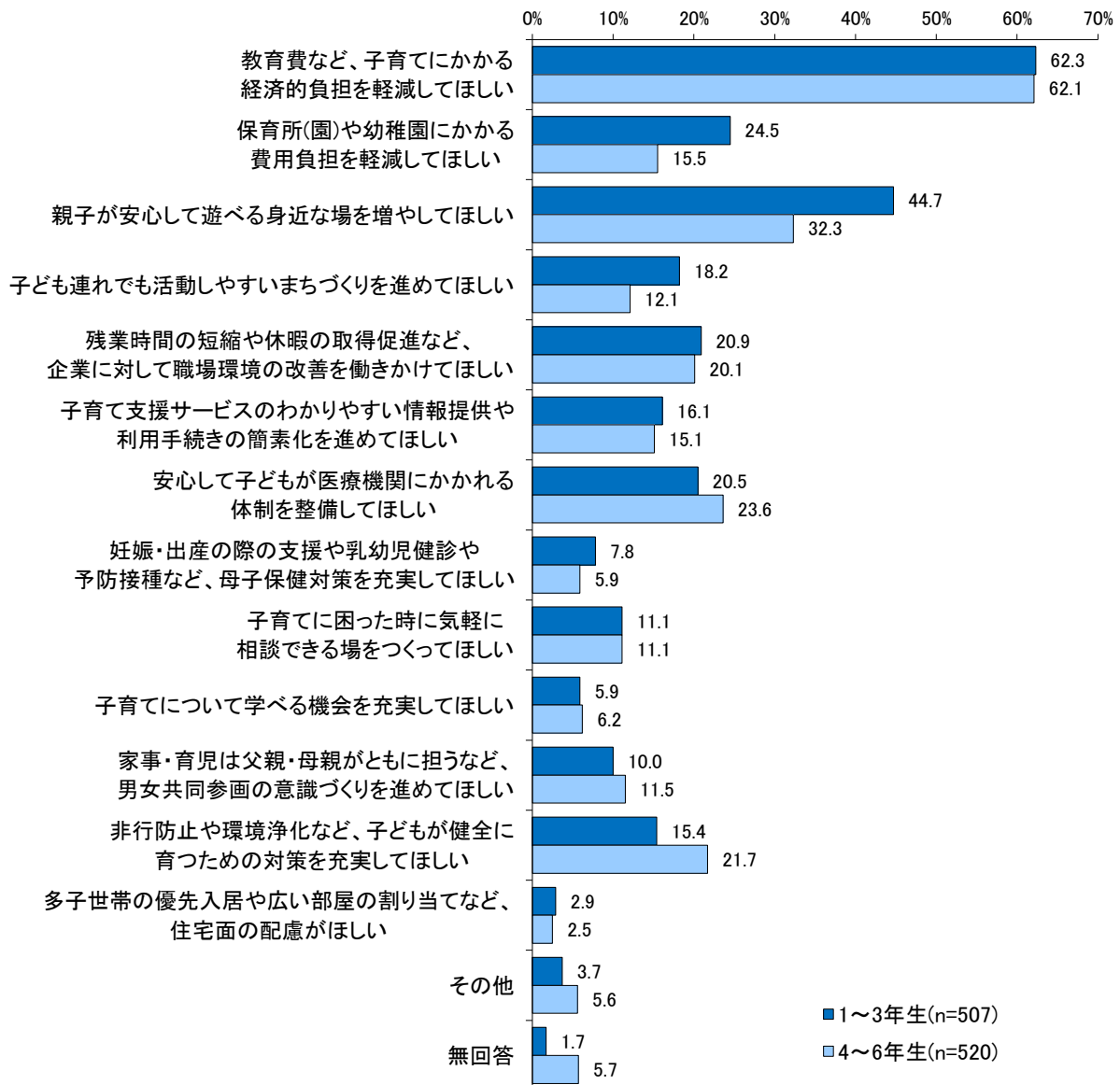
小学生では、「教育費など、子育てにかかる経済的負担を軽減してほしい」と回答した割合が62.5%と最も高く、次いで「親子が安心して遊べる身近な場を増やしてほしい」(38.4%)となっている。

【充実を期待する子育て支援の内容（就学前児童・年齢別）】



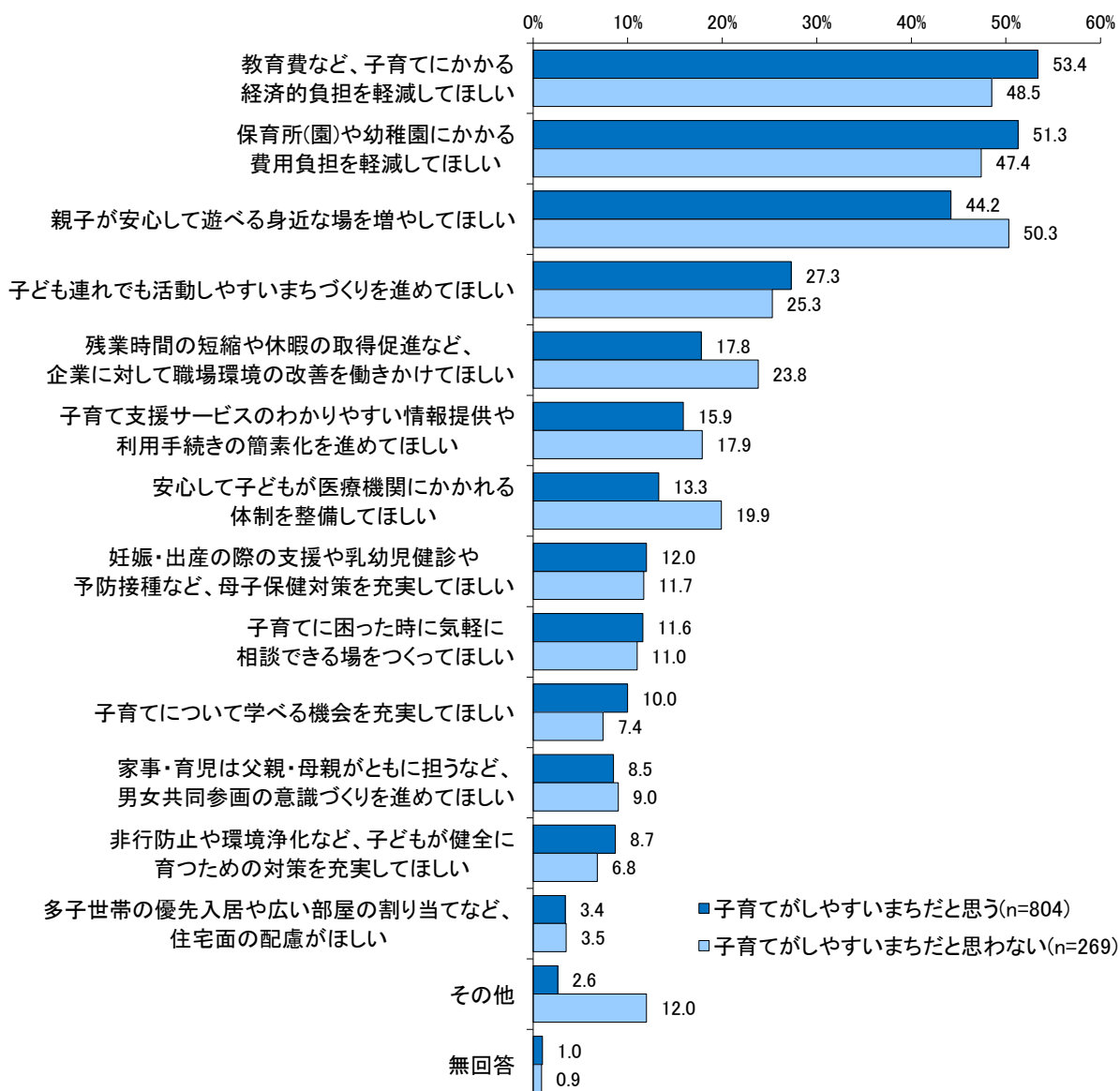
年齢別にみると、「教育費など、子育てにかかる経済的負担を軽減してほしい」と回答した割合は1・2歳、3～5歳で、「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」と回答した割合は1・2歳で、「子ども連れでも活動しやすいまちづくりを進めてほしい」と回答した割合は0歳で高くなっている。

【充実を期待する子育て支援の内容（小学生・学年別）】



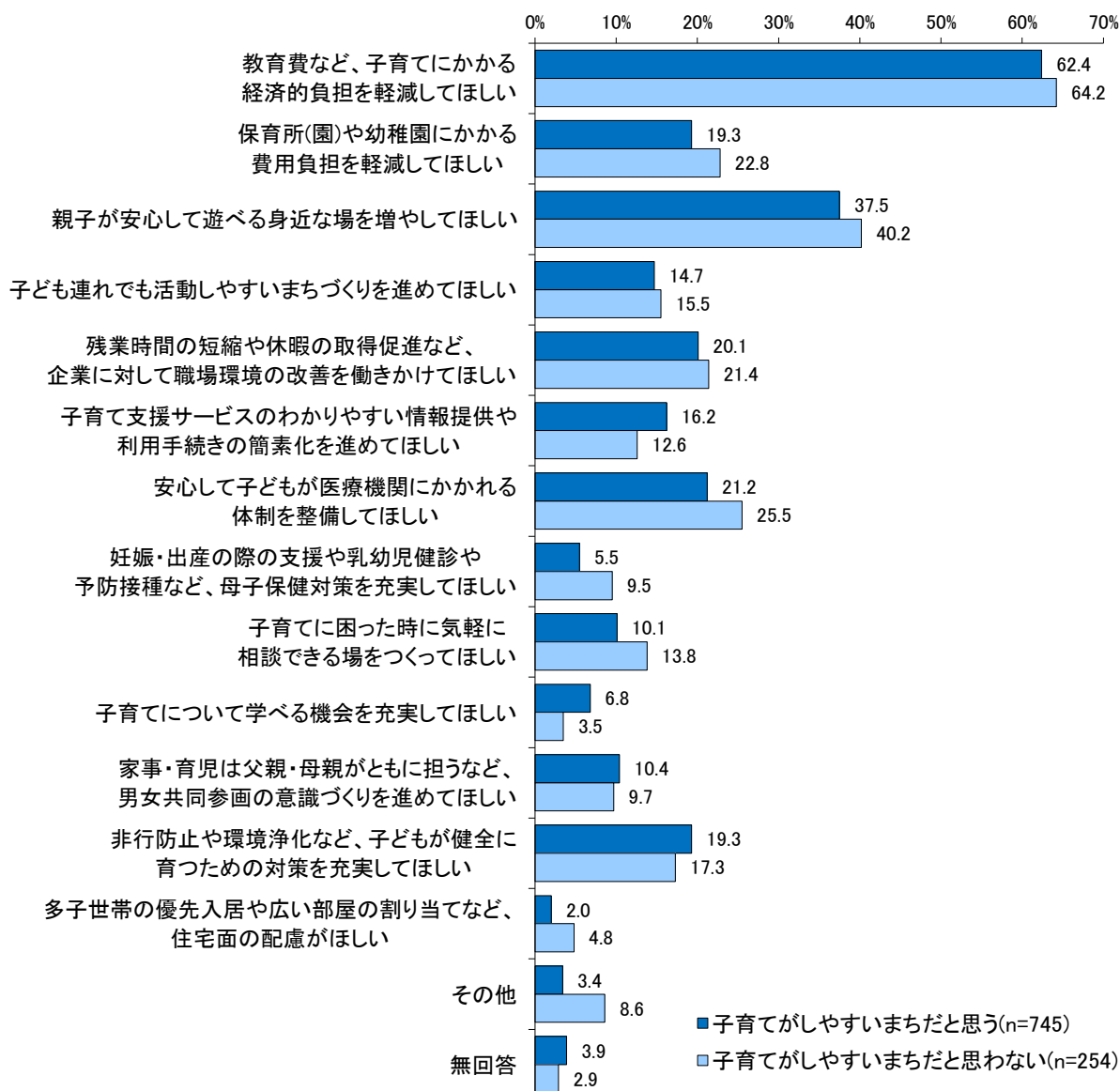
学年別にみると、「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」、「親子が安心して遊べる身近な場を増やしてほしい」と回答した割合は1～3年生が4～6年生よりも高くなっている。

【充実を期待する子育て支援の内容（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「親子が安心して遊べる身近な場を増やしてほしい」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【充実を期待する子育て支援の内容（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



小学生では大きな差はみられない。

子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査

報告書

発行：尾道市

発行年月：平成 31 年 3 月

編集：尾道市 福祉保健部 子育て支援課

〒722-8501 尾道市久保一丁目 15 番 1 号

電話 0848-38-9215
